

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和 6 年 12 月 11 日

丸井健康保険組合

STEP 1 - 1 基本情報

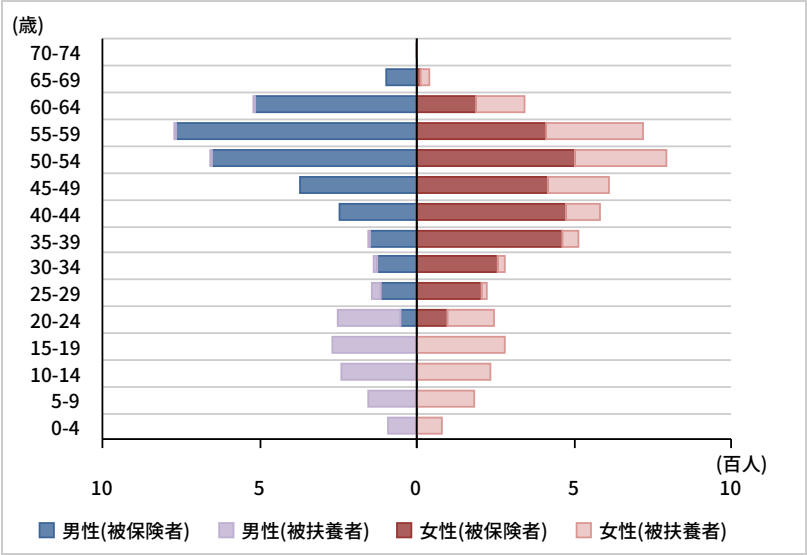
組合コード	25116		
組合名称	丸井健康保険組合		
形態	単一		
業種	飲食料品以外の小売業		
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	6,110名 男性50.2% (平均年齢50.6歳) * 女性49.8% (平均年齢44.0歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	9,657名	-名	-名
適用事業所数	18カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	101カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	9.3‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	3	0	-	-	-	-
	保健師等	8	6	-	-	-	-
事業主	産業医	3	0	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-

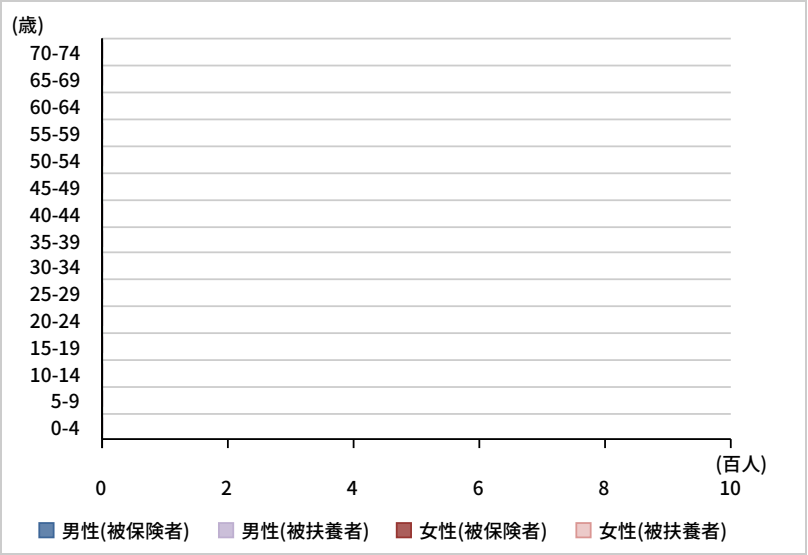
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	5,293 / 5,706 = 92.8 %	
	被保険者	4,420 / 4,529 = 97.6 %	
	被扶養者	873 / 1,177 = 74.2 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	414 / 686 = 60.3 %	
	被保険者	404 / 615 = 65.7 %	
	被扶養者	10 / 71 = 14.1 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	29,400	4,812	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	22,000	3,601	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	2,000	327	-	-	-	-
	疾病予防費	121,300	19,853	-	-	-	-
	体育奨励費	0	0	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	20,000	3,273	-	-	-	-
	小計 …a	194,700	31,866	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	3,901,565	638,554	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	4.99		-		-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	1人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	49人	25～29	117人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	126人	35～39	148人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	244人	45～49	373人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	651人	55～59	768人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	512人	65～69	100人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	2人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	96人	25～29	206人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	255人	35～39	460人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	474人	45～49	418人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	503人	55～59	410人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	188人	65～69	9人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	94人	5～9	155人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	238人	15～19	270人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	200人	25～29	29人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	9人	35～39	5人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	0人	45～49	0人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	4人	55～59	6人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	4人	65～69	0人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	80人	5～9	181人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	237人	15～19	282人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	146人	25～29	19人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	22人	35～39	53人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	108人	45～49	193人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	294人	55～59	308人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	153人	65～69	29人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- ①中規模な健康保険組合（被保険者数6千名弱、加入者数9千名強）で、男女比率はほぼ半々。扶養率は0.53と低い。
- ②事業所の多くが関東圏にあり、自前の健保会館にて、健診・予防事業を自前の医療スタッフで実施。
- ③健保直雇用の医療スタッフによる自前化した予防事業を推進するとともに、事業主との連携を深める取組みも強化。
- ④今後、女性の高年齢化が予測されるため、年代に応じた健康課題に取り組む必要がある。
- ⑤前期高齢者の増加が予測されるため、現役世代からの予防対策を強化していく必要がある。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴
○事業主側が健康推進部を設置し、健康管理業務を推進するとともに、人事部・健康保険組合が健康診断の実施や健康診断の事後措置等、健康管理支援を連携して実施している。（コラボヘルス）
○人間ドックを中心に、健診～事後フォロー～保健指導と自前の医療スタッフ（医師・保健師・看護師）がきめ細かく実施。
○リスク分類基準を作成し、受診勧奨フローを見える化することにより、健診受診後の適切な行動促進の管理を事業主と協働で取り組む。
○生活習慣病に特化した『ヘルスアッププログラム（特定保健指導）』を実施。（35歳以上、グループ面談・個人面談方式。）
○糖尿病および高血圧の高リスク者にも対応を開始。
○健康層へのポピュレーションアプローチ～高リスク者への重症化予防まで階層に応じたアプローチをすすめる。
○健保の事業運営を推進するにあたり、事業所に健康管理委員・ウェルネスリーダー・ウェルネスリーダーサポーターを配置。健保の事業方針の理解・浸透や課題（例：女性のがん検診受診促進など）の推進に取り組む。

事業の一覧

職場環境の整備	
疾病予防	健康管理事業推進委員会
疾病予防	健診データの蓄積システムの維持
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	広報誌
保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック利用促進
保健指導宣伝	健診受診後の情報提供提供パンフレット
保健指導宣伝	健康検定
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者）～ヘルスアッププログラム～
特定保健指導事業	特定保健指導（被扶養者）
疾病予防	人間ドック
疾病予防	定期健康診断
疾病予防	受診勧奨（健康診断事後措置）
疾病予防	胃がんピロリ検査
疾病予防	大腸がん検診
疾病予防	乳がん・子宮頸がん検診
疾病予防	歯科検診・ブラッシング指導
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	人間ドック時のオリエンテーション
疾病予防	糖尿病の重症化予防
疾病予防	高血圧の重症化予防
疾病予防	その他の重症化予防
疾病予防	女性のライフステージ別の健康対策
疾病予防	禁煙サポート・補助
疾病予防	健康通信簿
疾病予防	コラボミーティング
疾病予防	健康管理委員会議
疾病予防	ウェルネスリーダー会議
疾病予防	女性の健康推進員の育成
疾病予防	健康増進キャンペーン
疾病予防	退職者向けセミナー
事業主の取組	
1	定期健康診断・採用健診・深夜業健診
2	受診勧奨（健康診断事後措置）

3	就業上の配慮
4	メンタル問診
5	中央安全衛生会議
6	健康経営
7	禁煙推進

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
疾病予防	1,2,3,4,5,6,8	健康管理事業推進委員会	健康診断受診率(100%) 高リスク者の病院への受診率向上：E判定(100%) D判定(80%)	全て	男女	18～65	被保険者	0	年4回実施 事業方針、予算・決算中心に情報共有	リスクレベルの見える化・就業上の配慮の基準などの運用の整備・共有 事業所での健康づくりについても連携して進めた	特になし	5
	1,3,4,5,6,7	健診データの蓄積システムの維持	データを基に、加入者の健診・保健指導・重症化予防・ポピュレーションアプローチを実施する	全て	男女	0～74	加入者全員	18,984	データ更新を遅滞なく実施 アイテック阪急阪神（TOHMAS）、UBS（CH25） IQVIA（CH25）・インテージ（EBA）・ウィーメックス	システムを活用することで、迅速・正確な対応が可能	特になし	5
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	1,2,3,4,5,7	広報誌	テーマに沿ったタイミングで発行（年6回） 事業方針・予算・決算・健保の取組み・健康づくりの情報を共有	全て	男女	0～74	加入者全員	0	年4回＋女性特有情報2回発行 現役社員は、事業主SNSで発信	個人・事業所の取組みなど、加入者が興味をもって、読んでもらえる内容を掲載	江知覧の把握・向上に向けた取り組み	5
	2,3,4,5,6,7	ホームページ	健保の事業運営の周知、健保の諸手続き、健康に関する情報発信、健康意識の醸成	全て	男女	0～74	加入者全員	0	事業運営の共有を随意実施	自前で運営管理→法研への委託に変更により、効率的な運営が可能に	閲覧率の把握・向上に向けた取り組み	5
	2,7	医療費通知	医療費適正につながる情報提供を実施	全て	男女	0～74	加入者全員	0	紙（年2回）→WEB閲覧（毎月更新）へ変更	WEB化により、利便性・効率化が進む	WEB登録状況・閲覧率	4
	2,7	ジェネリック利用促進	ジェネリック医薬品の利用促進による医療費の適正化	全て	男女	0～74	加入者全員	427	ターゲットを絞り（アレルギー疾患）の治療実績がある者に対し、11月に差額通知を実施 WEB医療費通知閲覧の際、ジェネリック差額情報も確認可能	効果・効率をふまえ、アレルギーや慢性疾患などターゲットを絞った差額通知を継続して実施 毎月、確認可能へ	WEB登録状況・閲覧率	5
	1,2,3,4,5	健診受診後の情報提供提供パンフレット	健診結果の見方とその後の行動変容に向けた情報提供	全て	男女	18～74	基準該当者	430	健診結果送付時	自前の医療スタッフでパンフレットを選定および独自の施策にあった内容へ改修 健診結果送と同封	閲覧状況と行動変容効果の検証	4
	2,3,4,5	健康検定	健康意識の醸成と健康行動の向上	全て	男女	18～74	被保険者	0	年1～2回、事業主とコラボで実施している健康キャンペーンで開催	健康課題解決・生活習慣改善に向けた内容を盛り込んで独自の問題を作成	健康意識が高い人には好評だが、改善して欲しい階層への取り組みが課題	4
個別の事業												
特定健康診査事業	3,4,5,6	特定健診（被保険者）	加入者の健康状態の確認・早期発見・重症化予防	全て	男女	18～74	被保険者	17,170	事業主より委託されている定期健康診断（5～9月）と健保主催の人間ドック（年間）で実施	事業主が実施する定期健診と併せて共同実施	特になし	5
	2,3,4,5	特定健診（被扶養者）	加入者の健康状態の確認・早期発見・重症化予防	全て	男女	40～74	被扶養者	9,198	健保主催の人間ドックおよびかかりつけ医での受診結果をデータ化。また他健保と協働で巡回型レディース健診も委託 委託先から受診勧奨をきめ細かく適宜実施（3回程度）	専門医ヘルスケアネットワークで、受診勧奨を定期的に実施 巡回型レディース健診は、WEB予約で受診者の利便性の向上とともに、受診状況の把握を迅速な対応が可能。	任意継続者および被扶養者の連続した未受診者への対策	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定保健指導事業	1,2,3,4,5	特定保健指導（被保険者）～ヘルスアッププログラム～	特定保健指導の受診率向上。生活習慣病リスク保有者の生活習慣・健康状態の改善	全て	男女	20～74	被保険者	18,561	健保事前の保健師・管理栄養士・看護師による、人間ドック当日面談を実施。事業主との連携により、勤務中にWEB面談を実施。	事業主との連携	再チャレンジャー構成の増加（約9割）	5
	2,3,4	特定保健指導（被扶養者）	特定保健指導の受診率向上。生活習慣病リスク保有者の生活習慣・健康状態の改善	全て	男女	40～74	被扶養者	71	健保事前の保健師・管理栄養士・看護師により、人間ドック当日面談を実施。特定健診実施の外部保機関によるWEB面談も対応。	当日面談の推進により、実施率が向上	当日人間ドック面談以外の外部での指導対象者の実施率向上対策	4
疾病予防	1,2,3,4,5,6	人間ドック	加入者の健康状態の確認。疾病の早期発見・早期治療	全て	男女	40～74	加入者全員	160,850	自前の会館・医療スタッフで週3回、年間を通じて実施 40歳以上が対象	対象年齢の内の被保険者の人間ドック受診選択率は65% 「人間ドック」を受診して当たり前という風土が醸成されている	リスクが高い方への人間ドック受診促進	5
	1,2,3	定期健康診断	加入者の健康状態の確認。疾病の早期発見・早期治療を目指す	全て	男女	18～67	被保険者	21,897	事業主との協働による運営 5月～9月に、事業所を巡回し実施 法定健診受診率：100%	就業中に実施 所属長に受診状況を随時フィードバックし、未受診者への受診促進をはかる	健診精度向上 健診品質管理体制	5
	1,2,3,4,5	受診勧奨（健康診断事後措置）	健診結果が受診勧奨領域にある高リスク者の適切な早期受診・重症化予防を目指す	全て	男女	18～74	加入者全員	0	リスクレベル（A～E）を設定し、リスクに応じた受診勧奨を実施、緊急度が高いD・E判定の未受診者に対しては、事業主経由で受診促進をする 健診結果に報告書を同封。期間内に提出の無い方へは、所属長を通じて督促	リスクレベルを設定し、受診勧奨フローを見える化 E判定およびD判定の内高リスク未受診者に対しては、所属長より受診の督促を実施 管理システムを構築し、迅速な対応を実施	受診状況の把握・治療継続の確認 継続未受診者への対応	4
	2,3,4	胃がんピロリ検査	胃がんリスク者の発見	全て	男女	40～74	加入者全員	1,125	40歳のタイミングで、定健・人間ドックともに、便検査による「ピロリ菌抗体検査」を実施	陽性者に対して、胃カメラおよび除菌の受診勧奨を実施し、早期発見早期治療を推進	陽性者の精密検査未受診者への受診勧奨	4
	1,2,3,4	大腸がん検診	大腸がんリスク者の発見	全て	男女	35～74	加入者全員	1,220	35歳以上毎年、検査項目に「便潜血検査2回法」を実施	定期健康診断実施者も対象	陽性者の精密検査未受診への受診勧奨	4
	1,2,3,4	乳がん・子宮頸がん検診	女性特有のがん（乳がん・子宮頸がん）の検診受診率向上を目指し、病気の早期発見・早期治療に繋げる	全て	女性	20～74	加入者全員	7,871	乳がんは30歳以上、子宮頸がんは20歳以上を対象に年1回受診できる体制	提携クリニックや巡回健診（乳がん）で受診できる機会を増加 子宮頸がん検診受診のきっかけづくりとして、「HPVセルフチェック」を導入	若年層の子宮頸がん検診受診率の低水準 要精密検査受診状況の管理および未受診者対応	4
	1,2,3,4	歯科検診・ブラッシング指導	虫歯・歯周病の予防。早期発見・早期治療し、重症化を予防する	全て	男女	18～74	加入者全員	18,750	定期健診および人間ドック時に併せて実施	定期健診および人間ドック時に併せて実施 虫歯・歯周病の状況は全国と比較して良好 歯磨き回数も多く、歯の健康に対する意識は高い	歯科検診の費用対効果の見える化 外部委託で健診を受診している者の補助利用状況	5
	1,3,4	インフルエンザ予防接種	インフルエンザの予防・重症化予防	全て	男女	18～64	被保険者	100	10～11月に事業所を巡回して実施	事業所巡回方式での実施のため接種率が高い	予防接種による医療費への影響が把握できない	5
	2,3,4,5,6	人間ドック時のオリエンテーション	生活習慣病予防・がんの早期発見・早期治療への情報提供	全て	男女	40～74	加入者全員	0	人間ドック当日の受診前に医療スタッフより実施	毎年、課題となっている案件を情報提供	行動変容の推移	1
	1,2,3,4,5,6	糖尿病の重症化予防	糖尿病の重症化予防	全て	男女	18～74	被保険者	0	糖尿病高リスク者（E判定）の方に対して、適切な医療受診を勧奨	事業主の就業上の配慮と連携して実施	就業上の配慮後も数値が基準以下にならない者や改善するものの、再度悪化する者への対応 高リスク（E判定）になる前に、適切な受診勧奨が必要	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	1,2,3,4,5,6,7	高血圧の重症化予防	健診結果より、高血圧の高リスク者に対し、レセプトデータを分析した上で、自前の医師・看護師による個別面談を実施	全て	男女	18～74	被保険者	0	高血圧高リスク者（E判定）の方に対して、適切な医療受診を勧奨	事業主の就業上の配慮と連携して実施	就業上の配慮後も数値が基準以下にならない者や改善するものの、再度悪化する者への対応 高リスク（E判定）になる前に、適切な受診勧奨が必要	4
	1,2,3,4,5,6	その他の重症化予防	各検査項目のE判定者の減少	全て	男女	0～74	加入者全員	0	動脈硬化対策として、人間ドック受診時に「久山式スコア」を提示し、保健指導を実施（2023年度～）	各自の健康状態に沿った指導が健診受診時に可能	効果検証	4
	1,2,3,4,5,6	女性のライフステージ別の健康対策	ウェルネスリーダー会議や広報誌・会社の通達を通して、婦人科検診の重要性を理解してもらい受診促進につなげ、病気の早期発見・早期治療を目指す	全て	女性	20～74	加入者全員	0	ウェルネスリーダー会議や広報誌・会社の通達を通して、婦人科検診の重要性を理解してもらい受診促進を実施	乳がん検診受診率は向上（70%へ）	若年層の子宮頸がん検診受診率が低水準	4
	1,2,3,4,5	禁煙サポート・補助	喫煙率の減少、受動喫煙の防止	全て	男女	18～74	被保険者	62	オンライン禁煙サポートを導入 2018年度：36名 2019年度：66名 2020年度：27名 2021年度、2022年度：チャンピックス製造休止のため、募集せず 2023年度：1名	ポスターやパンフレットを通じて継続して情報提供を実施 喫煙率は徐々に低下してきている	ポスターやパンフレットを通じて継続して情報提供を実施 喫煙率は徐々に低下してきている 事業主の喫煙環境の改善	3
	1,2,3,4,5	健康通信簿	会社別・事業所別の生活習慣健診項目・問診項目の実態を提示し、各社現状把握をしてもらうと同時に改善へのきっかけ作りに利用してもらう	全て	男女	18～74	被保険者	0	毎年集計し、健保で実施する広報・会議・施策を通じて発信	健康意識および健康度の見える化 会社別・事業所別に作成	健康意識および健康度の向上	4
	1,2,3,4,5	コラボミーティング	社員の健康増進に向けた事業推進	全て	男女	18～64	被保険者	0	毎月1回以上、定例でミーティングを実施し、役割の確認、事業の進捗状況の共有を実施	女性の健康対策、事業所の健康づくり活動の連携が進んだ	事業所間の取組み格差	4
	1,2,3,4,5,8	健康管理委員会	健保事業を推進するための情報共有	全て	男女	18～60	被保険者	0	年2回(5月・11月)実施 事業方針、予算・決算中心に情報共有 事業所での健康推進役として、取組み状況の共有をはかる	健保事業や事業主の取り組みについて理解を深め、各職場での課題をふまえた健康管理（安全衛生）の推進をはかる	事業所・健保・産業医との連携による職場の健康管理の強化	4
	1,2,3,4,5	ウェルネスリーダー会議	事業所内で働く女性の健康事業推進役として、情報共有と各種施策の推進	全て	女性	18～60	被保険者	0	女性にかかわる制度や病気についての理解を深めた 年4回、ライフステージ別の健康課題など共有を実施 2023年10月～男女含めた手上げによる参加に変更	職場での共有や婦人科検診の受診率向上施策の推進	女性特有のがんの検診受診率向上 加入者全体のリテラシーの向上	4
	1,2,3,4,5	女性の健康推進員の育成	女性特有の健康課題を認知し、QOLを高める	全て	女性	18～65	被保険者	0	メノポーズ協会が開催している、「女性の健康検定」の受検促進 現状、加入者の1割が取得	合格者は会社・ユニオンから資格取得費用補助対象とした 会社が、役員・管理職への受検促進を2023年度から実施	上位職、男性の有資格者の向上	4
	1,2,3,4,5	健康増進キャンペーン	加入者の健康意識の醸成、健康の維持・向上	母体企業	男女	18～65	加入者全員	0	1月に実施 ①事業所別健康キャンペーン ②健保版健康検定（2023年度は未実施）	事業主と協働実施 事業主のアンケート機能を使って気軽に参加できる環境を整備 事業所別参加状況を適宜発信	キャンペーン参加率の向上 行動変容 事業所間の取組み格差	4
	1,2,3,4,5,6,7	退職者向けセミナー	退職後も引続き健診受診を促進をする事で、病気の早期発見・早期治療につなげ、医療費の削減を目指す	母体企業	男女	59～59	被保険者,定年退職予定者,任意継続者	0	年2回開催の事業主退職者向けセミナーで任意継続等健保での手続きの話や、今後も病気で早期発見・早期治療の為に健診受診が重要であることなど、今後のライフステージに向けてさらに健康の重要性を理解の場を設定	会社と合同で実施	特になし	5

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

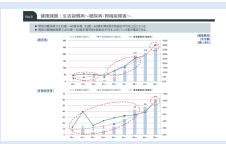
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断・採用健診・深夜業健診	労安法に基づく健診。健康状態の確認・疾病の早期発見・早期治療。健康保険組合で実施する人間ドックの健診結果も採用。	被保険者	男女	18 ～ 64	事業所巡回方式で実施。 受診率100%	就業時間中に受診も可能。事業所の所属長に受診状況を随時フィードバックし、未受診者の受診促進をはかる。	特になし	有
受診勧奨（健康診断事後措置）	健診結果が受診勧奨領域にある高リスク者の早期の受診促進。要精密検査の受診状況の把握。	被保険者	男女	18 ～ 64	リスクレベル（A～E）を設定し、リスクに応じた受診勧奨を実施	リスクレベルに応じた受診勧奨フローを見える化。判定Eについて事業所の所属長から結果を渡し、早期の医療機関受診を促す。判定Dの内高リスク9項目についても2016年度から実施	D判定者の再検査受診率向上	有
就業上の配慮	労安法に基づき、健診結果において就業上の措置が必要な者に対して、医師・事業主・健保と連携し、適切な対応を実施する。	被保険者	男女	18 ～ 64	就業する上で、リスクが高い者に対し、就業上の配慮の措置を実施	糖尿病・高血圧の基準値を策定 貧血等は個別対応	就業上の配慮後も数値が基準以下にならない者や改善するものの、再度悪化する者への対応	有
メンタル問診	メンタル不調者の低減・早期対応 健診時のメンタル問診の活用と年1回ストレスチェックを実施	被保険者	男女	18 ～ 64	定期健康診断および人間ドック受診時の問診項目にメンタル項目を追加して実施 6月にストレスチェックを実施	法定健診時の問診項目にメンタル問診を加え、ストレス度の高い者に対し、早期の外部EAPを使ったカウンセリングを進める。 ストレスチェックの結果を事業所ごとに分析し、所属長などと共有・改善を実施	特になし	有
中央安全衛生会議	従業員（加入者）の健康管理事業の推進。 事業主・従業員代表（ユニオン）・健保との情報共有を実施	被保険者	男女	18 ～ 64	年4回実施	リスクレベルの見える化・就業上の配慮の基準などの運用の整備・共有 事業所での健康づくりについても連携して進めた	事業所間の取組みの格差	有
健康経営	社員一人ひとりが健康を切り口に意識や行動を変えることにより、組織全体の活力を高めることで、企業価値向上につながる	被保険者	男女	18 ～ 64	2016年度：DBJ健康経営格付け最高ランク取得 ～2017～18年度：ホワイト500選定 2018～2023年度：健康経営銘柄選定	社外健康アドバイザーボードを導入し、専門家の視点を取り入れた グループ横断の「健康経営推進プロジェクト」を発足 社内TOP層への「レジリエンスプログラム」を導入 労働協約に「健康増進」の項を設け、企業と社員それぞれの責務を明示した	特になし	有
禁煙推進	受動喫煙防止に向け、敷地内禁煙・就業時間内禁煙を推進。	被保険者	男女	18 ～ 64	分煙は実施済み ～コロナ対策により、本社社屋は喫煙スペース休止継続	特になし	男性30代、女性全般の喫煙率が高い	有

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		加入者数の推移・構成	加入者構成の分析	・加入者は全体で9,920人であり昨年度と比較し被保険者、被扶養者合わせて151人減少をしている。(昨年度10,071人) ・年齢層でみると男性では55歳～65歳未満において、2020年度から増加傾向にある事が分かる。 ・女性では年齢層でみると50歳～65歳未満において2020年度から増加傾向にある事が分かる。 ・特定健診・特定保健指導の対象となる40歳以上の加入者に関して、被保険者は2020年度と比較し、3.7pt増加をしている。 ・平均年齢の推移では年々上昇傾向にある。被保険者全体では2018年度と比べ+3.1歳となっている。(男性:+2.3歳、女性:+3.9歳) ・40歳以上割合の増加、平均年齢の増加が医療費に影響を与える可能性が考えられる。
イ		医療費の推移	医療費・患者数分析	・医療費総額としては昨年度と比較し1.79億円増加をしている事が確認できる。(昨年度18.27億円) ・被保険者の医療費において、40歳以上が被保険者全体の83.7%を占めている。 ・被保険者の年齢層別一人当たり医療費では20歳以上で他組合平均と比べ高い事が確認できる。
ウ		高額医療費の発生状況	医療費・患者数分析	・一人当たり100万以上の高額医療費の人数・医療費が大きく増加 ・予防・早期発見で重症化を防げる「生活習慣関連」と「がん」で構成の半数を占める ・循環器疾患が、人数・金額とも大きく増加 ・2022年度から保険適用となった不妊治療で2000万発生
エ		医療費の構成	医療費・患者数分析	・疾病別の医療費では生活習慣病に関わる循環器、内分泌、また先生物は昨年度とくらべ20pt以上増加をしている事が確認できる。 ・疾病別の一人当たり医療費では他組合と比較して最も差があるのが循環器であった。(約53,636円) ・がんの医療費は7.2%、生活習慣病は14.0%メンタル疾患は4.8%歯科の医療費は10.3%であった。 ※(被保険者はがん8.6%、生活習慣病15.7%、メンタル疾患4.7%、歯科10.9%)
オ		ジェネリック利用状況	後発医薬品分析	・後発医薬品使用割合2022年度で81.6%であり、昨年度と比べ1.2pt上昇しており、80%を1.6pt上回っている事が確認できる。
カ		健康診断結果概略	健康リスク分析	・年度比較し糖代謝(HbA1c)脂質(HDL)の2項目において正常に割合が増加をしている。 ・上記の検査項目除くと2018年度と比較し正常の割合が減少をしている事が分かる。特に血圧(収縮期血圧)糖代謝(空腹時血糖)メタボ(BMI)脂質(LDL)では3pt以上正常の割合が減少をしている。

キ		精密検査受診状況	健康リスク分析	・緊急対応者で確認をすると腎機能において、3割以上未治療者が存在している事が分かる。（eGFR:3名、尿蛋白:5名） ・優先対応者で確認をすると血圧、脂質代謝、腎機能、肝機能において、未治療、治療放棄が4割以上存在している事が分かる。
ク		健康課題（生活習慣病）	健康リスク分析	・男性の糖尿病では35歳～40歳未満、55歳～60歳未満を除き他組合平均を上回っている。 ・男性の腎機能障害では55歳～60歳未満を除き他組合平均を上回っている事が確認できる。 ・虚血性心疾患、脳血管疾患ともに一人当たり医療費が高く、入院においては患者数が下記疾患の中で、多い事が確認できる。
ケ		健康課題（がん）	健康リスク分析	・がん疾病の計では男性は2018年と比べ医療費が減少をしている事が確認できる。また、がんの項目でみるとその他のがんの医療費が年々増加傾向である事が分かる。昨年度と比べがん疾病の計で17百万円増加をし、その中12百万円はその他のがんであった。 ・一方、がん疾病の計での女性は2018年度と比べ医療費が増加をしている事が分かる。がんの項目でみると、乳がんの2018年度と比べ医療費の増加幅が大きかった。昨年度と比べがん疾病の計で1百万円増加をしており、がんの項目でみると乳がんが6百万円増加をしている事が分かる。 ・乳がんの疑いを含む場合25歳以上で他組合平均を上回っている事が確認できる。 ・乳がんの疑いを除く場合30歳～35歳未満、40歳～45歳未満、55歳～60歳未満で他組合平均を上回っている事が確認できる。 ・若い世代で罹患する女性特有のがん「乳がん」「子宮頸がん」の検診受診率が低い - 特に、20代・30代の「子宮頸がん」の検診受診率が低い ・「要再検査」の受診率が低い - 特に、「大腸がん」の再検査受診率が低い

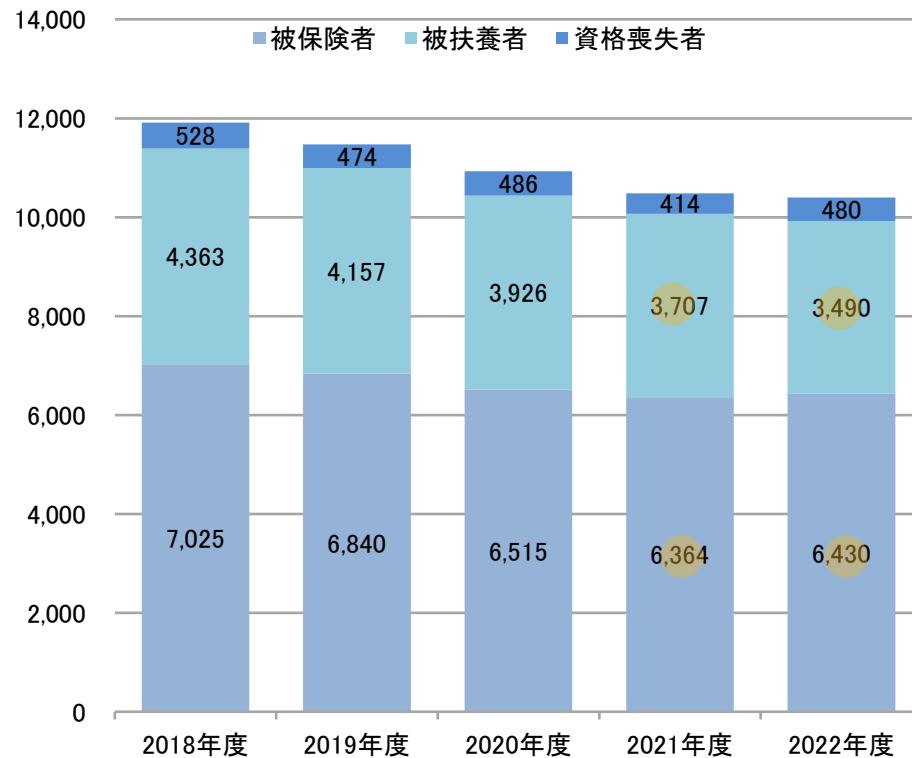
コ		健康課題（生活習慣）	健康リスク分析	・朝食抜きの回答をされた割合は男性で30歳～45歳未満、60歳以上で他組合平均を上回っており、女性では20歳～45歳未満、55歳以上で他組合平均を上回っている事が確認できる。 ・就寝前に食事をする割合は男性で20歳～25歳未満、50代で、女性で20歳～25歳未満、35歳～60歳未満で他組合平均を上回っている事が確認できる。 ・運動習慣に関しまして「いいえ」と回答した割合は男性で20歳～35歳未満、女性で45歳～50歳未満、55歳以上で他組合平均を上回っている事が確認できる。 ・歩行身体活動に関しまして「いいえ」と回答した割合は男性で20歳～25歳未満、女性で25歳～30歳未満で他組合平均を上回っている事が確認できる。 ・男性、女性ともに2018年度より経年でみると年々喫煙者が減少している事が分かる。他組合平均と経年で比較をすると喫煙率は男性で各年度において他組合平均を下回っており、女性では各年度において他組合平均を上回っている事が確認できる。 ・各年齢層で確認をすると男性では35歳～45歳未満の除き他組合平均を下回っており、女性では20歳～25歳未満で他組合平均を下回っている事が確認できる。 ・睡眠十分の問診項目において、「いいえ」と回答した割合は2018年度と比べ男性、女性ともに減少傾向である。（男性－2.7pt、女性－0.6pt） ・年度別に他組合平均と比較をすると、「いいえ」と回答した割合は男性では各年度ともに下回っており、女性では2018年度、2019年度と下回っている事が確認できる。 ・年齢層別で確認をすると、男性では20歳～30歳未満を除き他組合平均を下回っており、女性では20歳～30歳未満、55歳～で他組合平均を下回っている事が確認できる。
サ		健康課題（メンタル疾患）	健康リスク分析	・患者数割合では男性、女性ともに睡眠障害、不安障害において2020年度より年々、増加傾向である事が確認できる。 ・年齢層別の延べ受診者でみると男性は上位3疾患で（睡眠障害、不安障害、うつ病）40歳～65歳未満で増加傾向にある事が確認できる。また、女性も同様に上位3疾患で（睡眠障害、不安障害、うつ病）でみると25歳～60歳未満で増加傾向である事が確認できる。
シ		健康課題（口腔対策）	健康リスク分析	・歯科の受診状況について3年間受診歴の無い加入者は全体の31.2%いらっしゃる事が確認できる。 ・歯科の医療費は他組合平均と比べ上回っている事が確認できる。受診件数は他組合平均と比べ同等もしくは上回っている事が確認できる。
ス		健康通信簿	健康リスク分析	・会社別・事業所別の健康状態、生活習慣を経年推移で分析・共有し、健康キャンペーンなどで課題解決に向け取り組みを推進

セ		特定健診	特定健診分析	・被保険者の特定健診受診率は、事業主と連携して実施し、97%を維持 ・被扶養者の特定健診は、本人の生活スタイルに合った、自前の人間ドック、かかりつけ医での受診、レディース健診から選択して受診 ・メタボ率は増加傾向にあるものの、全国と比較すると安定して推移 ・家族のメタボ率が増加傾向⇒特定保健指導対象者が増加
ソ		特定保健指導	特定保健指導分析	・高齢化に伴い、特定保健指導対象者が微増 ・事業主との連携および人間ドック当日の面談を推進し、実施率も向上 ・被扶養者についても、人間ドック当日の面談をスタート <特定保健指導実施者の状況：男性> ・2021年度は積極的支援・動機付け支援ともに改善の割合は減少。（10年前の国の成果と同程度となった。） ・リピーター率の増加に加え、参加者が高齢化している様子もわかる。（2014年度に比べ、積極的支援+4.0歳、動機付け支援+3.6歳。） <特定保健指導実施者の状況：女性> ・リピーター率が90.6%に急増した積極的支援は改善割合は減少。一方、リピーター率が昨年と同程度の動機付け支援の改善割合は昨年度と同程度の改善がみられる。 ・女性は積極的支援で、特にリピーター率増加、高齢化が目立つ。（2014年度に比べ、積極的支援+5.9歳、動機付け支援+1.2歳。）

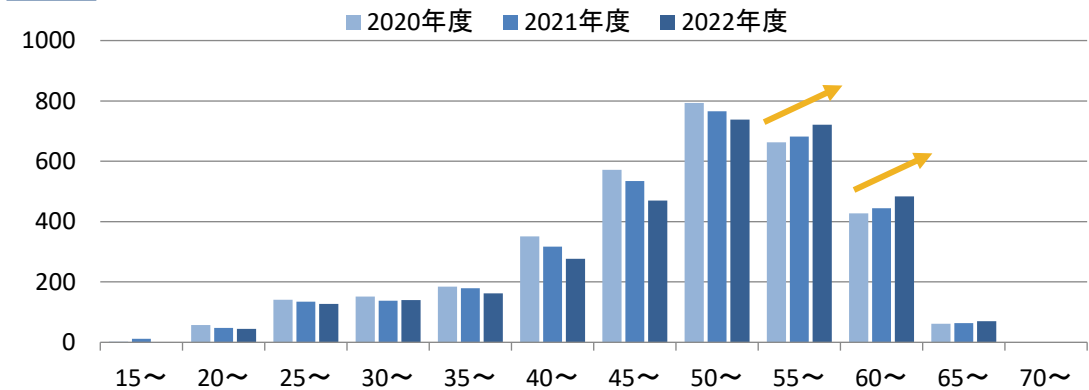
- 加入者は全体で9,920人であり昨年度と比較し被保険者、被扶養者合わせて151人減少をしている。(昨年度10,071人)
- 年齢層でみると男性では55歳～65歳未満において、2020年度から増加傾向にある事が分かる。
- 女性では年齢層でみると50歳～65歳未満において2020年度から増加傾向にある事が分かる。

加入者数	9,920 人	被保険者		6,430 人	被扶養者		3,490 人
			男性	3,234 人		男性	1,159 人
			女性	3,196 人		女性	2,331 人

[在籍者数推移]

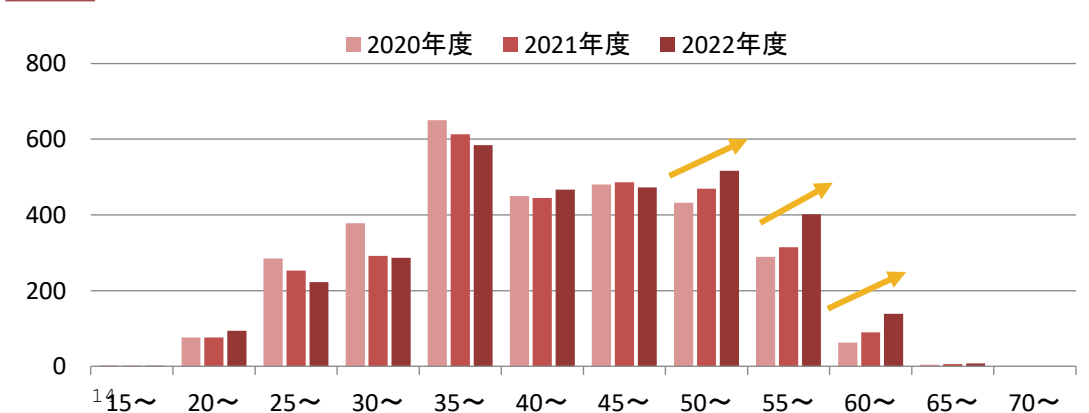


[男性]



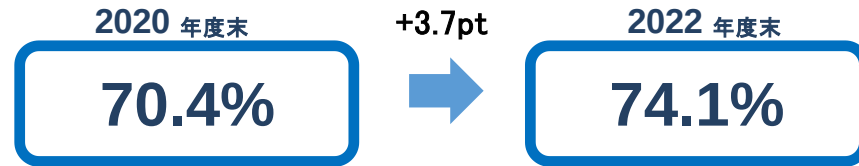
[被保険者]

[女性]

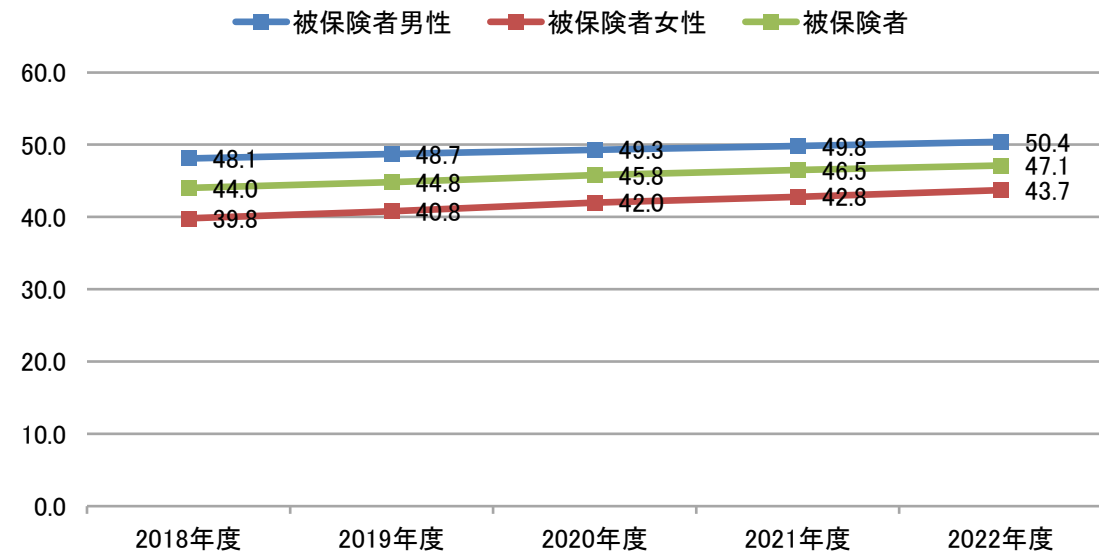


- 特定健診・特定保健指導の対象となる40歳以上の加入者に関して、被保険者は2020年度と比較し、3.7pt増加をしている。
- 平均年齢の推移では年々上昇傾向にある。被保険者全体では2018年度と比べ+3.1歳となっている。（男性:+2.3歳、女性:+3.9歳）
40歳以上割合の増加、平均年齢の増加が医療費に影響を与える可能性が考えられる。

[被保険者(40歳以上)]

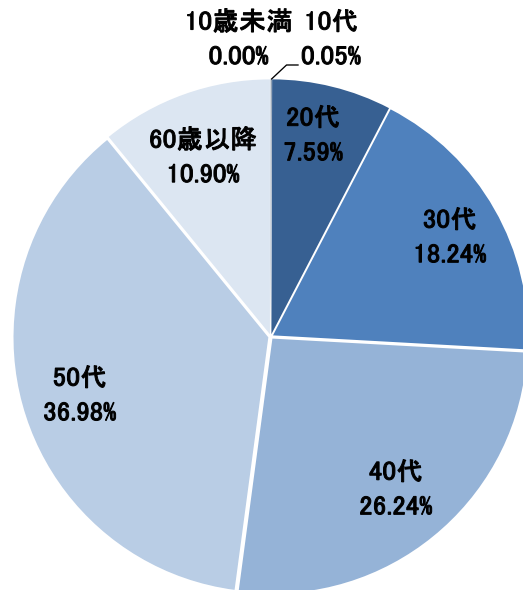


[平均年齢推移]



[被保険者]

[年齢層別構成]



被保険者男性
被保険者女性
被保険者

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
被保険者男性	48.1	48.7	49.3	49.8	50.4
被保険者女性	39.8	40.8	42.0	42.8	43.7
被保険者	44.0	44.8	45.8	46.5	47.1

- 医療費総額としては昨年度と比較し1.79億円増加をしている事が確認できる。(昨年度18.27億円)
- 被保険者の医療費において、40歳以上が被保険者全体の83.7%を占めている。
- 被保険者の年齢層別一人当たり医療費では20歳以上で他組合平均と比べ高い事が確認できる。

[全体]

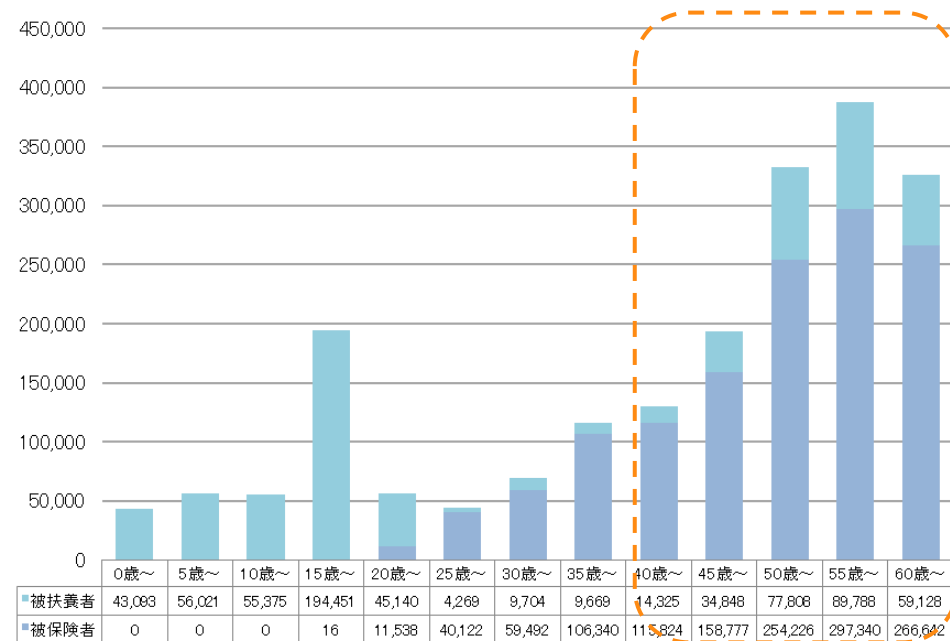
[被保険者・被扶養者]

[全年齢]

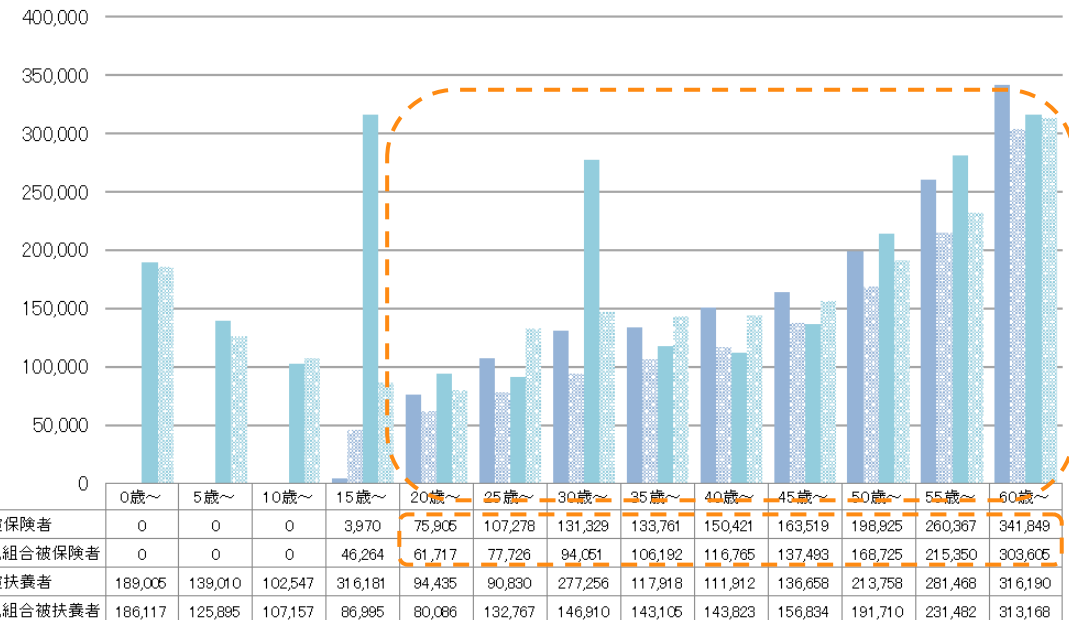
[患者負担含む]

医療費総額	20.06 億円	被保険者	13.10 億円	65.4%	男性	9.74 億円	48.6%
		被扶養者	6.94 億円	34.6%	女性	10.30 億円	51.4%

[年齢層別・被保険者/被扶養者別医療費]



[年齢層別・被保険者/被扶養者別一人当たり医療費]



<高額医療費発生状況>

- 一人当たり100万以上の高額医療費の人数・医療費が大きく増加

[高額医療費発生状況（2022年度）]

区分	人数			医療費		
	人数(人)	前年比	構成比	金額（百万）	前年比	構成比
100万以上	245	116%	2%	8"14	114%	41%
50-100万	270	110%	3%	1"85	115%	9%
0-50万	9,885	99%	95%	10"05	105%	50%

＜高額医療費の構成＞

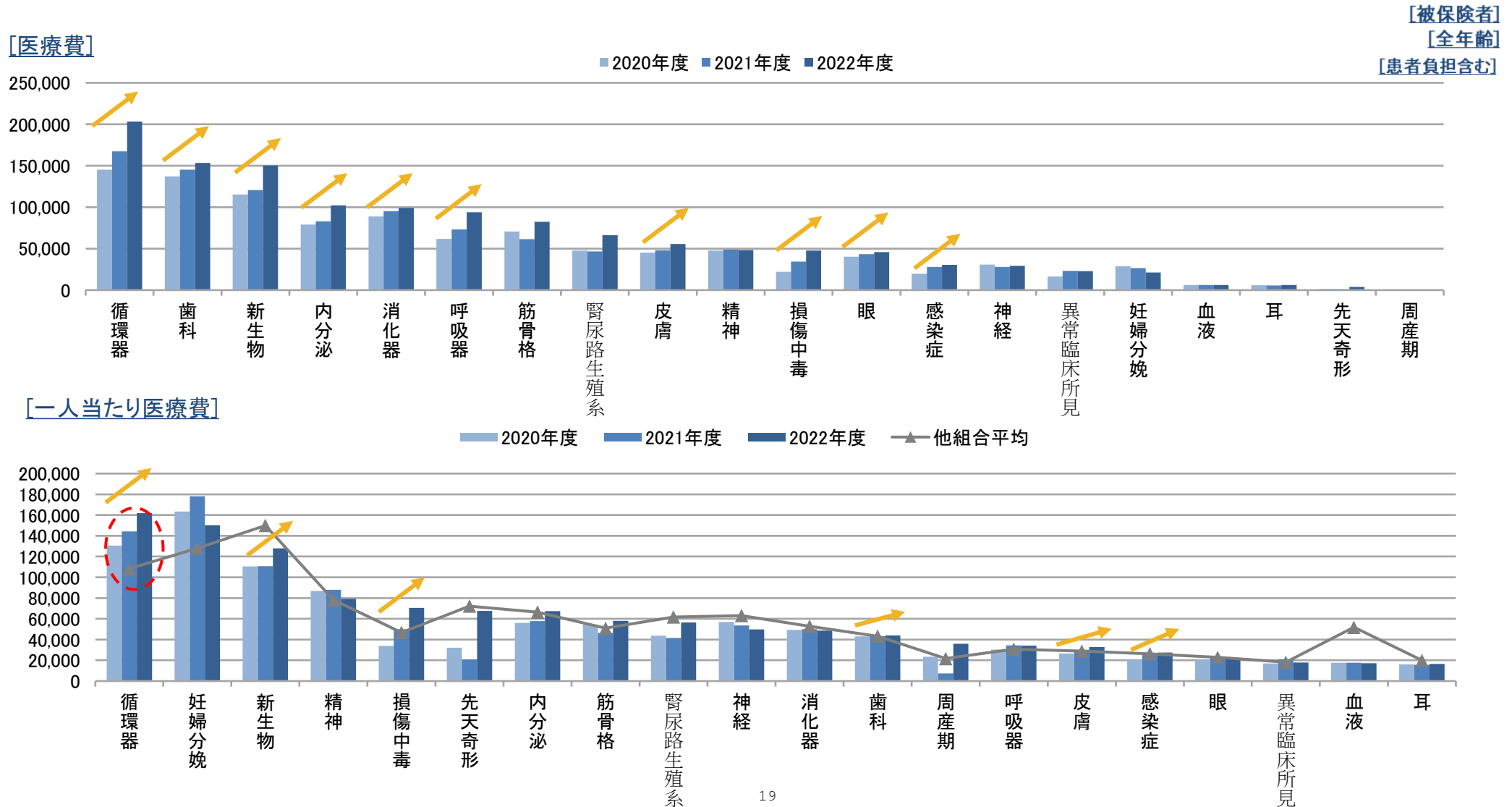
- 予防・早期発見で重症化を防げる「生活習慣関連」と「がん」で構成の半数を占める
- 循環器疾患が、人数・金額とも大きく増加
- 2022年度から保険適用となった不妊治療で2000万発生

	人数 (人)	前年差 (人)	金額 (百万)	前年差 (百万)	金額構成
循環器疾患	39	20	2"00	1"15	25%
糖尿病等	10	-7	18	-61	2%
生活習慣病計	49	13	2"18	54	27%
がん	30	-1	1"22	4	15%
女性がん	21	2	56	3	7%
がん計	51	1	1"78	7	22%
筋・骨格	32	8	84	-85	10%
メンタル	8	-2	17	-6	2%
婦人科＋出産 ＋不妊治療	34	15	51	11	6%
その他	71	5	2"65	48	33%
高額医療計	245	40	8"14	29	100%

* 65歳以上
計：2300万（前年＋1300万）
循環器：3名、1320万
がん：2名、1018万

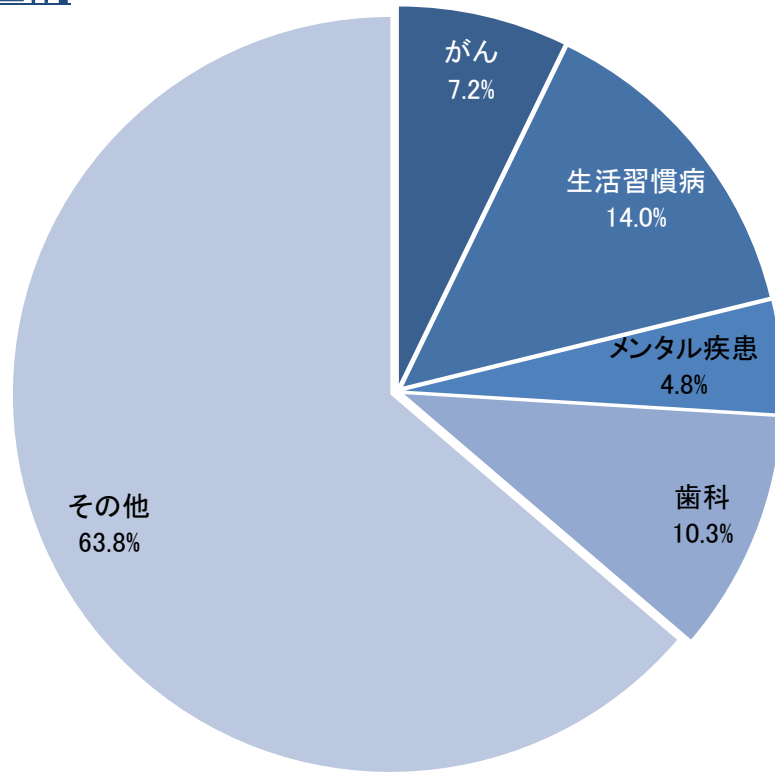
* 不妊治療14名、2012万

- 疾病別の医療費では生活習慣病に関わる循環器、内分泌、また先生物は昨年度とくらべ20pt以上増加をしている事が確認できる。
- 疾病別の一人当たり医療費では他組合と比較して最も差があるのが循環器であった。（約53,636円）

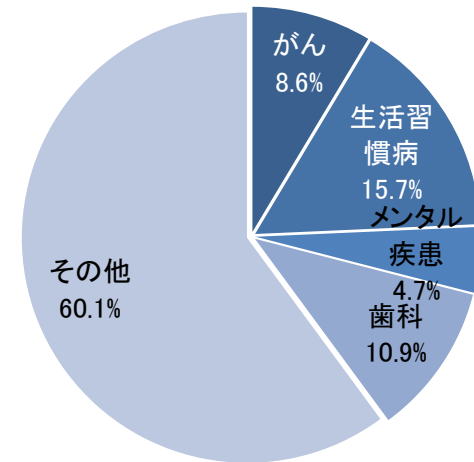


- がんの医療費は7.2%、生活習慣病は14.0%メンタル疾患は4.8%歯科の医療費は10.3%であった。
- ※（被保険者はがん8.6%、生活習慣病15.7%、メンタル疾患4.7%、歯科10.9%）

[全体]



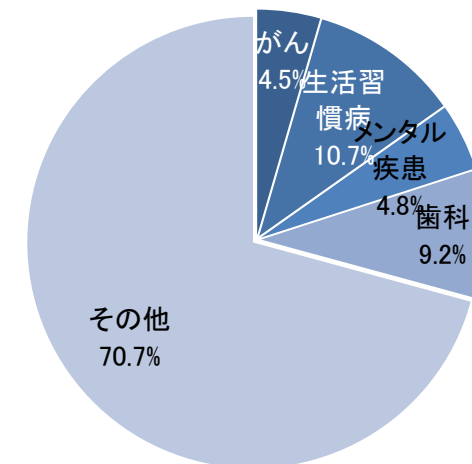
[被保険者]



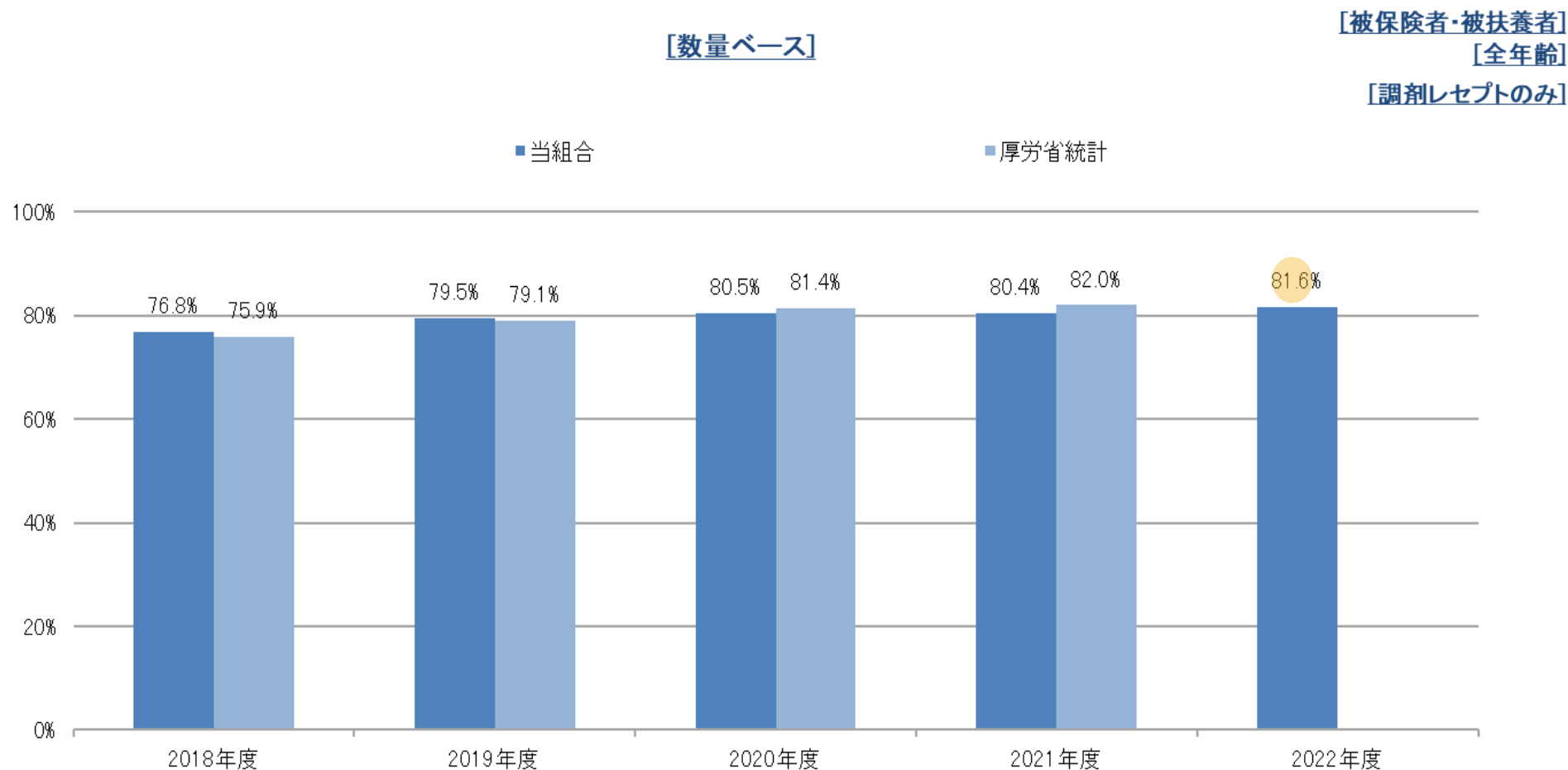
[被保険者・被扶養者]

[全年齢]

[被扶養者]



- 後発医薬品使用割合2022年度で81.6%であり、昨年度と比べ1.2pt上昇をしており、80%を1.6pt上回っている事が確認できる。



※1 使用率は年間合計の割合

※2 厚労省統計：調剤医療費(電算処理分)の動向(年度版)「令和2年度 調剤医療費(電算処理分)の動向

4.後発医薬品割合の推移及び後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合 表4-2 年度毎にみた後発医薬品割合
https://www.mhlw.go.jp/topics/medias/year/20/dl/gaiyo_data.pdf

- 2018年度比較し糖代謝（HbA1c）脂質（HDL）の2項目において正常に割合が増加をしている。
- 上記の検査項目除くと2018年度と比較し正常の割合が減少をしている事が分かる。特に血圧（収縮期血圧）糖代謝（空腹時血糖）メタボ（BMI）脂質（LDL）では3pt以上正常の割合が減少をしている。

[被保険者]
[全年齢]

血圧	収縮期血圧	検査値	2018年度	2022年度	比較	脂質	L D L	検査値	2018年度	2022年度	比較
		1:正常 <130	87.7%	83.8%	-3.9%			1:低 <60	1.6%	1.5%	-0.1%
		2:境界域 130≦～<140	7.2%	8.6%	+1.4%			2:正常 60≦～<120	54.9%	50.5%	-4.4%
		3:I度(軽症) 140≦～<160	4.6%	6.1%	+1.5%			3:境界域 120≦～<140	21.4%	23.0%	+1.6%
		4:II度(中等度) 160≦～<180	0.5%	1.3%	+0.8%			4:異常I 140≦～<160	12.9%	14.8%	+1.9%
	5:III度(重症) 180≦	0.1%	0.2%	+0.1%	5:異常II 160≦～<180	6.2%	7.1%	+0.9%			
拡張期血圧	1:正常 <85	87.4%	83.8%	-3.6%	H D L	検査値	2018年度	2022年度	比較		
	2:境界域 85≦～<90	5.9%	6.7%	+0.8%		1:正常 40≦	97.2%	97.7%	+0.5%		
	3:I度(軽症) 90≦～<100	5.0%	7.0%	+2.0%		2:境界域 35≦～<40	2.1%	1.8%	-0.3%		
	4:II度(中等度) 100≦～<110	1.3%	2.0%	+0.7%		3:異常 <35	0.7%	0.5%	-0.2%		
	5:III度(重症) 110≦	0.3%	0.5%	+0.2%		中性脂肪	検査値	2018年度	2022年度	比較	
検査値	2018年度	2022年度	比較	1:低 <30	1.5%		1.2%	-0.3%			
1:正常 <100	81.8%	68.8%	-13.0%	2:正常 30≦～<150	86.1%		85.4%	-0.7%			
2:要指導(優) 100≦～<110	11.5%	19.8%	+8.3%	3:境界域 150≦～<300	10.8%		11.7%	+0.9%			
3:要指導(良) 110≦～<126	4.2%	7.6%	+3.4%	4:異常I 300≦～<1000	1.5%		1.7%	+0.2%			
4:要医療(良) 126≦～<130	0.6%	0.7%	+0.1%	5:異常II 1000≦	0.0%		0.0%	+0.0%			
糖代謝	空腹時血糖	5:要医療(不良) 130≦～<160	1.6%	2.3%	+0.7%	肝機能	GOT	検査値	2018年度	2022年度	比較
		6:要医療(不可) 160≦	0.4%	0.8%	+0.4%			1:正常 <31	90.7%	89.6%	-1.1%
		検査値	2018年度	2022年度	比較			2:境界域 31≦～<51	7.7%	8.5%	+0.8%
		1:正常 <5.6	63.5%	70.7%	+7.2%			3:異常I 51≦～<101	1.4%	1.6%	+0.2%
		2:境界域 5.6≦～<6.0	26.9%	20.6%	-6.3%			4:異常II 101≦～<501	0.2%	0.3%	+0.1%
		3:要指導 6.0≦～<6.5	5.6%	4.7%	-0.9%			5:異常III 501<	0.0%	0.0%	+0.0%
H b A 1 c	4:要医療(不十分) 6.5≦～<7.0	1.8%	1.8%	+0.0%	GPT	検査値	2018年度	2022年度	比較		
	5:要医療(不良) 7.0≦～<8.0	1.4%	1.5%	+0.1%		1:正常 <31	85.1%	82.6%	-2.5%		
	6:要医療(不可) 8.0≦	0.7%	0.8%	+0.1%		2:境界域 31≦～<51	10.9%	11.7%	+0.8%		
	1:低 <18.5	9.5%	9.0%	-0.5%		3:異常I 51≦～<101	3.4%	4.8%	+1.4%		
	2:正常18.5≦～<25	71.9%	68.1%	-3.8%		4:異常II 101≦～<501	0.5%	0.8%	+0.3%		
	3:肥満度I 25≦～<30	15.1%	18.1%	+3.0%		5:異常III 501<	0.0%	0.0%	+0.0%		
メタボ	BMI	4:肥満度II 30≦～<35	3.0%	4.2%	+1.2%	γ G T P	検査値	2018年度	2022年度	比較	
		5:肥満度III 35≦～<40	0.4%	0.5%	+0.1%		1:正常 <51	83.3%	82.8%	-0.5%	
		6:肥満度IV 40≦	0.1%	0.2%	+0.1%		2:境界域 51≦～<101	11.5%	11.9%	+0.4%	
		検査値	2018年度	2022年度	比較		3:異常 101≦	5.1%	5.3%	+0.2%	
		1:正常	79.3%	76.9%	-2.4%						
		2:男性85cm≦ 女性90cm≦	20.7%	23.1%	+2.4%						

- 緊急対応者で確認をすると腎機能において、3割以上未治療者が存在している事が分かる。（eGFR:3名、尿蛋白：5名）
- 優先対応者で確認をすると血圧、脂質代謝、腎機能、肝機能において、未治療、治療放棄が4割以上存在している事が分かる。

[重症者リスク状況]

[被保険者・被扶養者]

2022年度 の健診結果及びレセプトデータの突合分析により抽出

検査項目		緊急対応者					優先対応者				
		検査結果	該当者	未治療 ※3	治療放棄 ※4	受診中 ※5	検査結果	該当者	未治療 ※3	治療放棄 ※4	受診中 ※5
血圧	収縮期	180≦	12	1	1	10	160≦～＜180	79	33	5	41
	拡張期	110≦	32	7	2	23	100≦～＜110	125	61	9	55
糖代謝	血糖値	160≦	49	6	1	42	130≦～＜160	145	21	5	119
	HbA1c	8.0≦	45	6	0	39	7.0≦～＜8.0	79	3	1	75
	尿糖	3+以上	137	4	3	130	2+	26	6	1	19
脂質代謝	中性脂肪	1000≦	2	0	0	2	300≦～＜1000	108	59	4	45
	LDL-C						180≦	192	78	9	105
	HDL-C						<35	30	20	0	10
腎機能	e-GFR	<30	8	3	0	5	30≦～＜45	26	12	1	13
	尿蛋白	3+以上	7	5	0	2	2+	16	15	0	1
肝機能	GOT						51≦	116	48	8	60
	GPT						51≦	356	195	24	137
	γ-GTP						101≦	334	189	21	124
リスク スコア	心筋梗塞(*1)	10%≦	0				8%≦～＜10%	0			
	脳卒中(*2)	20%≦	21				15%≦～＜20%	51			

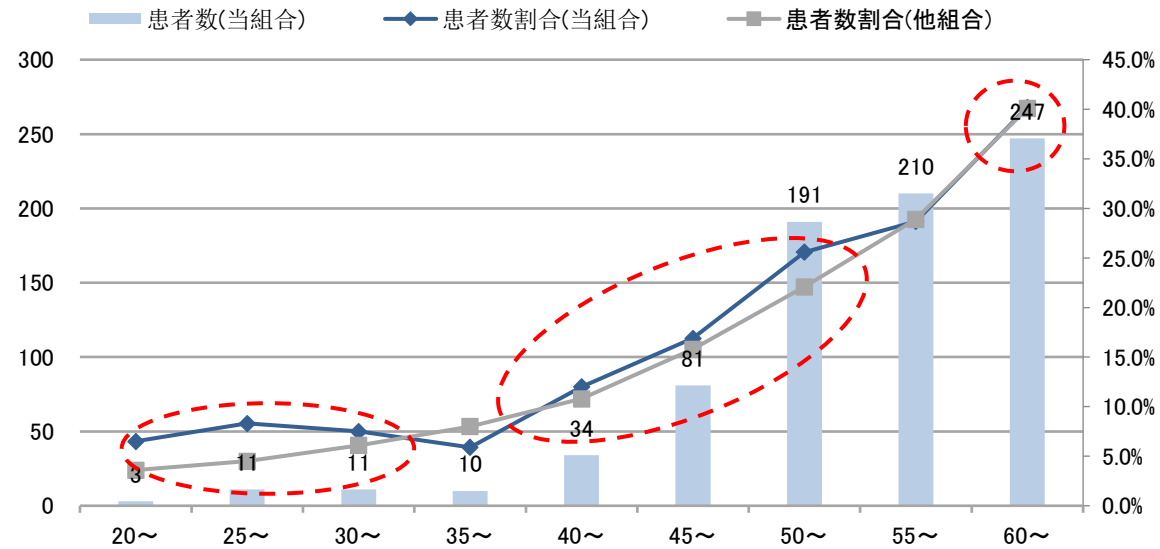
(※1) JALS: Japan Arteriosclerosis Longitudinal Study 動脈硬化による急性心筋梗塞リスクスコア

(※2) JPHC: 国立がん研究センター、国立循環器病研究センター、大学、研究機関、医療機関、全国11保健所などの多目的コホート共同研究 脳卒中リスクスコア

(※3) 未治療: 直近12ヶ月で該当疾病のレセプト無し (※4) 治療放棄: 直近12ヶ月で該当疾病のレセプト有りも直近6ヶ月で無し (※5) 受診中: 直近6ヶ月で該当疾病のレセプト有り

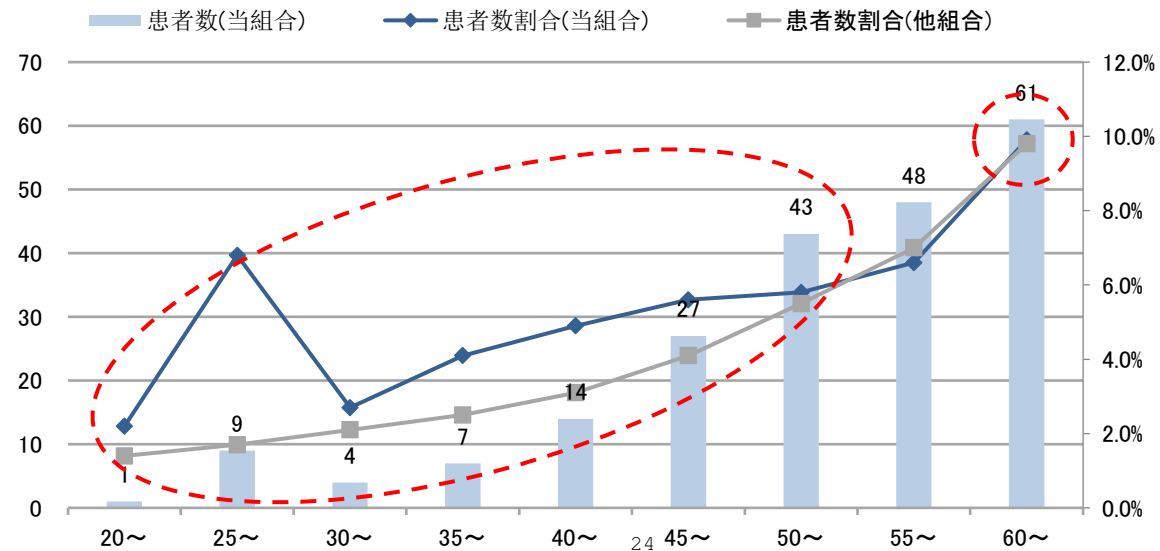
- 男性の糖尿病では35歳～40歳未満、55歳～60歳未満を除き他組合平均を上回っている。
- 男性の腎機能障害では55歳～60歳未満を除き他組合平均を上回っている事が確認できる。

[糖尿病]



[被保険者]
[全年齢]
[疑い含む]

[腎機能障害]



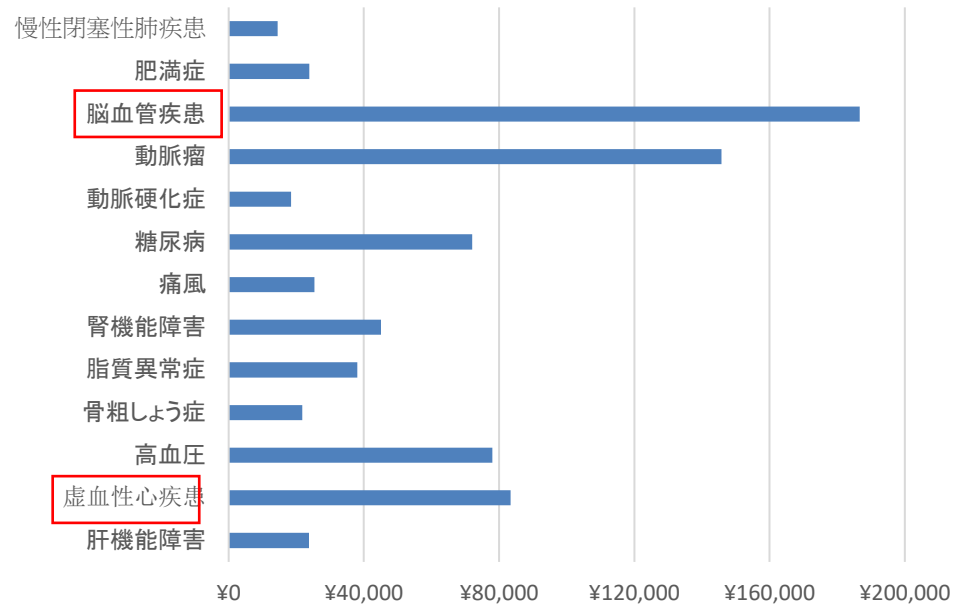
- 虚血性心疾患、脳血管疾患ともに一人当たり医療費が高く、入院においては患者数が下記疾患の中で、多い事が確認できる。

[被保険者]

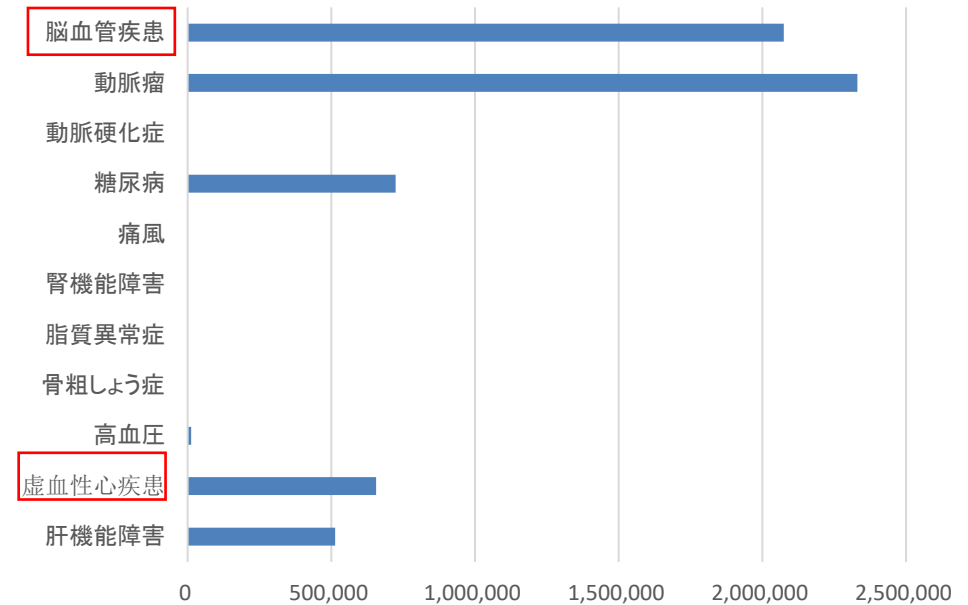
[全年齢]

[疑い含む]

一人当たり医療費



一人当たり医療費(入院)



- がん疾病の計では男性は2018年と比べ医療費が減少をしている事が確認できる。また、がんの項目でみるとその他のがんの医療費が年々増加傾向である事が分かる。昨年度と比べがん疾病の計で17百万円増加をし、その中12百万円はその他のがんであった。
- 一方、がん疾病の計での女性は2018年度と比べ医療費が増加をしている事が分かる。がんの項目でみると、乳がんの2018年度と比べ医療費の増加幅が大きかった。昨年度と比べがん疾病の計で1百万円増加をしており、がんの項目でみると乳がんが6百万円増加をしている事が分かる。

[被保険者]

[全年齢]

[疑い除く]

男性

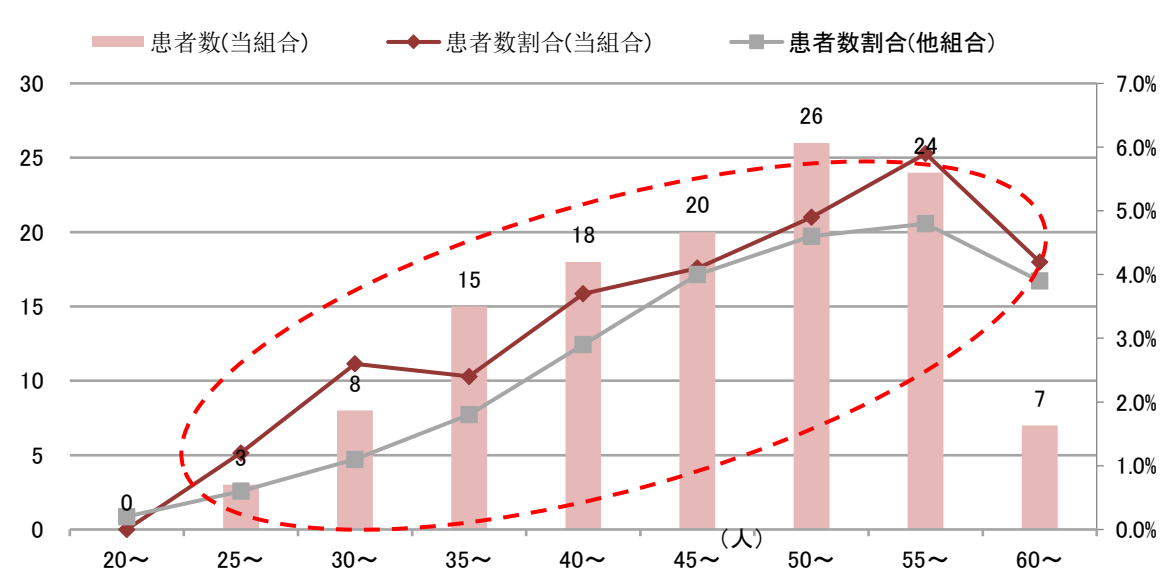
(百万円)	その他のがん	リンパ組織がん／白血病	前立腺がん	食道がん	胃がん	膵がん	肺がん	大腸がん	甲状腺がん	肝がん	胆道がん	乳がん	子宮がん	子宮体がん	子宮頸がん	卵巣がん	計
2018年度	4	23	3	1	5	0	20	9	1	0	0	0	0	0	0	0	65
2019年度	5	3	4	0	5	0	25	6	0	0	0	0	0	0	0	0	48
2020年度	6	2	3	4	3	0	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	29
2021年度	20	2	6	13	1	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	48
2022年度	32	14	8	4	3	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	65
対2018年度	増加	減少	増加	増加	減少	増加	減少	減少	減少	増加	増加						減少

女性

(百万円)	乳がん	その他のがん	大腸がん	子宮頸がん	膵がん	子宮体がん	甲状腺がん	胃がん	卵巣がん	肺がん	胆道がん	リンパ組織がん／白血病	子宮がん	肝がん	食道がん	前立腺がん	計
2018年度	9	5	1	0	0	2	1	3	4	2	0	0	0	0	0	0	27
2019年度	14	1	2	0	0	0	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	24
2020年度	12	0	2	2	0	0	1	3	8	11	0	0	0	0	0	0	39
2021年度	15	7	1	0	2	0	0	5	0	5	0	0	0	0	0	0	37
2022年度	21	6	3	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38
対2018年度	増加	増加	増加	増加	増加	減少	増加	減少	減少	減少	増加	減少	減少	増加	減少		増加

※表示順は直近年度における医療費総額順であります。

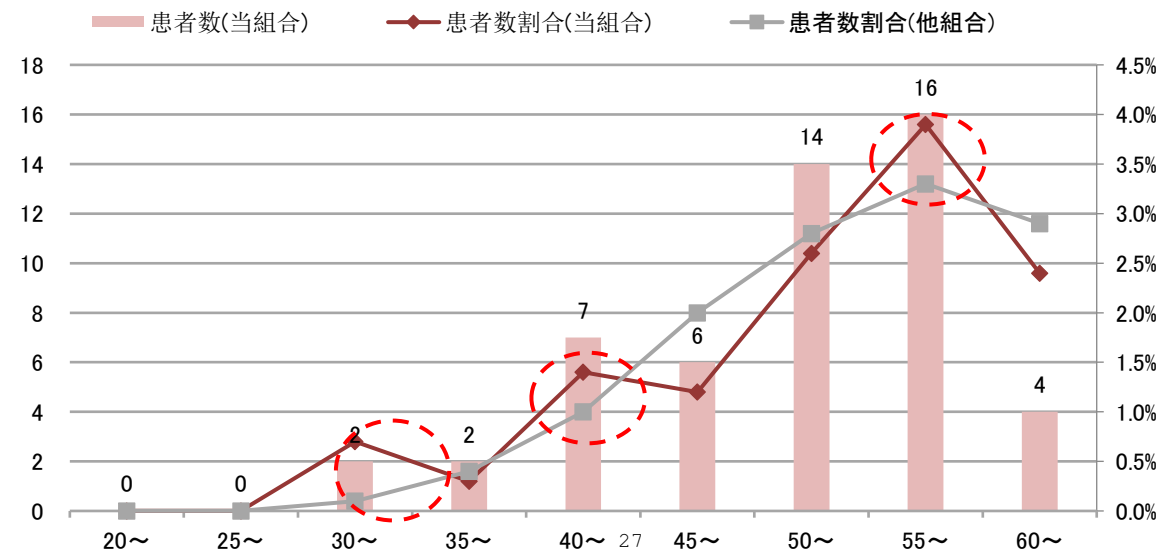
- 乳がんの疑いを含む場合25歳以上で他組合平均を上回っている事が確認できる。
- 乳がんの疑いを除く場合30歳～35歳未満、40歳～45歳未満、55歳～60歳未満で他組合平均を上回っている事が確認できる。



[疑い含む]

[被保険者]

[全年齢]



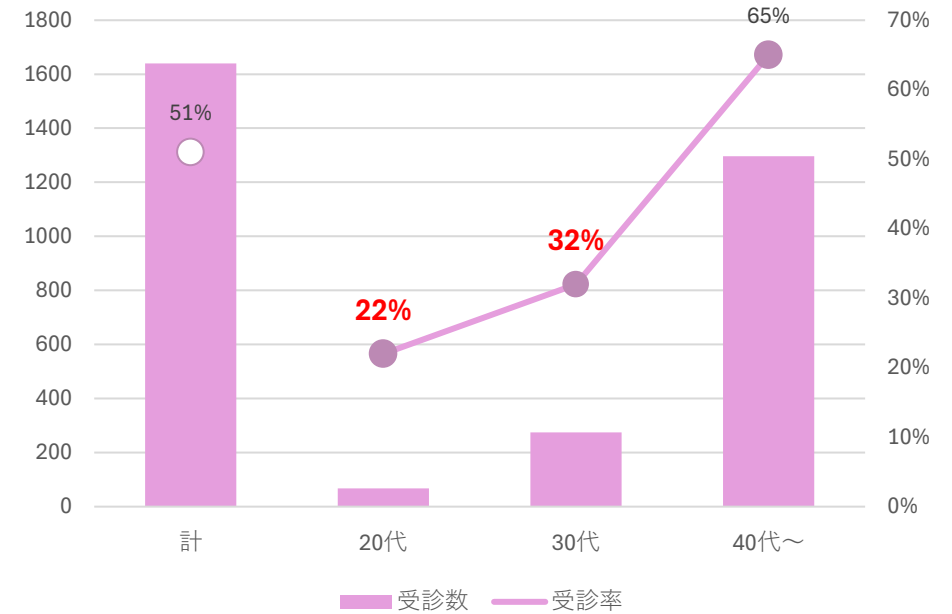
[疑い除く]

- 若い世代で罹患する女性特有のがん「乳がん」「子宮頸がん」の検診受診率が低い
特に、20代・30代の「子宮頸がん」の検診受診率が低い
- 「要再検査」の受診率が低い
特に、「大腸がん」の再検査受診率が低い

[丸井グループの3大がん受診状(2022年度)]

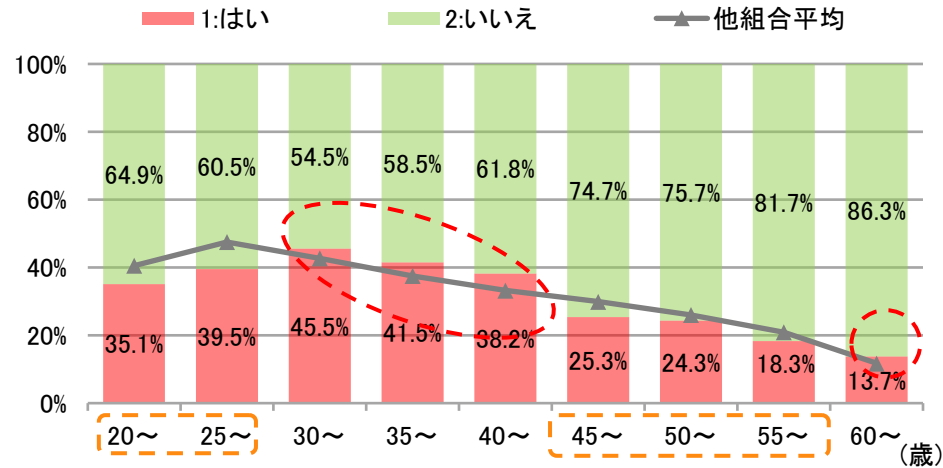
	乳がん	子宮頸がん	大腸がん
がん検診受診率	66% (30歳以上)	51% (20歳以上)	88% (35歳以上)
要再検査受診率	67%	74%	46%

[丸井グループの年代別子宮頸がん検診受診率(2022年度)]

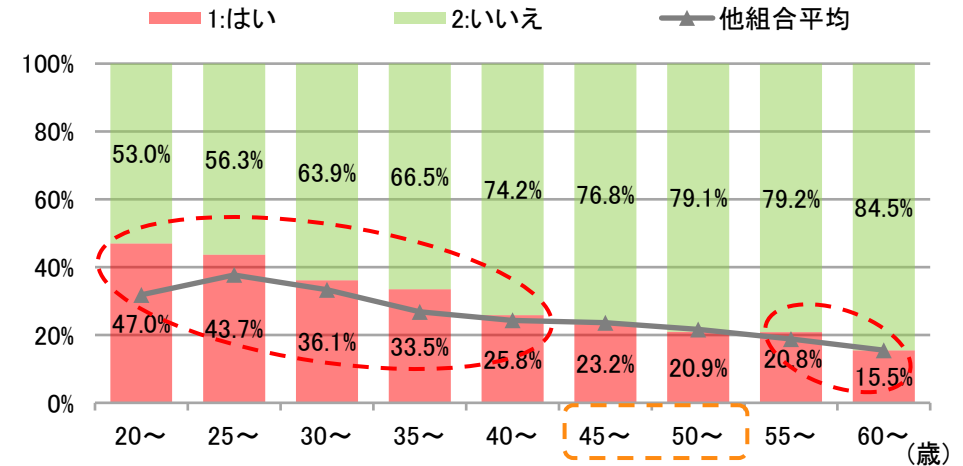


- 朝食抜きの回答をされた割合は男性で30歳～45歳未満、60歳以上で他組合平均を上回っており、女性では20歳～45歳未満、55歳以上で他組合平均を上回っている事が確認できる。
- 就寝前に食事をする割合は男性で20歳～25歳未満、50代で、女性で20歳～25歳未満、35歳～60歳未満で他組合平均を上回っている事が確認できる。

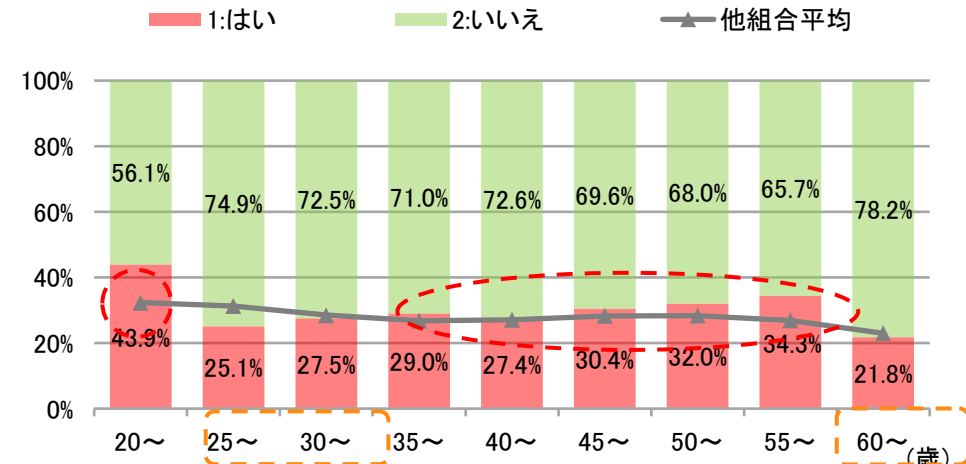
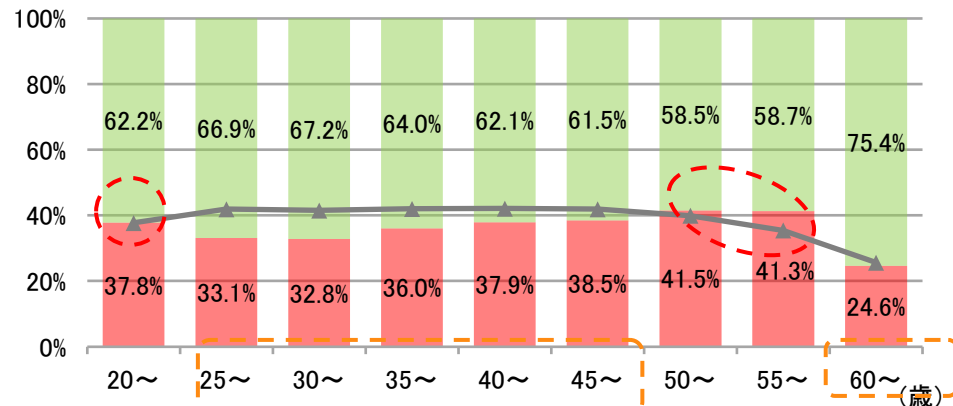
[男性]
[朝食(朝食を抜くことが週に3回以上ある)]



[女性]
**[被保険者]
[全年齢]**

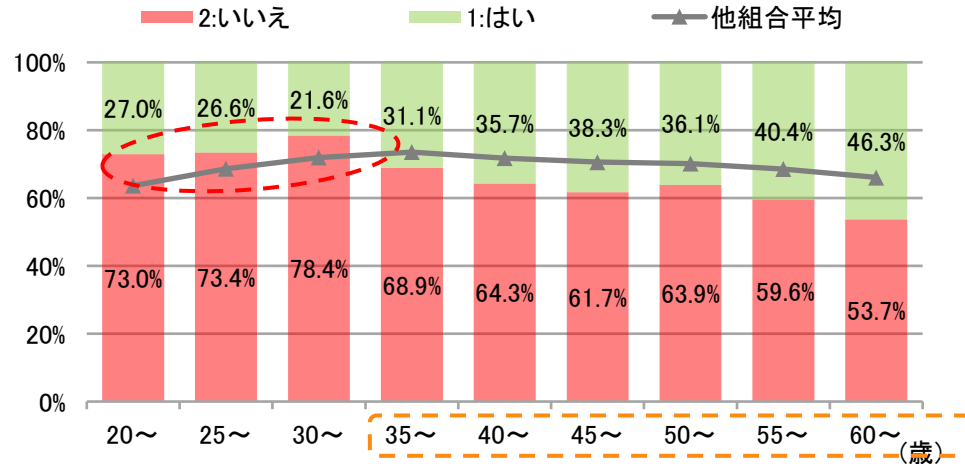


[就寝前(就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある)]

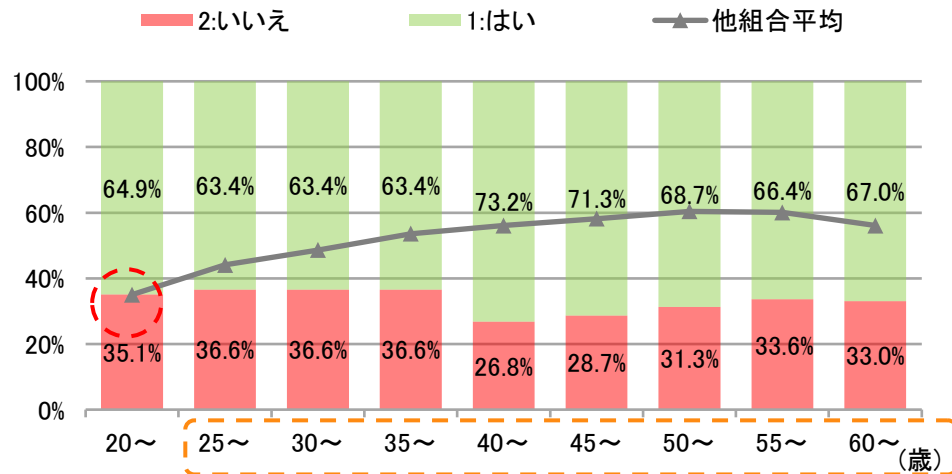


- 運動習慣に関しまして「いいえ」と回答した割合は男性で20歳～35歳未満、女性で45歳～50歳未満、55歳以上で他組合平均を上回っている事が確認できる。
- 歩行身体活動に関しまして「いいえ」と回答した割合は男性で20歳～25歳未満、女性で25歳～30歳未満で他組合平均を上回っている事が確認できる。

[男性]
[運動習慣(1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施している)]

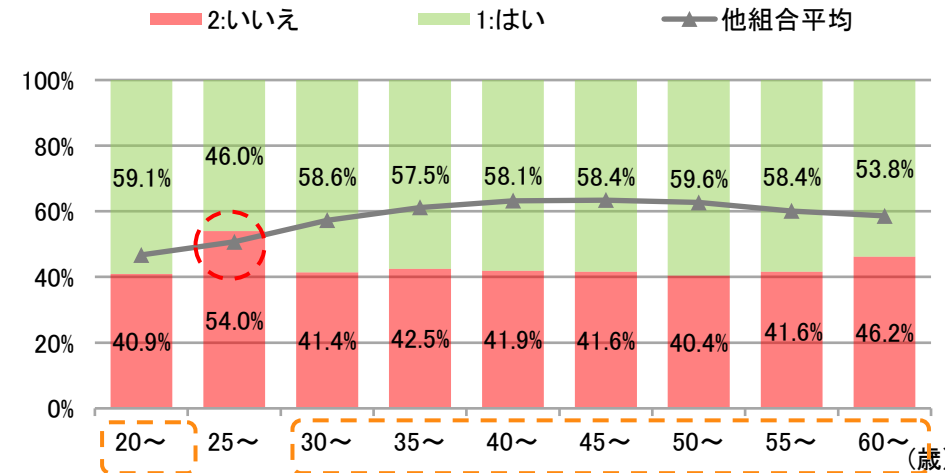
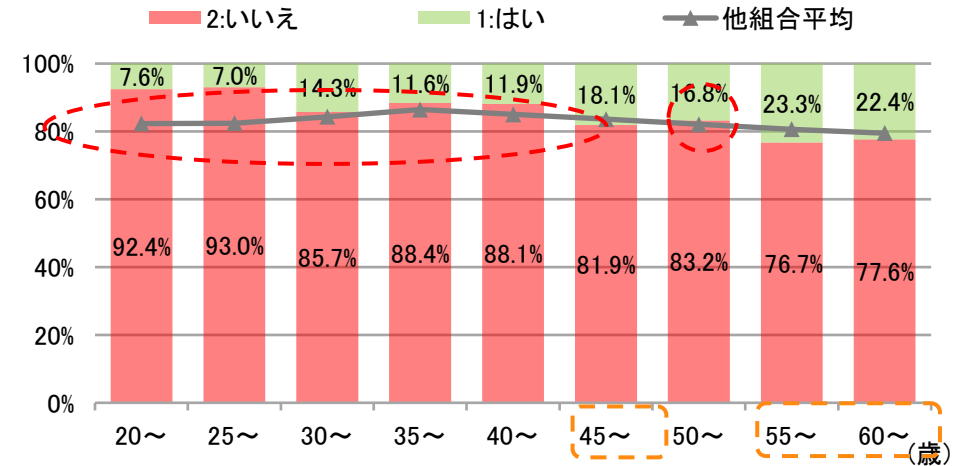


[歩行身体活動(歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している)]



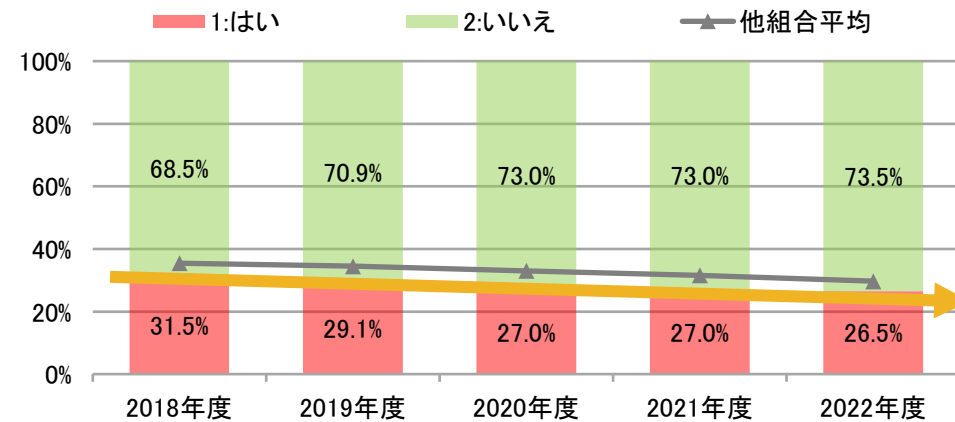
[女性]

[被保険者]
[全年齢]

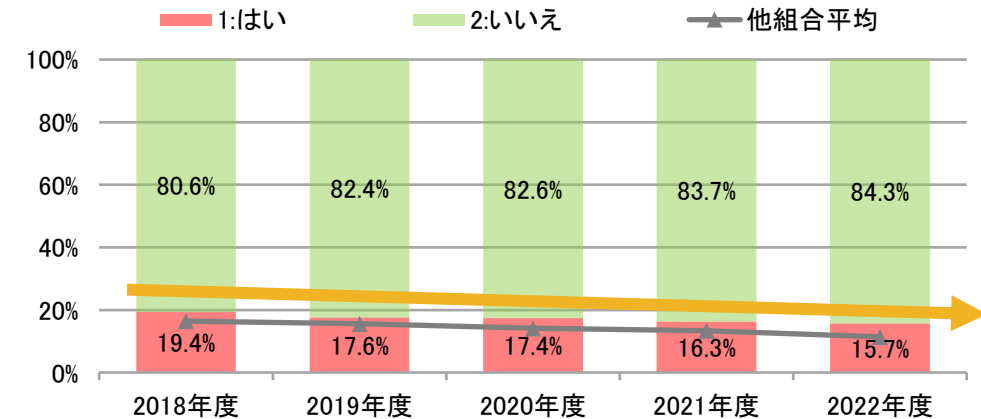


- 男性、女性ともに2018年度より経年でみると年々喫煙者が減少している事が分かる。他組合平均と経年で比較をすると喫煙率は男性で各年度において他組合平均を下回っており、女性では各年度において他組合平均を上回っている事が確認できる。
- 各年齢層で確認をすると男性では35歳～45歳未満の除き他組合平均を下回っており、女性では20歳～25歳未満で他組合平均を下回っている事が確認できる。

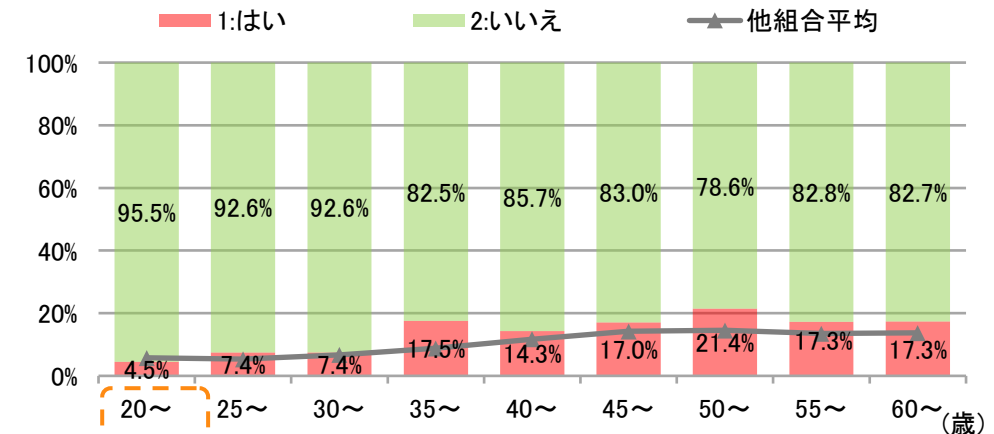
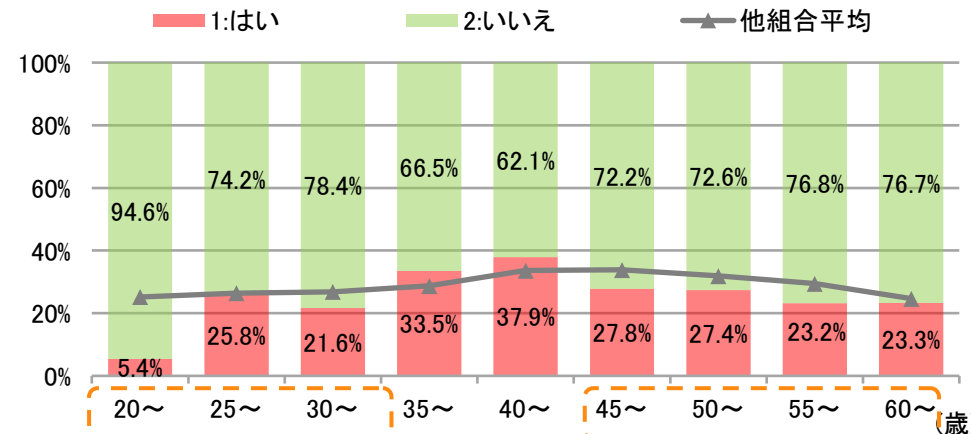
[男性]
[年度別 喫煙(現在、タバコを習慣的に吸っている)]



[女性]
[被保険者]
[全年齢]



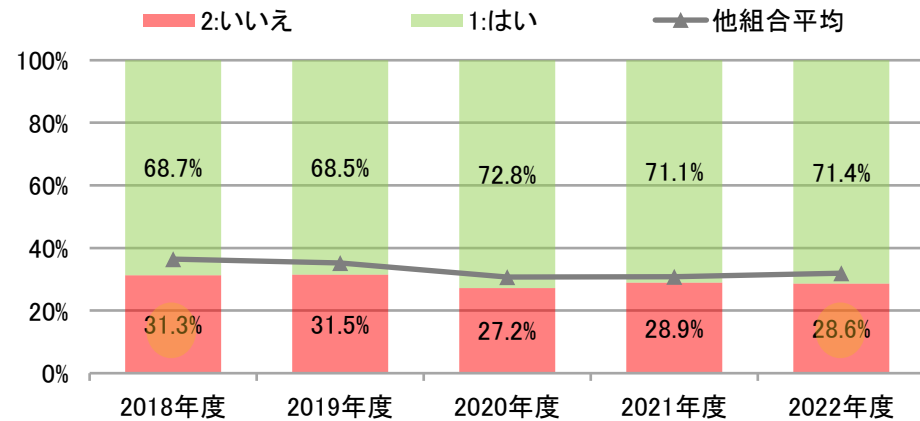
[年齢層別 喫煙(現在、タバコを習慣的に吸っている)]



- 睡眠十分の問診項目において、「いいえ」と回答した割合は2018年度と比べ男性、女性ともに減少傾向である。（男性－2.7pt、女性－0.6pt）
- 年度別に他組合平均と比較をすると、「いいえ」と回答した割合は男性では各年度ともに下回っており、女性では2018年度、2019年度と下回っている事が確認できる。
- 年齢層別で確認をすると、男性では20歳～30歳未満を除き他組合平均を下回っており、女性では20歳～30歳未満、55歳～で他組合平均を下回っている事が確認できる。

[睡眠十分(睡眠で休養が充分とれている)]

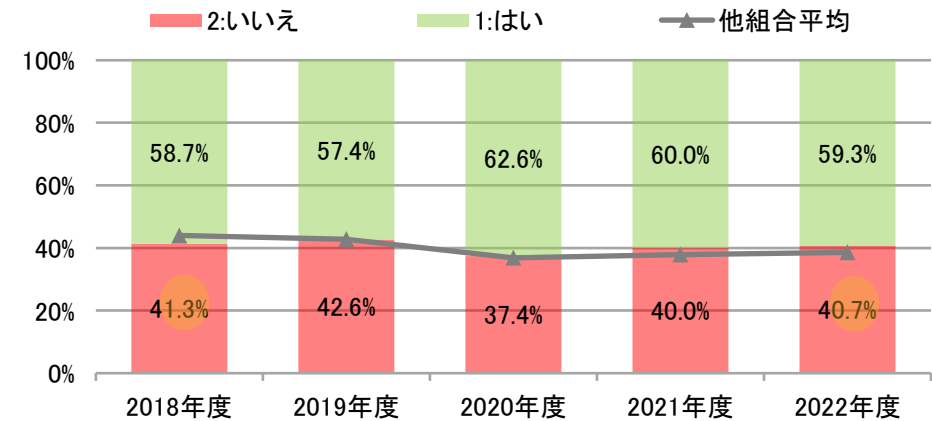
[男性]



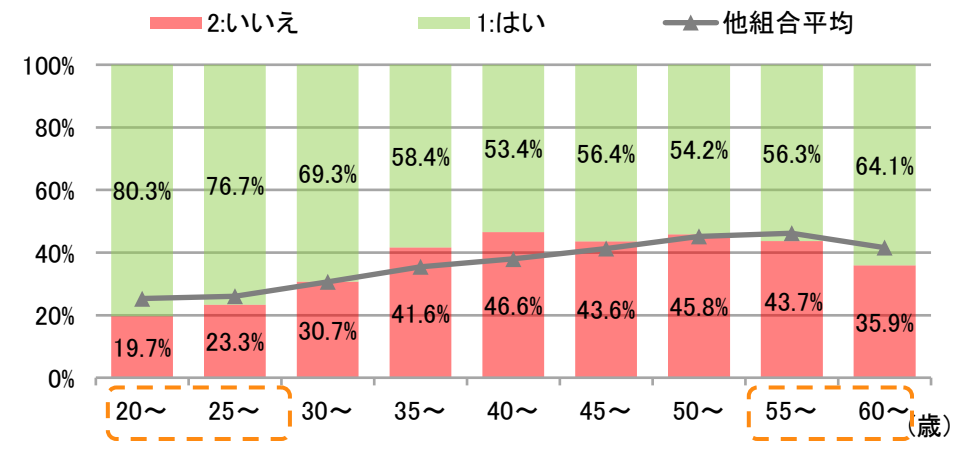
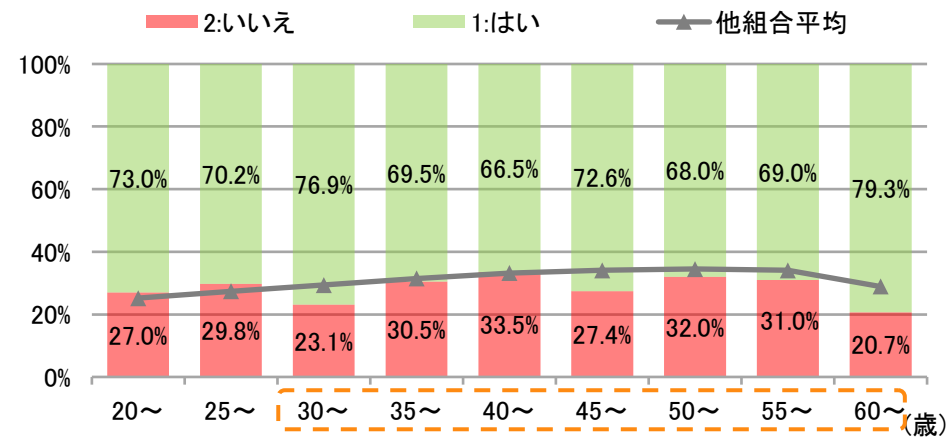
[女性]

[被保険者]

[全年齢]



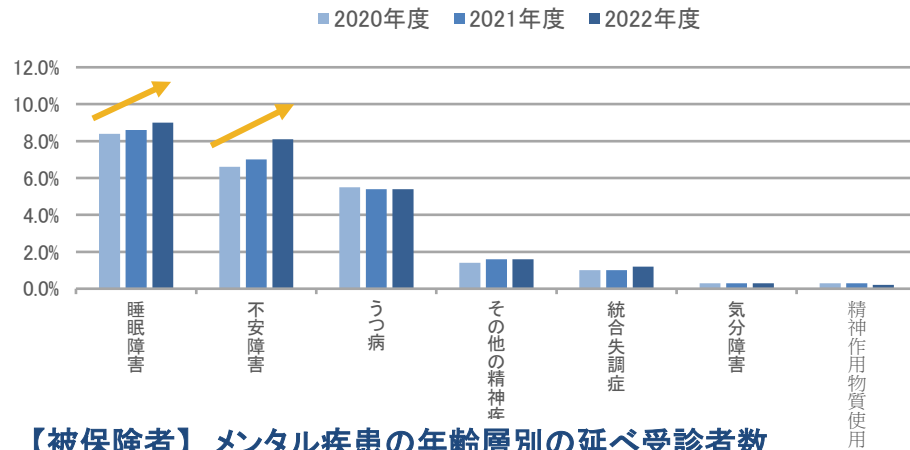
[睡眠十分(睡眠で休養が充分とれている)]



- 患者数割合では男性、女性ともに睡眠障害、不安障害において2020年度より年々、増加傾向である事が確認できる。
- 年齢層別の延べ受診者でみると男性は上位3疾患で（睡眠障害、不安障害、うつ病）40歳～65歳未満で増加傾向にある事が確認できる。また、女性は同様に上位3疾患で（睡眠障害、不安障害、うつ病）でみると25歳～60歳未満で増加傾向である事が確認できる。

【被保険者】 患者数割合

[男性]

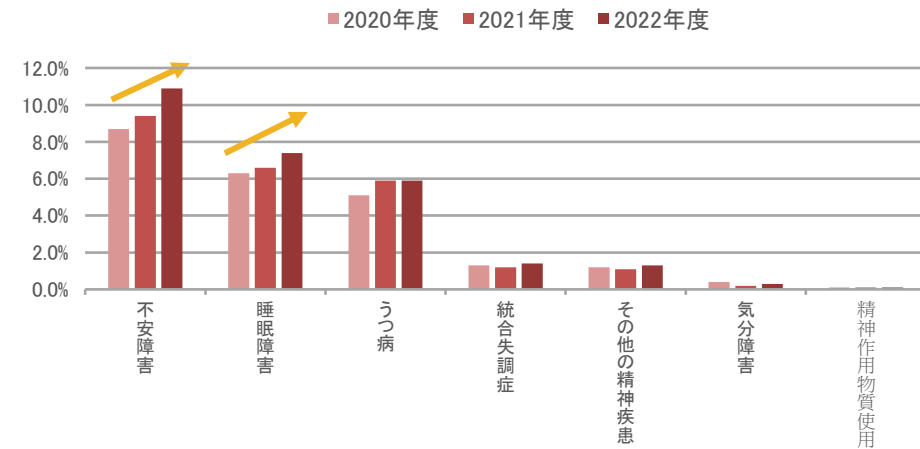


[女性]

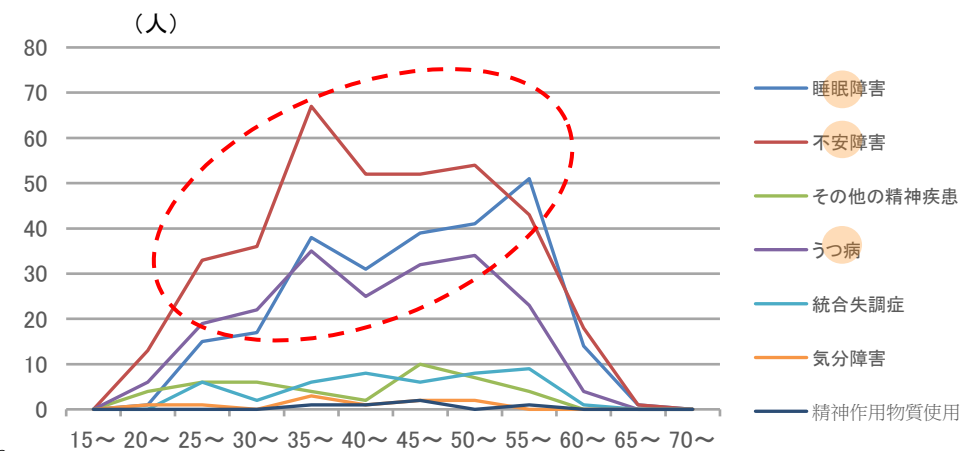
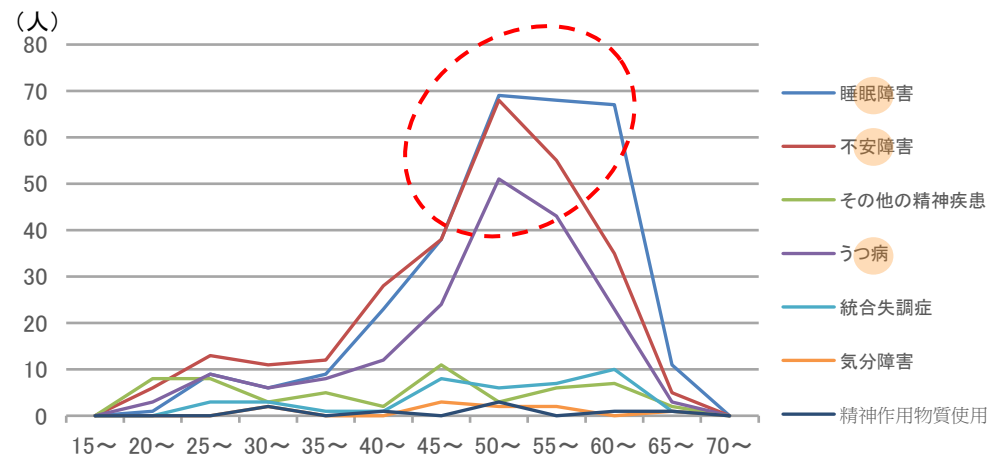
[被保険者]

[全年齢]

[疑い含む]



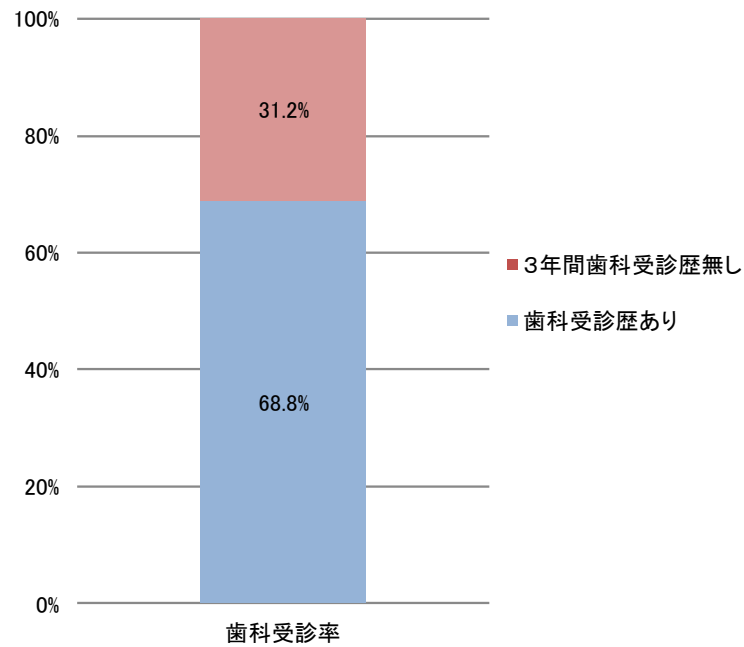
【被保険者】 メンタル疾患の年齢層別の延べ受診者数



- 歯科の受診状況について3年間受診歴の無い加入者は全体の31.2%いらっしゃる事が確認できる。
- 歯科の医療費は他組合平均と比べ上回っている事が確認できる。受診件数は他組合平均と比べ同等もしくは上回っている事が確認できる。

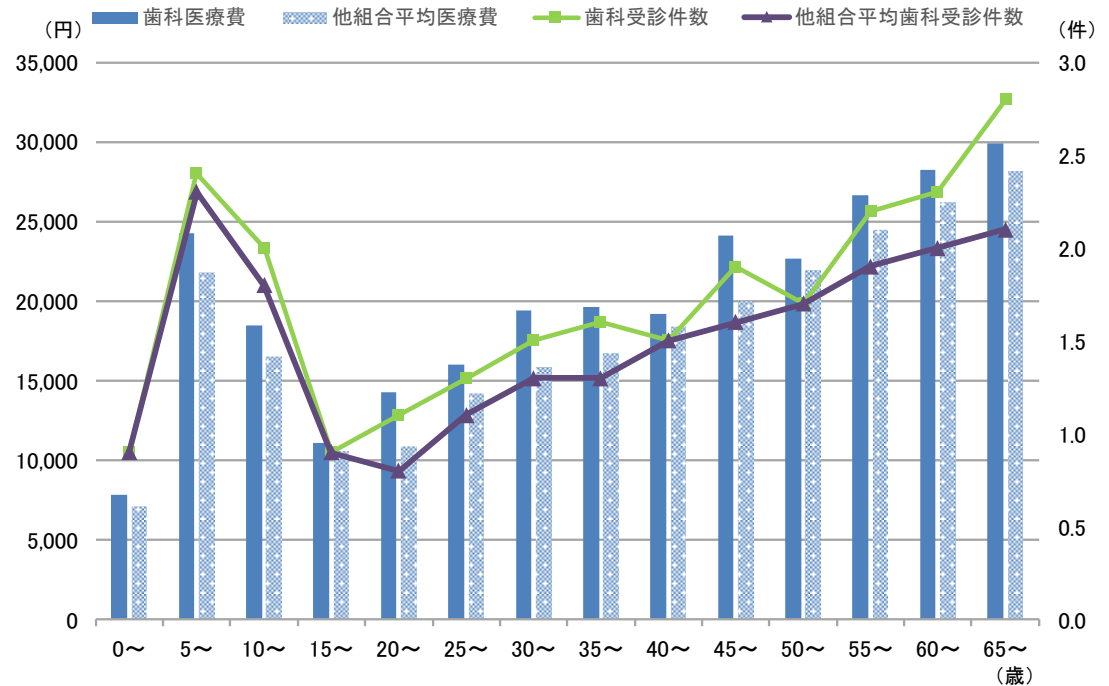
[被保険者・被扶養者]
[全年齢]

2020～2022年度 歯科受診状況



※ 対象期間中に在籍した加入者のうち、歯科レセプトが無かった対象者を「歯科受診無し」と定義

2022年度 年齢層別歯科年間一人当たりの医療費と受診件数



- 会社別・事業所別の健康状態、生活習慣を経年推移で分析・共有し、健康キャンペーンなどで課題解決に向け取り組みを推進

[会社・事業所別健康実態一覧（健康通信簿）]

2022年度 会社・事業所別健康実態一覧（2023年3月末）

会社・事業所	健診人員				平均年齢				肥満率				高血糖				高血圧				脂質異常			
	2022 年度	2021 年度	2020 年度	2022- 2021差	3月31日時点の平均年齢				BMI25以上の人の割合				空腹時血糖 110mg/dL以上の人の割合				収縮時血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上の人の割合				中性脂肪150mg/dL以上 または HDLコレステロール40mg/dL未満の人の割合			
					2022年度	2021年度	2020年度	2022/2021差	2022年度	2021年度	2020年度	2022/2021差	2022年度	2021年度	2020年度	2022/2021差	2022年度	2021年度	2020年度	2022/2021差	2022年度	2021年度	2020年度	2022/2021差
丸井グループ本社	328	331	302	-3	43.3歳	43.3歳	42.4歳	0.0歳	15.2%	13.3%	12.6%	2.0%	9.8%	10.6%	7.3%	-0.8%	15.5%	16.3%	13.6%	-0.8%	13.7%	11.5%	12.3%	2.2%
北口本社	327	265	266	62	42.4歳	43.2歳	41.0歳	-0.8歳	13.1%	11.7%	13.1%	1.5%	5.2%	7.5%	5.9%	-2.3%	13.5%	13.6%	12.6%	-0.1%	13.1%	12.1%	12.6%	1.1%
南口本社	305	283	270	22	48.8歳	48.7歳	47.7歳	0.1歳	25.2%	24.0%	24.1%	1.2%	12.1%	11.0%	10.3%	1.2%	19.0%	19.4%	18.1%	-0.4%	12.1%	15.9%	14.8%	-3.8%
丸井カードC	359	345	384	14	46.4歳	45.8歳	44.5歳	0.6歳	23.1%	22.3%	21.9%	0.8%	7.8%	7.8%	5.2%	0.0%	20.1%	17.7%	18.8%	2.4%	10.0%	9.0%	13.3%	1.0%
外部営業所・外部店	401	337	297	64	45.9歳	47.8歳	47.3歳	-1.9歳	22.9%	20.5%	19.9%	2.5%	7.0%	8.0%	5.7%	-1.0%	21.4%	22.8%	25.3%	-1.4%	12.7%	15.1%	14.5%	-2.4%
国分寺地区	448	391	376	57	51.4歳	50.9歳	50.9歳	0.5歳	27.2%	27.6%	27.1%	-0.4%	12.1%	12.0%	10.6%	0.0%	23.9%	23.5%	21.3%	0.4%	12.3%	14.3%	16.2%	-2.0%
草加地区	90	69	78	21	51.5歳	50.0歳	49.3歳	1.5歳	32.2%	27.5%	32.1%	4.7%	12.2%	14.5%	9.0%	-2.3%	27.8%	34.8%	33.3%	-7.0%	8.9%	17.4%	14.1%	-8.5%
戸塚地区	70	57	58	13	50.5歳	50.0歳	49.0歳	0.5歳	21.4%	17.5%	19.0%	3.9%	10.0%	1.8%	5.2%	8.2%	24.3%	15.8%	19.0%	8.5%	18.6%	14.0%	15.5%	4.5%
九州地区	78	-	-	-	48.0歳	-	-	-	17.9%	-	-	-	12.8%	-	-	-	24.4%	-	-	-	19.2%	-	-	-
エボスカード	2078	1747	1729	331	47.5歳	47.7歳	46.4歳	-0.2歳	22.9%	21.9%	21.6%	1.0%	9.2%	9.3%	7.5%	-0.1%	20.6%	20.3%	19.6%	0.3%	12.4%	13.5%	14.3%	-1.0%
本社	515	611	607	-96	41.5歳	47.1歳	42.9歳	-5.6歳	15.1%	21.6%	16.5%	-6.4%	9.5%	8.5%	7.7%	1.1%	13.0%	22.4%	17.6%	-9.4%	10.7%	17.3%	14.2%	-6.7%
営業店・外部	927	1042	1143	-115	48.1歳	43.3歳	46.4歳	4.8歳	23.0%	17.0%	20.4%	6.0%	9.7%	10.1%	6.7%	-0.4%	23.8%	18.8%	18.1%	5.0%	13.7%	13.7%	12.1%	0.0%
丸井	1442	1653	1750	-211	45.7歳	45.7歳	45.2歳	0.1歳	20.2%	19.9%	19.0%	0.3%	9.6%	9.1%	7.1%	0.6%	20.0%	21.1%	17.9%	-1.1%	12.6%	14.4%	12.8%	-1.8%
エムアンドシーシステム	287	297	280	-10	41.5歳	40.4歳	40.3歳	1.1歳	22.3%	17.2%	20.3%	5.1%	7.7%	7.7%	3.7%	-0.1%	16.0%	14.5%	12.8%	1.5%	15.3%	13.5%	10.2%	1.9%
本社・外部	160	166	167	-6	48.7歳	49.9歳	49.0歳	-1.2歳	28.8%	28.3%	25.1%	0.4%	22.5%	19.9%	13.8%	2.6%	28.8%	33.1%	27.5%	-4.4%	15.6%	18.1%	19.8%	-2.4%
丸井営業店	391	373	362	18	52.9歳	52.4歳	52.5歳	0.4歳	32.7%	32.7%	33.4%	0.0%	19.9%	15.3%	16.6%	4.7%	30.2%	34.0%	31.5%	-3.9%	20.5%	21.7%	26.8%	-1.3%
Mファシリティーズ	551	539	529	12	51.7歳	51.7歳	51.4歳	0.0歳	31.6%	31.4%	30.8%	0.2%	20.7%	16.7%	15.7%	4.0%	29.8%	33.8%	30.2%	-4.0%	19.1%	20.6%	24.6%	-1.5%
本社・外部C	300	280	289	20	50.5歳	49.4歳	48.5歳	1.1歳	29.0%	33.2%	30.1%	-4.2%	14.7%	15.7%	11.8%	-1.0%	25.7%	27.5%	27.7%	-1.8%	13.7%	15.7%	17.3%	-2.0%
三郷C	127	131	130	-4	47.9歳	46.9歳	46.3歳	1.1歳	26.8%	24.4%	20.0%	2.3%	7.1%	6.1%	6.2%	1.0%	19.7%	16.0%	20.8%	3.7%	9.4%	11.5%	10.0%	-2.0%
丸井営業店	133	119	134	14	49.6歳	47.3歳	46.5歳	2.3歳	23.3%	17.6%	20.9%	5.7%	12.0%	11.8%	9.7%	0.3%	26.3%	21.0%	19.4%	5.3%	11.3%	10.1%	8.2%	1.2%
ムービング	560	530	553	30	49.7歳	48.3歳	47.5歳	1.4歳	27.1%	27.5%	25.5%	-0.4%	12.3%	12.5%	9.9%	-0.1%	24.5%	23.2%	24.1%	1.3%	12.1%	13.4%	13.4%	-1.3%
エムアールアイ債権回収	95	96	91	-1	54.2歳	54.4歳	53.6歳	-0.2歳	33.7%	35.4%	30.8%	-1.7%	16.8%	22.9%	16.5%	-6.1%	28.4%	38.5%	29.7%	-10.1%	21.1%	25.0%	20.9%	-3.9%
本社	208	229	228	-21	48.3歳	47.3歳	46.5歳	1.0歳	23.1%	24.5%	25.4%	-1.4%	21.2%	15.7%	14.0%	5.4%	17.8%	21.8%	18.9%	-4.0%	23.6%	23.1%	23.2%	0.4%
外部事業所	93	88	94	5	53.2歳	53.3歳	52.3歳	-0.1歳	21.5%	21.6%	21.3%	-0.1%	19.4%	21.6%	16.0%	-2.2%	33.3%	38.6%	28.7%	-5.3%	26.9%	21.6%	24.5%	5.3%
エイムクリエイツ	301	317	322	-16	49.8歳	49.0歳	48.2歳	0.8歳	22.6%	23.7%	24.2%	-1.1%	20.6%	17.4%	14.6%	3.2%	22.6%	26.5%	21.7%	-3.9%	24.6%	22.7%	23.6%	1.9%
Mホームサービス	86	85	83	1	47.4歳	46.9歳	45.9歳	0.5歳	19.8%	18.8%	19.3%	0.9%	8.1%	10.6%	7.2%	-2.4%	20.9%	25.9%	19.3%	-5.0%	17.4%	17.6%	14.5%	-0.2%
エボス少額短期保険	19	15	16	4	48.6歳	47.4歳	45.7歳	1.2歳	21.1%	13.3%	12.5%	7.7%	10.5%	6.7%	12.5%	3.9%	15.8%	13.3%	12.5%	2.5%	5.3%	20.0%	6.3%	-14.7%
tsumiki証券	15	13	9	2	40.7歳	43.1歳	40.7歳	-2.3歳	13.3%	7.7%	0.0%	5.6%	0.0%	7.7%	0.0%	-7.7%	0.0%	7.7%	22.2%	-7.7%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%
D2C&Co.	18	15	16	3	35.6歳	32.2歳	32.4歳	3.4歳	11.1%	13.3%	12.5%	-2.2%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	12.5%	22.2%	5.6%	20.0%	25.0%	-14.4%
okos	62	53	49	9	37.4歳	37.2歳	37.2歳	0.2歳	9.7%	9.4%	14.3%	0.2%	1.6%	1.9%	0.0%	-0.3%	11.3%	7.5%	12.2%	3.7%	8.1%	5.7%	6.1%	2.4%
マルイキットC	60	60	57	0	40.4歳	39.2歳	37.9歳	1.2歳	26.7%	28.3%	35.1%	-1.7%	6.7%	6.7%	5.3%	0.0%	16.7%	26.7%	22.8%	-10.0%	11.7%	18.3%	15.8%	-6.7%
MGU・福祉会	24	25	25	-1	41.8歳	41.0歳	41.2歳	0.8歳	8.3%	4.0%	8.0%	4.3%	0.0%	4.0%	4.0%	-4.0%	12.5%	8.0%	4.0%	4.5%	0.0%	4.0%	16.0%	-4.0%
総計	6025	5776	5811	249	47.0歳	46.8歳	46.2歳	0.2歳	22.7%	22.1%	21.7%	0.6%	11.1%	10.8%	8.6%	0.3%	20.9%	22.0%	20.1%	-1.1%	14.0%	15.0%	15.0%	-1.0%

[会社・事業所別健康実態一覧（健康通信簿）]

2022年度 会社・事業所別健康実態一覧（2023年3月末）

会社・事業所	喫煙率				就寝前の喫食				休肝日なし				運動不足				睡眠による休養			
	たばこを習慣的に吸っている人の割合				就寝の2時間以内に夕食をとることが週3日以上ある人の割合				毎日お酒を飲む人の割合				1日30分以上の運動を週2回1年以上実施している割合				睡眠による休養が十分にとれていない人の割合			
	2022年度	2021年度	2020年度	2022/2021年	2022年度	2021年度	2020年度	2022/2021年	2022年度	2021年度	2020年度	2022/2021年	2022年度	2021年度	2020年度	2022/2021年	2022年度	2021年度	2020年度	2022/2021年
丸井グループ本社	14.6%	13.9%	14.7%	0.7%	31.4%	26.6%	30.1%	4.8%	23.2%	23.0%	27.8%	0.2%	21.0%	22.7%	20.9%	-1.6%	26.5%	25.1%	24.7%	1.4%
北口本社	18.3%	17.4%	19.8%	1.0%	33.6%	36.2%	34.1%	-2.6%	27.2%	32.5%	24.0%	-5.2%	26.3%	24.2%	20.7%	2.1%	31.8%	27.9%	24.9%	3.9%
南口本社	19.3%	20.5%	21.0%	-1.2%	18.7%	22.6%	27.8%	-3.9%	25.2%	25.4%	26.3%	-0.2%	23.6%	23.7%	23.6%	-0.1%	37.0%	37.5%	33.0%	-0.4%
丸井カードC	19.2%	23.5%	23.5%	-4.3%	45.1%	42.9%	41.5%	2.2%	24.8%	22.6%	24.1%	2.2%	17.8%	18.9%	18.5%	-1.1%	35.9%	37.1%	29.9%	-1.2%
外部営業所・外部店	25.4%	27.3%	28.8%	-1.9%	32.2%	37.7%	39.2%	-5.5%	28.9%	38.0%	39.7%	-9.1%	21.4%	24.9%	24.6%	-3.4%	30.9%	26.1%	31.4%	4.8%
国分寺地区	16.1%	18.9%	21.3%	-2.9%	21.0%	23.0%	23.7%	-2.0%	26.8%	27.9%	28.5%	-1.1%	22.8%	23.0%	25.3%	-0.3%	33.7%	36.1%	33.8%	-2.4%
草加地区	17.8%	14.5%	12.8%	3.3%	22.2%	17.4%	28.2%	4.8%	16.7%	11.6%	15.4%	5.1%	16.7%	15.9%	20.5%	0.7%	42.2%	52.2%	38.5%	-10.0%
戸塚地区	21.4%	17.5%	19.0%	3.9%	18.6%	17.5%	19.0%	1.0%	21.4%	22.8%	22.4%	-1.4%	22.9%	17.5%	22.4%	5.3%	32.9%	35.1%	34.5%	-2.2%
九州地区	32.1%	—	—	—	25.6%	—	—	—	33.3%	—	—	—	28.2%	—	—	—	30.8%	—	—	—
エボスカード	20.1%	21.2%	22.2%	-1.1%	29.1%	31.3%	32.6%	-2.2%	26.3%	28.3%	27.4%	-2.0%	22.3%	22.4%	22.3%	-0.1%	34.0%	33.9%	30.9%	0.0%
本社	18.8%	23.9%	23.9%	-5.1%	32.2%	44.6%	33.9%	-12.4%	25.6%	28.2%	28.6%	-2.6%	25.2%	24.4%	23.1%	0.8%	26.0%	36.6%	31.1%	-10.6%
営業店・外部	24.5%	21.9%	23.8%	2.6%	45.3%	35.2%	45.7%	10.1%	27.3%	27.5%	26.8%	-0.2%	23.9%	22.8%	21.3%	1.2%	38.6%	32.1%	34.1%	6.5%
丸井	22.5%	23.1%	23.8%	-0.6%	40.6%	41.1%	41.6%	-0.4%	26.7%	27.9%	27.4%	-1.2%	24.4%	23.4%	21.9%	1.0%	34.1%	34.9%	33.0%	-0.8%
エムアンドシーシステム	22.3%	21.5%	18.2%	0.8%	31.4%	26.3%	28.9%	5.1%	20.2%	18.9%	19.3%	1.4%	25.8%	24.6%	23.5%	1.2%	31.4%	30.0%	32.6%	1.4%
本社・外部	21.9%	25.9%	23.4%	-4.0%	36.9%	39.8%	36.5%	-2.9%	22.5%	25.9%	27.5%	-3.4%	30.0%	30.1%	24.6%	-0.1%	36.9%	31.3%	34.1%	5.5%
丸井営業店	26.3%	25.5%	25.7%	0.9%	51.9%	52.8%	53.6%	-0.9%	28.4%	26.0%	29.3%	2.4%	41.9%	38.1%	36.5%	3.9%	52.7%	50.7%	46.7%	2.0%
Mファシリティーズ	25.0%	25.6%	25.0%	-0.6%	47.5%	48.8%	48.2%	-1.2%	26.7%	26.0%	28.7%	0.7%	38.5%	35.6%	32.7%	2.9%	48.1%	44.7%	42.7%	3.4%
本社・外部C	28.0%	28.6%	31.1%	-0.6%	35.0%	34.3%	37.5%	0.7%	29.7%	31.8%	30.6%	-2.1%	40.3%	36.1%	39.1%	4.3%	33.7%	32.9%	32.6%	0.8%
三郷C	28.3%	27.5%	29.2%	0.9%	22.8%	25.2%	22.5%	-2.4%	11.0%	13.7%	17.1%	-2.7%	33.9%	31.3%	36.9%	2.6%	44.1%	39.7%	36.4%	4.4%
丸井営業店	18.8%	21.8%	20.1%	-3.1%	25.6%	23.5%	19.4%	2.0%	29.3%	32.8%	29.1%	-3.4%	50.4%	46.6%	53.0%	3.8%	31.6%	42.9%	23.9%	-11.3%
ムービング	25.9%	26.8%	28.0%	-0.9%	30.0%	29.6%	29.6%	0.4%	25.4%	27.5%	27.0%	-2.2%	41.3%	37.2%	42.0%	4.0%	35.5%	36.8%	31.4%	-1.3%
エムオールアイ債権回収	25.3%	26.0%	26.4%	-0.8%	22.1%	13.5%	22.0%	8.6%	30.5%	30.2%	33.0%	0.3%	33.7%	32.3%	23.1%	1.4%	25.3%	24.0%	25.3%	1.3%
本社	23.6%	24.9%	25.4%	-1.3%	33.2%	32.3%	28.5%	0.9%	33.2%	36.7%	31.1%	-3.5%	25.0%	24.9%	25.4%	0.1%	32.7%	36.2%	31.6%	-3.6%
外部事業所	31.2%	29.5%	28.7%	1.6%	38.7%	33.0%	43.6%	5.8%	40.9%	40.9%	41.5%	0.0%	25.8%	28.2%	26.6%	-2.4%	28.0%	19.3%	21.3%	8.6%
エイムクリエイツ	25.9%	26.2%	26.4%	-0.3%	34.9%	32.5%	32.9%	2.4%	35.5%	37.9%	34.2%	-2.3%	25.2%	25.8%	25.8%	-0.5%	31.2%	31.5%	28.6%	-0.3%
Mホームサービス	23.3%	21.2%	20.5%	2.1%	33.7%	41.2%	36.1%	-7.5%	36.0%	37.6%	39.8%	-1.6%	29.1%	18.8%	15.7%	10.2%	44.2%	41.2%	38.6%	3.0%
エボス少額短期保険	10.5%	13.3%	12.5%	-2.8%	26.3%	33.3%	12.5%	-7.0%	26.3%	33.3%	31.3%	-7.0%	31.6%	20.0%	31.3%	11.6%	10.5%	6.7%	31.3%	3.9%
t s u m i k i 証券	13.3%	15.4%	22.2%	-2.1%	40.0%	53.8%	11.1%	-13.8%	13.3%	7.7%	11.1%	5.6%	13.3%	23.1%	11.1%	-9.7%	33.3%	7.7%	33.3%	25.6%
D2C&Co.	5.6%	20.0%	18.8%	-14.4%	27.8%	40.0%	31.3%	-12.2%	27.8%	6.7%	6.3%	21.1%	11.1%	13.3%	12.5%	-2.2%	38.9%	53.3%	25.0%	-14.4%
okos	11.3%	18.9%	14.3%	-7.6%	32.3%	26.4%	14.3%	5.8%	22.6%	13.2%	16.3%	9.4%	17.7%	15.1%	10.2%	2.6%	41.9%	41.5%	28.6%	0.4%
マリイキットC	10.0%	11.7%	10.5%	-1.7%	41.7%	28.3%	31.6%	13.3%	10.0%	10.0%	8.8%	0.0%	38.3%	30.0%	38.6%	8.3%	23.3%	21.7%	21.1%	1.7%
MGU・福祉会	4.2%	4.0%	4.0%	0.2%	16.7%	16.0%	28.0%	0.7%	29.2%	24.0%	12.0%	5.2%	12.5%	20.0%	24.0%	-7.5%	25.0%	16.0%	36.0%	9.0%
総計	21.4%	22.4%	23.0%	-1.0%	34.2%	34.9%	35.8%	-0.7%	26.1%	27.4%	27.5%	-1.3%	26.5%	25.7%	25.1%	0.9%	34.7%	34.4%	32.2%	0.3%

[会社・事業所別健康実態一覧（健康通信簿）]

2023年4月 事業所別健康実態一覧(健康通信簿) 「①健診結果編」 ※事業所順

丸井健康保険組合

※抽出対象の所属および対象者は2023年度4月時点の情報です。（各店に勤務しているエボスカード、マルイファシリティーズ、ムービングの方は営業店に含みます。）

肥満率				
BMI25以上の人の割合				
	2022	2021	2020	前年差
北千住マルイ	32.7%	33.1%	29.5%	-0.3%
新宿マルイ本館	28.7%	24.6%	24.0%	4.1%
新宿マルイアネックス	19.5%	26.7%	23.0%	-7.2%
新宿マルイメン	21.4%	25.0%	25.0%	-3.6%
有楽町マルイ	20.2%	19.4%	15.3%	0.8%
F M溝口	25.8%	24.3%	21.8%	1.5%
C T Y横浜	28.0%	27.8%	24.7%	0.2%
戸塚地区	22.1%	18.8%	17.0%	3.3%
町田店	30.5%	35.4%	34.3%	-4.9%
上野マルイ	32.4%	23.0%	21.4%	9.4%
錦糸町店	32.4%	25.6%	20.2%	6.8%
なんばマルイ	14.3%	13.4%	13.9%	0.9%
国分寺マルイ	22.1%	19.8%	23.0%	2.3%
F M志木	28.4%	24.1%	20.6%	4.3%
博多マルイ	20.0%	10.2%	18.2%	9.8%
渋谷店	18.1%	18.4%	19.8%	-0.3%
柏店	27.7%	25.4%	32.0%	2.3%
大宮マルイ	23.0%	23.5%	24.3%	-0.6%
F M海老名	20.4%	21.9%	22.1%	-1.5%
吉祥寺マルイ	32.5%	41.0%	37.0%	-8.5%
神戸マルイ	8.8%	15.2%	11.1%	-6.4%
中野マルイ	37.0%	31.8%	41.5%	5.1%
豊加マルイ・エボス豊加CC	27.2%	27.0%	28.3%	0.2%
静岡モディ	14.3%	15.4%	15.4%	-1.1%
丸井グループ本社	15.7%	13.9%	12.6%	1.8%
エボスカード(北口本社)	14.7%	16.9%	16.2%	-2.2%
エボスカード(南口本社)	22.0%	23.7%	24.0%	-1.7%
エボスカード(国分寺C)	28.4%	28.3%	27.1%	0.1%
エボスカード(九州)	22.5%	—	—	—
エボスカード(その他支店・事業所)	23.6%	—	—	—
丸井本社	15.4%	16.6%	16.7%	-1.2%
丸井(イベント)	23.5%	—	—	—
エムアンドシーシステム	19.9%	18.5%	20.3%	1.4%
Mファシリティーズ	26.9%	28.8%	25.1%	-1.8%
ムービング	28.8%	31.1%	30.1%	-2.3%
ムービング三郷C	—	24.2%	20.0%	—
エムアールアイ債権回収	32.7%	36.8%	30.8%	-4.2%
エイムクリエイツ	23.2%	22.9%	24.2%	0.2%
エイムクリエイツ(外部)	20.8%	—	—	—
Mホームサービス	19.6%	19.5%	19.3%	0.0%
エボス少額短期保険	22.2%	15.8%	12.5%	6.4%
tsumiki証券	11.8%	6.3%	0.0%	5.5%
D2C&Co.	7.1%	15.8%	12.5%	-8.6%
okos	10.0%	8.5%	14.3%	1.5%
マルイキットC	25.8%	27.4%	35.1%	-1.6%
MGU・福祉会	8.7%	4.0%	8.0%	4.7%
総 計	22.7%	22.1%	21.7%	0.6%

高血糖				
空腹時血糖110mg/dL以上の人の割合				
	2022	2021	2020	前年差
北千住マルイ	15.0%	11.6%	8.6%	3.5%
新宿マルイ本館	9.8%	6.9%	4.7%	2.9%
新宿マルイアネックス	7.3%	15.6%	6.6%	-8.2%
新宿マルイメン	7.1%	6.3%	6.3%	0.9%
有楽町マルイ	4.4%	5.8%	6.7%	-1.4%
F M溝口	15.9%	9.3%	8.4%	6.6%
C T Y横浜	14.7%	8.9%	8.2%	5.8%
戸塚地区	12.6%	4.7%	5.3%	7.9%
町田店	19.5%	18.8%	12.4%	0.8%
上野マルイ	12.7%	9.2%	2.0%	3.5%
錦糸町店	14.7%	11.6%	15.2%	3.1%
なんばマルイ	3.6%	4.9%	5.0%	-1.3%
国分寺マルイ	16.2%	8.1%	8.0%	8.0%
F M志木	14.9%	13.3%	11.8%	1.6%
博多マルイ	4.4%	4.1%	7.3%	0.4%
渋谷店	6.9%	7.1%	7.9%	-0.2%
柏店	12.3%	15.5%	12.0%	-3.2%
大宮マルイ	9.8%	14.7%	10.8%	-4.9%
F M海老名	12.2%	10.9%	7.4%	1.3%
吉祥寺マルイ	15.0%	20.5%	15.2%	-5.5%
神戸マルイ	2.9%	6.5%	3.7%	-3.6%
中野マルイ	19.6%	11.4%	4.9%	8.2%
豊加マルイ・エボス豊加CC	14.0%	13.5%	11.6%	0.5%
静岡モディ	7.1%	15.4%	7.7%	-8.2%
丸井グループ本社	9.8%	9.7%	7.3%	0.0%
エボスカード(北口本社)	6.7%	8.0%	5.8%	-1.3%
エボスカード(南口本社)	11.7%	11.8%	10.3%	-0.1%
エボスカード(国分寺C)	11.8%	11.7%	10.6%	0.1%
エボスカード(九州)	15.0%	—	—	—
エボスカード(その他支店・事業所)	6.5%	—	—	—
丸井本社	9.7%	9.9%	7.6%	-0.2%
丸井(イベント)	8.9%	—	—	—
エムアンドシーシステム	7.6%	7.7%	3.7%	-0.1%
Mファシリティーズ	21.6%	18.8%	13.8%	2.9%
ムービング	12.6%	15.7%	11.8%	-3.1%
ムービング三郷C	—	6.1%	6.2%	—
エムアールアイ債権回収	16.3%	22.1%	16.5%	-5.8%
エイムクリエイツ	20.7%	17.5%	14.6%	3.2%
エイムクリエイツ(外部)	20.8%	—	—	—
Mホームサービス	9.8%	11.5%	7.2%	-1.7%
エボス少額短期保険	11.1%	10.5%	12.5%	0.6%
tsumiki証券	5.9%	6.3%	0.0%	-0.4%
D2C&Co.	0.0%	5.3%	0.0%	-5.3%
okos	0.0%	1.7%	0.0%	-1.7%
マルイキットC	6.5%	6.5%	5.3%	0.0%
MGU・福祉会	0.0%	4.0%	4.0%	-4.0%
総 計	11.1%	10.8%	8.6%	0.3%

高血圧				
収縮時血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上の人の割合				
	2022	2021	2020	前年差
北千住マルイ	23.9%	22.3%	19.4%	1.6%
新宿マルイ本館	20.5%	22.3%	21.7%	-1.8%
新宿マルイアネックス	19.5%	22.2%	16.4%	-2.7%
新宿マルイメン	28.6%	28.1%	25.0%	0.4%
有楽町マルイ	15.8%	18.0%	12.7%	-2.2%
F M溝口	22.7%	22.4%	19.3%	0.3%
C T Y横浜	25.3%	29.1%	19.6%	-3.8%
戸塚地区	23.2%	18.8%	17.0%	4.3%
町田店	19.5%	25.0%	17.1%	-5.5%
上野マルイ	31.0%	21.8%	22.4%	9.1%
錦糸町店	35.3%	30.2%	22.2%	5.1%
なんばマルイ	26.8%	24.4%	21.8%	2.4%
国分寺マルイ	36.8%	33.7%	27.6%	3.0%
F M志木	21.6%	31.3%	17.6%	-9.7%
博多マルイ	15.6%	10.2%	16.4%	5.4%
渋谷店	23.6%	21.4%	19.8%	2.2%
柏店	18.5%	29.6%	18.7%	-11.1%
大宮マルイ	32.8%	27.9%	32.4%	4.8%
F M海老名	30.6%	18.8%	22.1%	11.9%
吉祥寺マルイ	32.5%	35.9%	26.1%	-3.4%
神戸マルイ	29.4%	21.7%	22.2%	7.7%
中野マルイ	26.1%	29.5%	34.1%	-3.5%
豊加マルイ・エボス豊加CC	28.7%	27.8%	29.0%	0.9%
静岡モディ	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
丸井グループ本社	15.1%	17.7%	13.6%	-2.6%
エボスカード(北口本社)	15.3%	20.0%	18.3%	-4.7%
エボスカード(南口本社)	17.5%	20.2%	18.1%	-2.7%
エボスカード(国分寺C)	23.4%	23.6%	21.3%	-0.2%
エボスカード(九州)	23.8%	—	—	—
エボスカード(その他支店・事業所)	22.2%	—	—	—
丸井本社	13.7%	17.3%	17.7%	-3.6%
丸井(イベント)	24.9%	—	—	—
エムアンドシーシステム	14.1%	15.4%	12.8%	-1.4%
Mファシリティーズ	29.2%	30.6%	27.5%	-1.4%
ムービング	22.8%	27.1%	27.7%	-4.3%
ムービング三郷C	—	15.9%	20.8%	—
エムアールアイ債権回収	29.6%	35.8%	29.7%	-6.2%
エイムクリエイツ	19.2%	26.8%	21.7%	-7.5%
エイムクリエイツ(外部)	34.7%	—	—	—
Mホームサービス	21.7%	25.3%	19.3%	-3.5%
エボス少額短期保険	16.7%	10.5%	12.5%	6.1%
tsumiki証券	0.0%	6.3%	22.2%	-6.3%
D2C&Co.	7.1%	0.0%	12.5%	7.1%
okos	30.0%	6.8%	12.2%	23.2%
マルイキットC	17.7%	25.8%	22.8%	-8.1%
MGU・福祉会	8.7%	8.0%	4.0%	0.7%
総 計	20.9%	22.0%	20.1%	-1.1%

脂質異常				
中性脂肪150mg/dL以上またはHDLコレステロール40mg/dL未満の人の割合				
	2022	2021	2020	前年差
北千住マルイ	14.2%	14.0%	15.1%	0.1%
新宿マルイ本館	10.7%	15.4%	15.5%	-4.7%
新宿マルイアネックス	17.1%	17.8%	16.4%	-0.7%
新宿マルイメン	35.7%	28.1%	10.4%	7.6%
有楽町マルイ	13.2%	13.7%	12.0%	-0.5%
F M溝口	12.9%	16.8%	10.1%	-3.9%
C T Y横浜	16.0%	12.7%	18.6%	3.3%
戸塚地区	17.9%	11.8%	16.0%	6.1%
町田店	14.6%	16.7%	17.1%	-2.0%
上野マルイ	19.7%	8.0%	13.3%	11.7%
錦糸町店	11.8%	16.3%	17.2%	-4.5%
なんばマルイ	8.9%	7.3%	10.9%	1.6%
国分寺マルイ	17.6%	17.4%	12.6%	0.2%
F M志木	10.8%	9.6%	2.9%	1.2%
博多マルイ	28.9%	16.3%	7.3%	12.6%
渋谷店	13.9%	17.3%	19.8%	-3.5%
柏店	9.2%	16.9%	12.0%	-7.7%
大宮マルイ	18.0%	19.1%	18.9%	-1.1%
F M海老名	18.4%	18.8%	16.2%	-0.4%
吉祥寺マルイ	20.0%	28.2%	32.6%	-8.2%
神戸マルイ	11.8%	10.9%	9.3%	0.9%
中野マルイ	15.2%	11.4%	19.5%	3.9%
豊加マルイ・エボス豊加CC	10.3%	18.3%	17.4%	-8.0%
静岡モディ	7.1%	7.7%	15.4%	-0.5%
丸井グループ本社	12.4%	12.1%	12.3%	0.3%
エボスカード(北口本社)	12.3%	14.9%	13.4%	-2.5%
エボスカード(南口本社)	13.0%	15.0%	14.8%	-2.0%
エボスカード(国分寺C)	12.4%	14.1%	16.2%	-1.7%
エボスカード(九州)	21.3%	—	—	—
エボスカード(その他支店・事業所)	11.9%	—	—	—
丸井本社	12.0%	12.9%	14.3%	-0.8%
丸井(イベント)	13.6%	—	—	—
エムアンドシーシステム	13.0%	14.1%	10.2%	-1.1%
Mファシリティーズ	14.6%	17.5%	19.8%	-2.9%
ムービング	12.4%	15.7%	17.3%	-3.3%
ムービング三郷C	—	11.4%	10.0%	—
エムアールアイ債権回収	21.4%	23.2%	20.9%	-1.7%
エイムクリエイツ	22.2%	22.0%	23.6%	0.2%
エイムクリエイツ(外部)	29.7%	—	—	—
Mホームサービス	18.5%	19.5%	14.5%	-1.1%
エボス少額短期保険	5.6%	21.1%	6.3%	-15.5%
tsumiki証券	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%
D2C&Co.	7.1%	10.5%	25.0%	-3.4%
okos	10.0%	6.8%	6.1%	3.2%
マルイキットC	11.3%	17.7%	15.8%	-6.5%
MGU・福祉会	0.0%	4.0%	16.0%	-4.0%
総 計	14.0%	15.0%	15.0%	-1.0%

※参考数値

平均年齢				
2023年3月31日時点の平均年齢				
	2022	2021	2020	前年差
北千住マルイ	47.1歳	47.9歳	45.7歳	-0.8歳
新宿マルイ本館	47.6歳	46.8歳	47.0歳	0.8歳
新宿マルイアネックス	49.4歳	50.8歳	49.9歳	-1.4歳
新宿マルイメン	55.3歳	50.8歳	48.4歳	4.5歳
有楽町マルイ	43.3歳	44.9歳	44.2歳	-1.7歳
F M溝口	48.3歳	48.1歳	46.6歳	0.3歳
C T Y横浜	49.8歳	49.3歳	47.5歳	0.5歳
戸塚地区	49.7歳	48.3歳	48.1歳	1.5歳
町田店	49.8歳	50.2歳	47.8歳	-0.3歳
上野マルイ	50.1歳	49.3歳	48.3歳	0.8歳
錦糸町店	52.5歳	50.4歳	47.6歳	2.0歳
なんばマルイ	45.2歳	43.0歳	43.4歳	2.3歳
国分寺マルイ	51.7歳	50.7歳	50.0歳	1.0歳
F M志木	51.9歳	50.8歳	48.1歳	1.1歳
博多マルイ	47.4歳	46.0歳	44.9歳	1.4歳
渋谷店	47.2歳	48.5歳	47.7歳	-1.3歳
柏店	51.9歳	51.0歳	49.9歳	0.9歳
大宮マルイ	51.5歳	49.4歳	47.6歳	2.1歳
F M海老名	48.1歳	46.5歳	45.2歳	1.7歳
吉祥寺マルイ	51.8歳	52.2歳	50.9歳	-0.4歳
神戸マルイ	45.9歳	43.4歳	42.7歳	2.5歳
中野マルイ	51.4歳	49.9歳	50.0歳	1.5歳
豊加マルイ・エボス豊加CC	51.3歳	50.4歳	49.6歳	0.9歳
静岡モディ	48.4歳	48.2歳	49.4歳	0.1歳
丸井グループ本社	42.9歳	42.9歳	42.4歳	0.1歳
エボスカード(北口本社)	42.7歳	45.4歳	43.9歳	-2.8歳
エボスカード(南口本社)	48.7歳	48.7歳	47.7歳	-0.1歳
エボスカード(国分寺C)	51.2歳	50.8歳	50.9歳	0.4歳
エボスカード(九州)	48.0歳	—	—	—
エボスカード(その他支店・事業所)	46.0歳	—	—	—
丸井本社	43.2歳	41.5歳	42.9歳	1.7歳
丸井(イベント)	44.3歳	—	—	—
エムアンドシーシステム	41.6歳	40.4歳	40.3歳	1.2歳
Mファシリティーズ	49.0歳	49.8歳	49.0歳	-0.8歳
ムービング	49.5歳	49.4歳	48.5歳	0.1歳
ムービング三郷C	—	46.8歳	46.3歳	—
エムアールアイ債権回収	54.3歳	54.3歳	53.6歳	-0.1歳
エイムクリエイツ	48.2歳	50.4歳	48.2歳	-2.1歳
エイムクリエイツ(外部)	53.5歳	—	—	—
Mホームサービス	47.1歳	47.1歳	45.9歳	0.0歳
エボス少額短期保険	49.3歳	47.6歳	45.7歳	1.6歳
tsumiki証券	41.5歳	41.5歳	40.7歳	0.0歳
D2C&Co.	31.4歳	32.7歳	32.4歳	-1

[会社・事業所別健康実態一覧（健康通信簿）]

2023年4月 事業所別健康実態一覧(健康通信簿) 「②生活習慣編」 ※事業所順

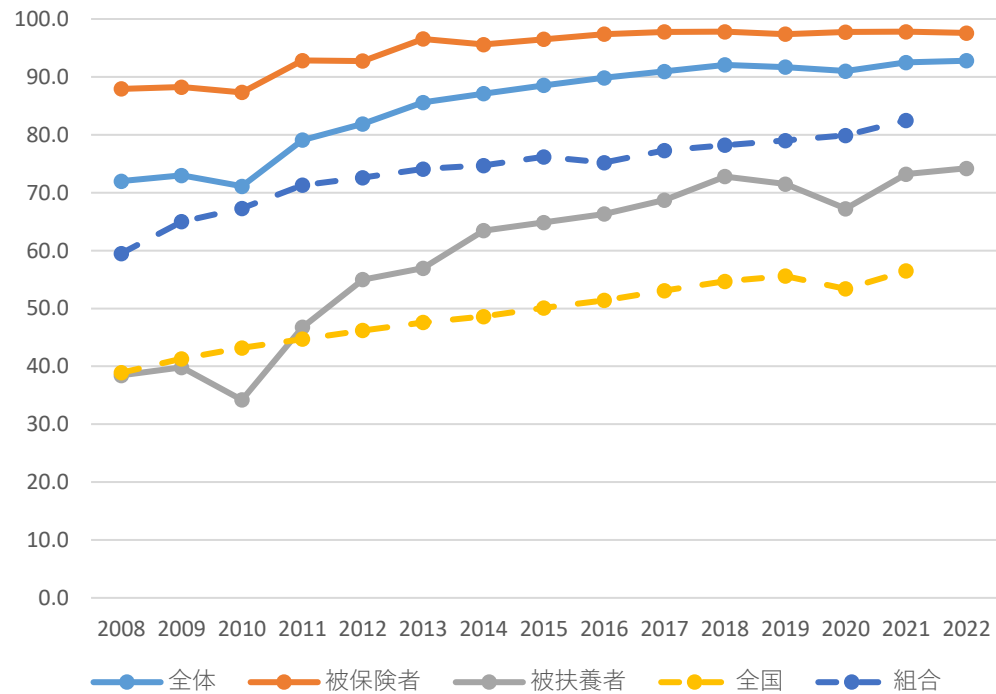
丸井健康保険組合

※抽出対象の所属および対象者は2023年度4月時点の情報です。（各店に勤務しているエボスカード、マルイファシリティーズ、ムービングの方は営業店に含みます。）

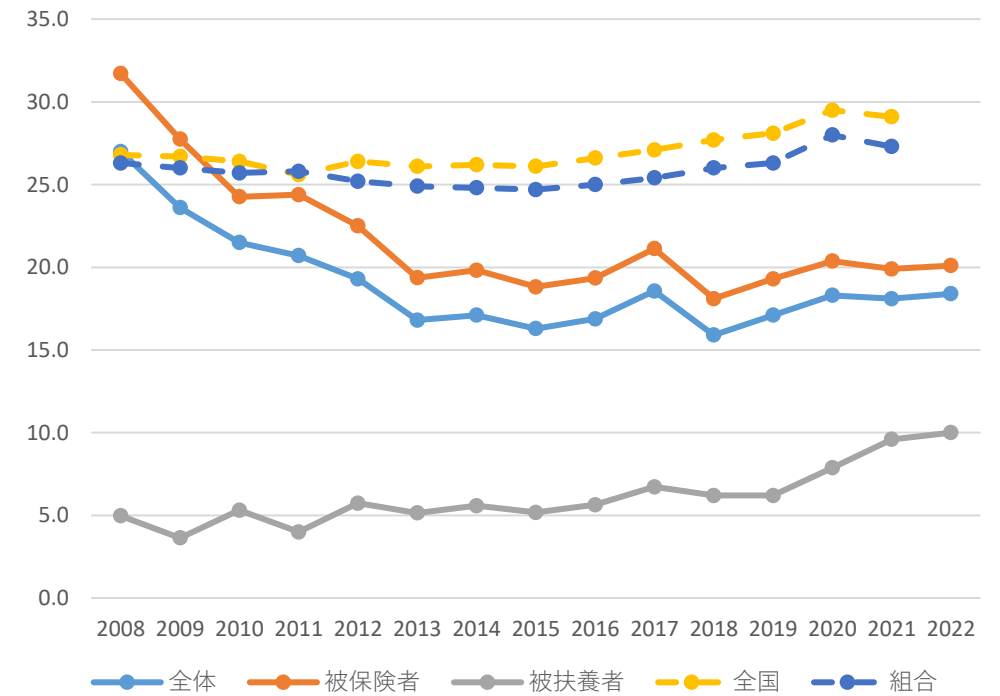
喫煙率					就業前に喫食する人					休肝日のない人					運動不足					睡眠による休養					生活改善意欲				
たばこを習慣的に吸っている人の割合					就寝の2時間以内に夕食をとることが週3日以上ある人の割合					毎日お酒を飲む人の割合					1日30分以上の運動を週2回1年以上実施している割合					睡眠による休養が十分に とれていない人の割合					食生活や運動習慣について改善する つもりはないと回答した人の割合				
	2022	2021	2020	前年差		2022	2021	2020	前年差		2022	2021	2020	前年差		2022	2021	2020	前年差		2022	2021	2020	前年差		2022	2021	2020	前年差
北千住マルイ	23.0%	27.3%	29.5%	-6.5%	北千住マルイ	38.1%	39.7%	36.0%	-1.6%	北千住マルイ	33.6%	30.6%	30.2%	3.4%	北千住マルイ	25.7%	27.3%	24.5%	-1.6%	北千住マルイ	36.3%	36.4%	30.9%	-0.1%	北千住マルイ	26.5%	19.8%	23.0%	6.7%
新宿マルイ本館	26.2%	27.7%	23.3%	3.0%	新宿マルイ本館	55.7%	50.0%	43.4%	5.7%	新宿マルイ本館	28.7%	22.3%	20.2%	8.5%	新宿マルイ本館	38.5%	22.3%	18.6%	16.2%	新宿マルイ本館	42.6%	37.7%	41.9%	4.9%	新宿マルイ本館	27.0%	24.6%	21.7%	2.4%
新宿マルイアネックス	34.1%	31.1%	31.1%	3.0%	新宿マルイアネックス	43.9%	44.4%	47.5%	-0.5%	新宿マルイアネックス	19.5%	20.0%	26.2%	-6.7%	新宿マルイアネックス	41.5%	40.0%	29.5%	1.5%	新宿マルイアネックス	41.5%	35.6%	34.4%	5.9%	新宿マルイアネックス	36.6%	35.6%	27.9%	1.0%
新宿マルイメゾン	35.7%	40.6%	47.9%	-12.2%	新宿マルイメゾン	64.3%	62.5%	47.9%	1.8%	新宿マルイメゾン	35.7%	28.1%	29.2%	6.5%	新宿マルイメゾン	28.6%	40.6%	35.4%	-12.1%	新宿マルイメゾン	57.1%	53.1%	37.5%	4.0%	新宿マルイメゾン	21.4%	25.0%	27.1%	-3.6%
有楽町マルイ	17.5%	17.3%	21.3%	-3.8%	有楽町マルイ	39.5%	43.2%	48.0%	-3.7%	有楽町マルイ	20.2%	23.0%	26.7%	-6.5%	有楽町マルイ	31.6%	20.1%	24.7%	11.4%	有楽町マルイ	30.7%	43.2%	31.3%	-12.5%	有楽町マルイ	17.5%	20.9%	20.0%	-3.3%
F・M溝口	22.7%	20.6%	19.3%	3.4%	F・M溝口	51.4%	51.4%	54.6%	-5.9%	F・M溝口	25.8%	25.2%	26.9%	-1.1%	F・M溝口	31.1%	23.4%	23.5%	7.7%	F・M溝口	43.9%	40.2%	38.7%	3.8%	F・M溝口	20.5%	16.8%	21.8%	3.6%
C・T・Y横浜	33.3%	29.1%	22.7%	10.7%	C・T・Y横浜	53.3%	45.6%	48.5%	7.8%	C・T・Y横浜	22.7%	21.5%	28.9%	-6.2%	C・T・Y横浜	28.0%	20.3%	27.8%	7.7%	C・T・Y横浜	30.7%	31.6%	38.1%	-1.0%	C・T・Y横浜	24.0%	17.7%	21.6%	6.3%
戸塚地区	25.3%	23.5%	22.3%	2.9%	戸塚地区	25.3%	25.9%	25.5%	-0.6%	戸塚地区	21.1%	28.2%	26.6%	-5.5%	戸塚地区	27.4%	21.2%	24.5%	6.2%	戸塚地区	34.7%	34.1%	28.7%	0.6%	戸塚地区	24.2%	22.4%	20.2%	1.9%
町田店	25.6%	29.2%	25.7%	-0.1%	町田店	51.2%	44.8%	43.8%	6.4%	町田店	39.0%	28.1%	26.7%	12.4%	町田店	24.4%	29.2%	22.9%	-4.8%	町田店	35.4%	33.3%	37.1%	2.0%	町田店	15.9%	19.8%	22.9%	-3.9%
上野マルイ	22.5%	19.5%	18.6%	4.0%	上野マルイ	49.3%	37.9%	44.3%	11.4%	上野マルイ	26.8%	23.0%	24.7%	2.0%	上野マルイ	33.8%	28.7%	36.7%	5.1%	上野マルイ	49.3%	46.0%	34.0%	3.3%	上野マルイ	12.7%	18.4%	20.6%	-5.7%
錦糸町店	22.1%	23.3%	20.2%	1.9%	錦糸町店	45.6%	44.2%	50.0%	1.4%	錦糸町店	36.8%	27.9%	23.5%	13.3%	錦糸町店	36.8%	36.0%	28.3%	0.7%	錦糸町店	47.1%	46.5%	29.6%	0.5%	錦糸町店	30.9%	25.6%	18.4%	5.3%
なんばマルイ	19.6%	29.3%	28.3%	-8.6%	なんばマルイ	44.6%	45.1%	51.0%	-0.5%	なんばマルイ	26.8%	24.4%	28.6%	-1.8%	なんばマルイ	32.1%	29.3%	24.8%	2.9%	なんばマルイ	42.9%	34.1%	38.8%	8.7%	なんばマルイ	17.9%	25.6%	25.5%	-7.8%
国分寺マルイ	17.6%	22.1%	29.9%	-12.2%	国分寺マルイ	42.6%	40.7%	37.9%	1.9%	国分寺マルイ	27.9%	31.4%	27.6%	0.4%	国分寺マルイ	26.5%	25.6%	19.5%	0.9%	国分寺マルイ	30.9%	33.7%	26.4%	-2.8%	国分寺マルイ	26.5%	24.4%	8.0%	2.1%
F・M志木	17.6%	20.5%	11.8%	5.8%	F・M志木	37.8%	39.8%	22.1%	-1.9%	F・M志木	18.9%	28.9%	25.0%	-6.1%	F・M志木	28.4%	21.7%	26.5%	6.7%	F・M志木	48.6%	49.4%	44.1%	-0.7%	F・M志木	20.3%	16.9%	17.6%	3.4%
博多マルイ	37.8%	38.8%	36.4%	1.4%	博多マルイ	46.7%	53.1%	49.1%	-6.4%	博多マルイ	33.3%	42.9%	32.7%	0.6%	博多マルイ	13.3%	18.4%	25.5%	-5.0%	博多マルイ	15.6%	26.5%	23.6%	-11.0%	博多マルイ	26.7%	24.5%	20.0%	2.2%
渋谷店	20.8%	21.4%	20.8%	0.0%	渋谷店	52.8%	52.0%	50.5%	0.7%	渋谷店	22.2%	31.6%	28.7%	-6.5%	渋谷店	23.6%	24.5%	23.8%	-0.9%	渋谷店	44.4%	41.8%	43.6%	2.6%	渋谷店	23.6%	17.3%	15.8%	6.3%
柏店	23.1%	18.3%	18.7%	4.4%	柏店	44.6%	47.9%	42.7%	-3.3%	柏店	27.7%	28.2%	24.0%	3.7%	柏店	33.8%	39.4%	29.3%	-5.6%	柏店	52.3%	39.4%	44.0%	12.9%	柏店	15.4%	18.3%	16.0%	-2.9%
大宮マルイ	9.8%	20.6%	23.0%	-13.1%	大宮マルイ	36.1%	33.8%	36.5%	2.2%	大宮マルイ	19.7%	30.9%	28.4%	-8.7%	大宮マルイ	37.7%	22.1%	27.0%	15.6%	大宮マルイ	37.7%	39.7%	36.5%	-2.0%	大宮マルイ	24.6%	27.9%	21.6%	-3.4%
F・M海老名	24.5%	17.2%	29.4%	-4.9%	F・M海老名	40.8%	35.9%	38.2%	4.9%	F・M海老名	26.5%	25.0%	30.9%	-4.4%	F・M海老名	30.6%	39.1%	22.1%	-8.5%	F・M海老名	28.6%	31.3%	27.9%	-2.7%	F・M海老名	22.4%	23.4%	22.1%	-1.0%
吉祥寺マルイ	15.0%	15.4%	13.0%	2.0%	吉祥寺マルイ	47.5%	53.8%	54.3%	-6.3%	吉祥寺マルイ	32.5%	35.9%	37.0%	-4.5%	吉祥寺マルイ	37.5%	28.2%	21.7%	9.3%	吉祥寺マルイ	55.0%	46.2%	28.3%	8.8%	吉祥寺マルイ	25.0%	12.8%	21.7%	12.2%
神戸マルイ	17.6%	21.7%	11.5%	6.1%	神戸マルイ	35.3%	47.8%	47.1%	-12.5%	神戸マルイ	20.6%	37.0%	38.0%	-17.4%	神戸マルイ	29.4%	15.2%	16.7%	14.2%	神戸マルイ	17.6%	26.1%	23.5%	-8.4%	神戸マルイ	29.4%	21.7%	17.6%	7.7%
中野マルイ	17.4%	18.2%	17.1%	0.3%	中野マルイ	50.0%	40.9%	46.3%	9.1%	中野マルイ	26.1%	27.3%	24.4%	1.7%	中野マルイ	37.0%	20.5%	24.4%	16.5%	中野マルイ	28.3%	36.4%	34.1%	-8.1%	中野マルイ	28.3%	25.0%	12.2%	3.3%
駅前マルイ・エボス駅前CC	20.6%	21.4%	22.5%	-1.9%	駅前マルイ・エボス駅前CC	27.2%	26.2%	31.9%	1.0%	駅前マルイ・エボス駅前CC	14.7%	18.3%	16.7%	-2.0%	駅前マルイ・エボス駅前CC	19.1%	22.2%	23.9%	-3.1%	駅前マルイ・エボス駅前CC	41.9%	46.8%	39.1%	-4.9%	駅前マルイ・エボス駅前CC	22.8%	19.0%	23.2%	3.7%
静岡モディ	14.3%	15.4%	7.7%	6.6%	静岡モディ	21.4%	23.1%	30.8%	-1.6%	静岡モディ	7.1%	7.7%	15.4%	-8.2%	静岡モディ	21.4%	23.1%	23.1%	-1.6%	静岡モディ	35.7%	38.5%	38.5%	-2.7%	静岡モディ	0.0%	15.4%	16.7%	-15.4%
丸井グループ本社	13.0%	15.0%	14.7%	-1.7%	丸井グループ本社	29.9%	29.8%	30.1%	0.1%	丸井グループ本社	23.7%	21.8%	27.8%	-4.1%	丸井グループ本社	20.4%	20.6%	20.9%	-0.2%	丸井グループ本社	25.1%	27.7%	24.7%	-2.6%	丸井グループ本社	20.1%	16.2%	19.7%	3.9%
エボスカード（北口本社）	17.4%	22.1%	23.9%	-6.5%	エボスカード（北口本社）	34.3%	38.5%	36.4%	-4.2%	エボスカード（北口本社）	27.1%	34.3%	31.1%	-4.0%	エボスカード（北口本社）	24.9%	26.0%	22.7%	-1.0%	エボスカード（北口本社）	32.7%	29.3%	27.8%	3.4%	エボスカード（北口本社）	20.6%	20.3%	22.7%	0.3%
エボスカード（南口本社）	21.7%	22.6%	21.0%	0.7%	エボスカード（南口本社）	19.9%	21.6%	27.8%	-1.7%	エボスカード（南口本社）	27.1%	26.8%	26.3%	0.8%	エボスカード（南口本社）	23.5%	24.0%	23.6%	-0.5%	エボスカード（南口本社）	38.3%	36.9%	33.0%	1.3%	エボスカード（南口本社）	18.4%	17.8%	17.8%	0.6%
エボスカード（豊分寺C）	17.5%	18.1%	21.3%	-3.8%	エボスカード（豊分寺C）	22.9%	22.8%	21.3%	0.1%	エボスカード（豊分寺C）	27.5%	27.5%	28.5%	-0.9%	エボスカード（豊分寺C）	22.7%	23.1%	25.3%	-0.4%	エボスカード（豊分寺C）	34.9%	35.5%	33.8%	-0.5%	エボスカード（豊分寺C）	21.4%	21.1%	22.6%	0.3%
エボスカード（丸井）	31.3%	—	—	—	エボスカード（丸井）	26.3%	—	—	—	エボスカード（丸井）	37.5%	—	—	—	エボスカード（丸井）	27.5%	—	—	—	エボスカード（丸井）	28.8%	—	—	—	エボスカード（丸井）	22.5%	456.0%	—	—
エボスカード（谷町駅前・東横町）	24.5%	—	—	—	エボスカード（谷町駅前・東横町）	33.2%	—	—	—	エボスカード（谷町駅前・東横町）	29.9%	—	—	—	エボスカード（谷町駅前・東横町）	21.5%	—	—	—	エボスカード（谷町駅前・東横町）	33.2%	—	—	—	エボスカード（谷町駅前・東横町）	22.0%	—	—	—
丸井本社	20.5%	21.8%	24.2%	-3.7%	丸井本社	32.3%	34.9%	34.1%	-2.6%	丸井本社	26.4%	25.7%	28.1%	-1.7%	丸井本社	25.1%	24.0%	23.3%	1.1%	丸井本社	28.1%	33.1%	31.0%	-5.1%	丸井本社	16.9%	15.2%	14.9%	1.7%
丸井（イベント）	26.8%	—	—	—	丸井（イベント）	43.7%	—	—	—	丸井（イベント）	22.5%	—	—	—	丸井（イベント）	17.4%	—	—	—	丸井（イベント）	42.7%	—	—	—	丸井（イベント）	22.1%	—	—	—
エムアンドサービスシステム	20.9%	22.8%	18.2%	2.8%	エムアンドサービスシステム	31.8%	26.8%	28.9%	4.9%	エムアンドサービスシステム	20.2%	19.5%	19.3%	1.0%	エムアンドサービスシステム	24.9%	23.8%	23.5%	1.1%	エムアンドサービスシステム	32.1%	30.5%	32.6%	1.6%	エムアンドサービスシステム	19.9%	21.1%	19.8%	-1.3%
Mフアシリティーズ	25.1%	21.9%	23.4%	1.8%	Mフアシリティーズ	39.2%	39.4%	36.5%	-0.2%	Mフアシリティーズ	28.1%	27.5%	27.5%	0.5%	Mフアシリティーズ	31.0%	31.9%	24.6%	-0.9%	Mフアシリティーズ	37.4%	30.6%	34.1%	6.8%	Mフアシリティーズ	26.9%	24.4%	24.0%	2.5%
ムービング	26.9%	29.3%	31.1%	-4.3%	ムービング	33.6%	34.6%	37.6%	-1.0%	ムービング	25.0%	32.5%	30.6%	-5.6%	ムービング	39.5%	36.8%	39.1%	2.7%	ムービング	35.8%	33.2%	32.6%	2.5%	ムービング	24.7%	29.3%	20.5%	-4.6%
ムービング三郷C	—	28.8%	29.2%	—	ムービング三郷C	—	25.0%	22.5%	—	ムービング三郷C	—	13.6%	17.1%	—	ムービング三郷C	—	31.1%	36.9%	—	ムービング三郷C	—	40.2%	36.4%	—	ムービング三郷C	—	27.3%	31.0%	—
エムアールアイ債権回収	26.5%	27.4%	26.4%	0.2%	エムアールアイ債権回収	25.5%	14.7%	22.0%	10.8%	エムアールアイ債権回収	31.6%	31.6%	33.0%	-1.3%	エムアールアイ債権回収	34.7%	29.5%	23.1%	5.2%	エムアールアイ債権回収	23.5%	25.3%	25.3%	-1.8%	エムアールアイ債権回収	17.3%	18.9%	18.7%	-1.6%
エイムクリエイツ	24.6%	28.3%	26.4%	-1.8%	エイムクリエイツ	35.0%	32.5%	32.9%	2.5%	エイムクリエイツ	33.0%	38.9%	34.2%	-1.2%	エイムクリエイツ	25.1%	25.2%												

- 被保険者の特定健診受診率は、事業主と連携して実施し、97%を維持
- 被扶養者の特定健診は、本人の生活スタイルに合った、自前の人間ドック、かかりつけ医での受診、レディース健診から選択して受診
- メタボ率は増加傾向にあるものの、全国と比較すると安定して推移
- 家族のメタボ率が増加傾向 ⇒ 特定保健指導対象者が増加

[特定健診受診率推移]

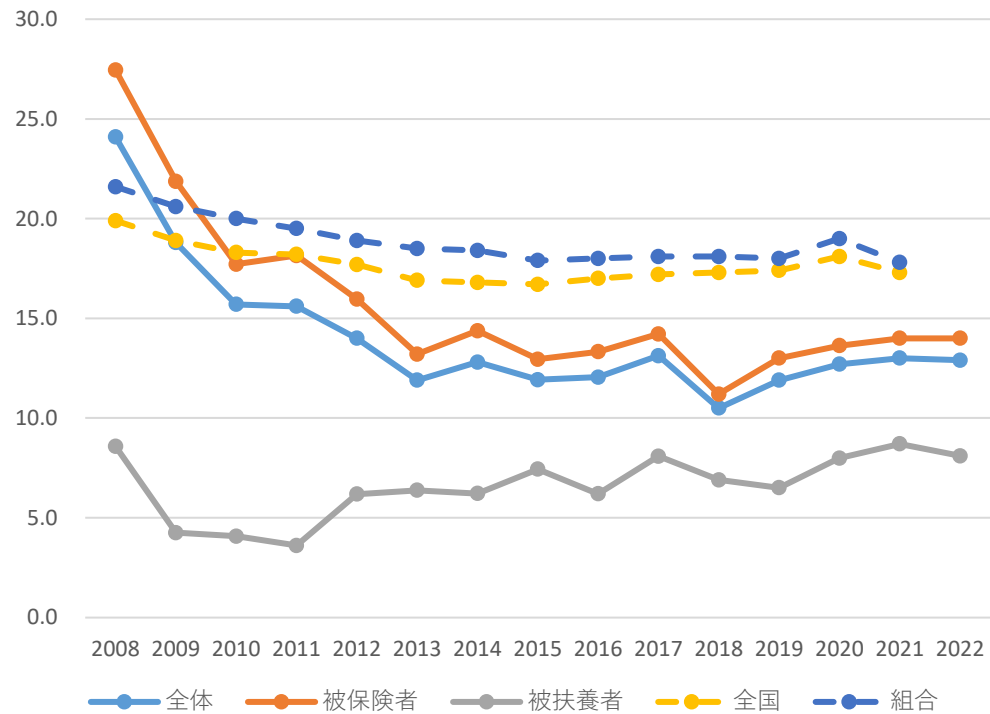


[メタボ該当者・予備軍構成推移]

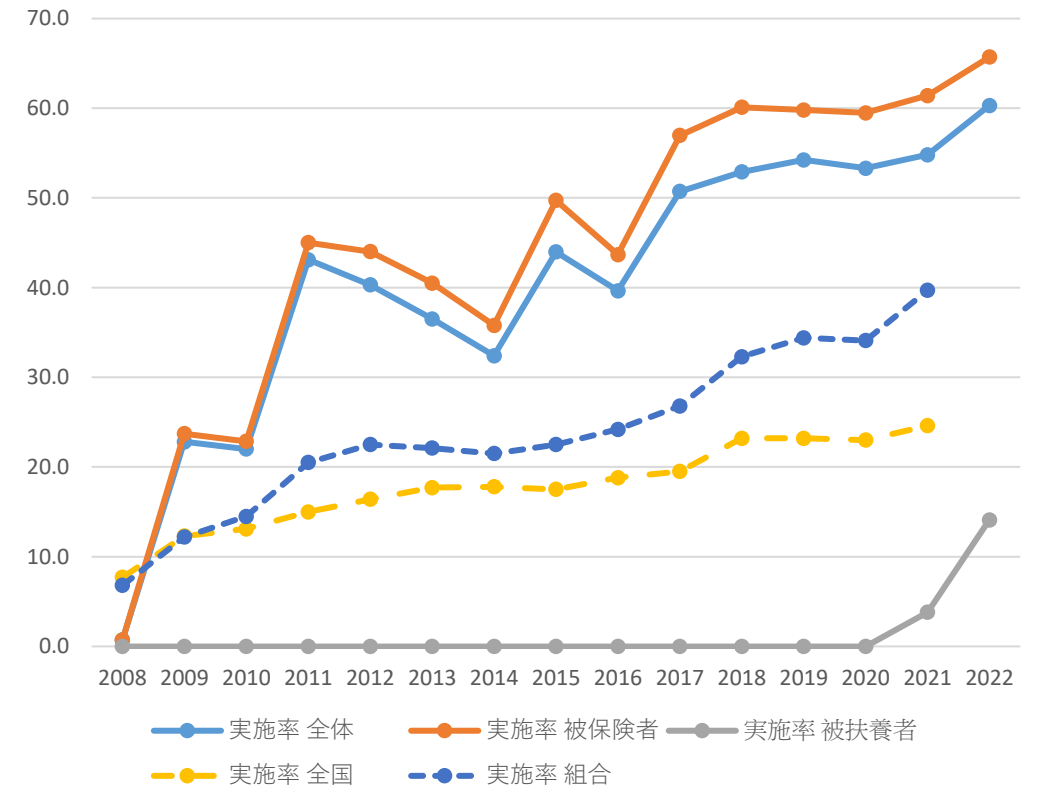


- 高齢化に伴い、特定保健指導対象者が微増
- 事業主との連携および人間ドック当日の面談を推進し、実施率も向上
- 被扶養者についても、人間ドック当日の面談をスタート

[特定保健指導対象者構成推移]



[特定保健指導実施率推移]

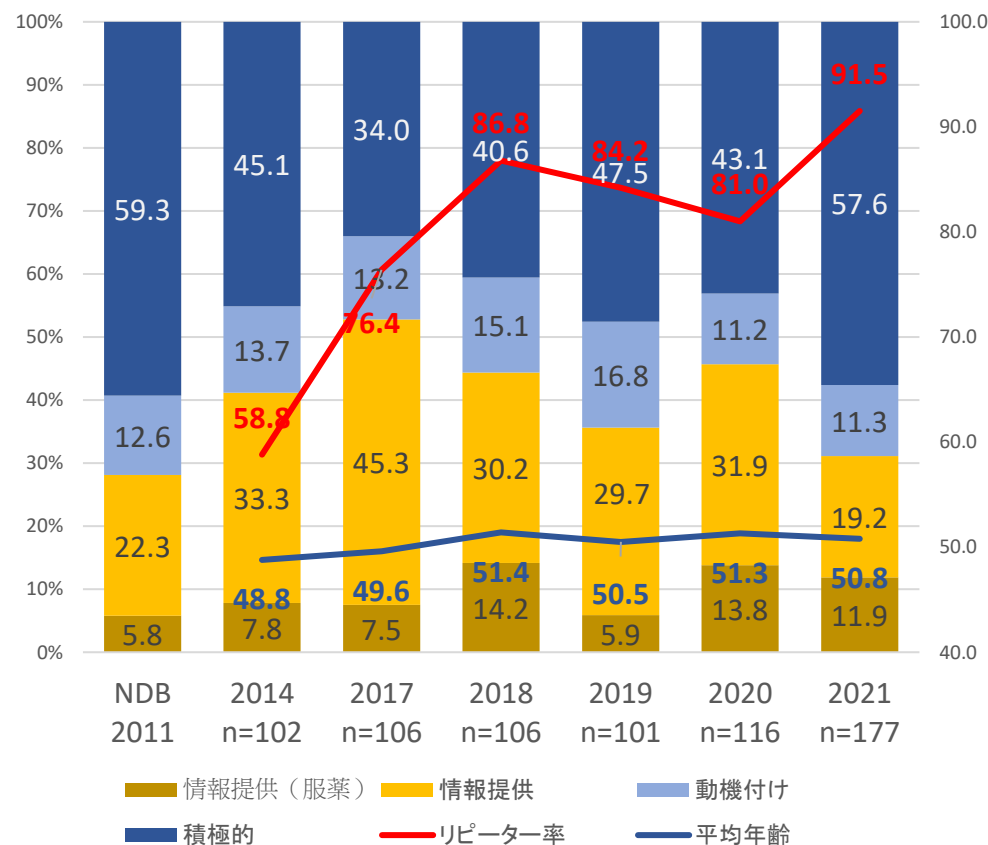


＜特定保健指導実施者の状況：男性＞

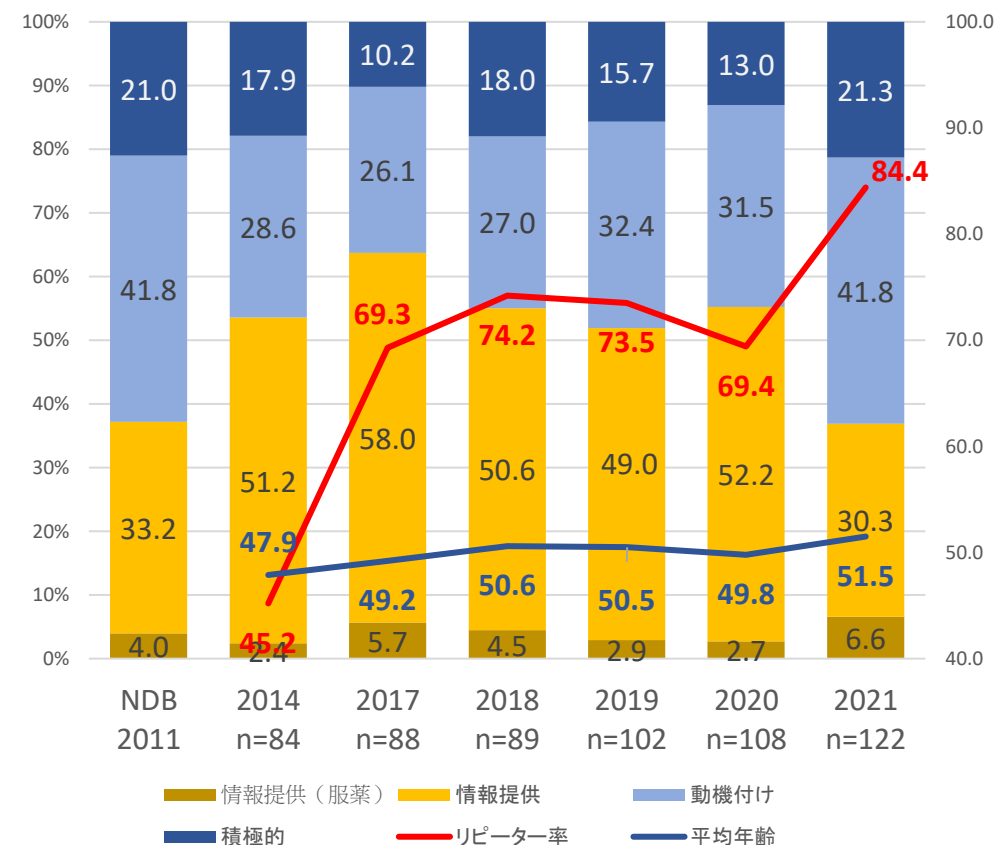
- 2021年度は積極的支援・動機付け支援ともに改善の割合は減少。（10年前の国の成果と同程度となった。）
- リピーター率の増加に加え、参加者が高齢化している様子もわかる。（2014年度に比べ、積極的支援＋4.0歳、動機付け支援＋3.6歳。）

[参加後の階層化変化×平均年齢・リピーター率：男性 評価対象者全員]

・積極的支援



・動機付け支援

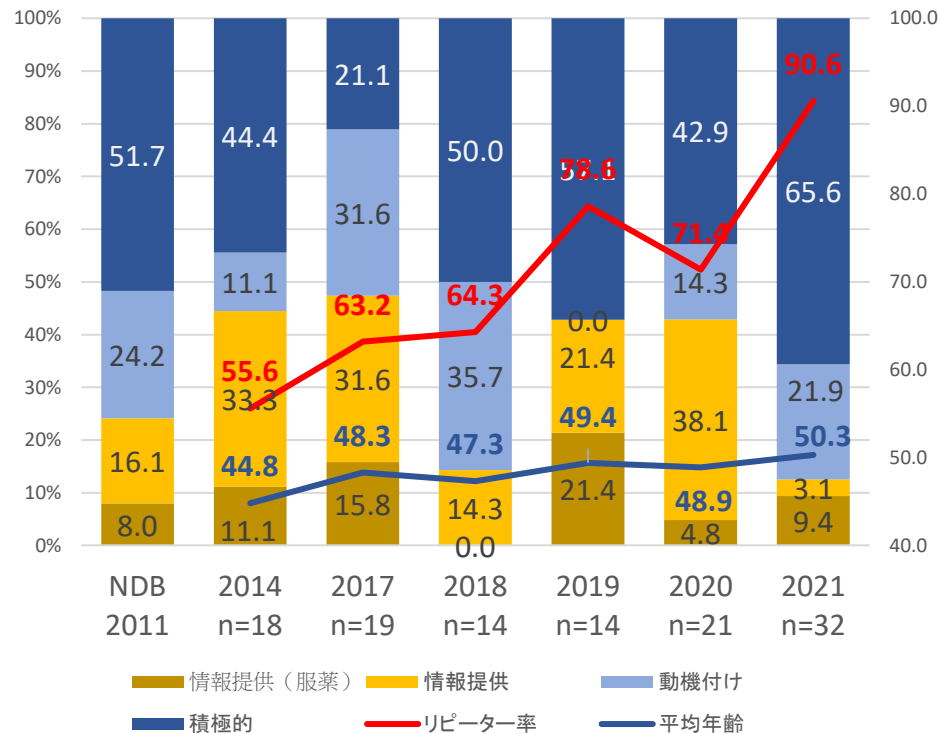


＜特定保健指導実施者の状況：女性＞

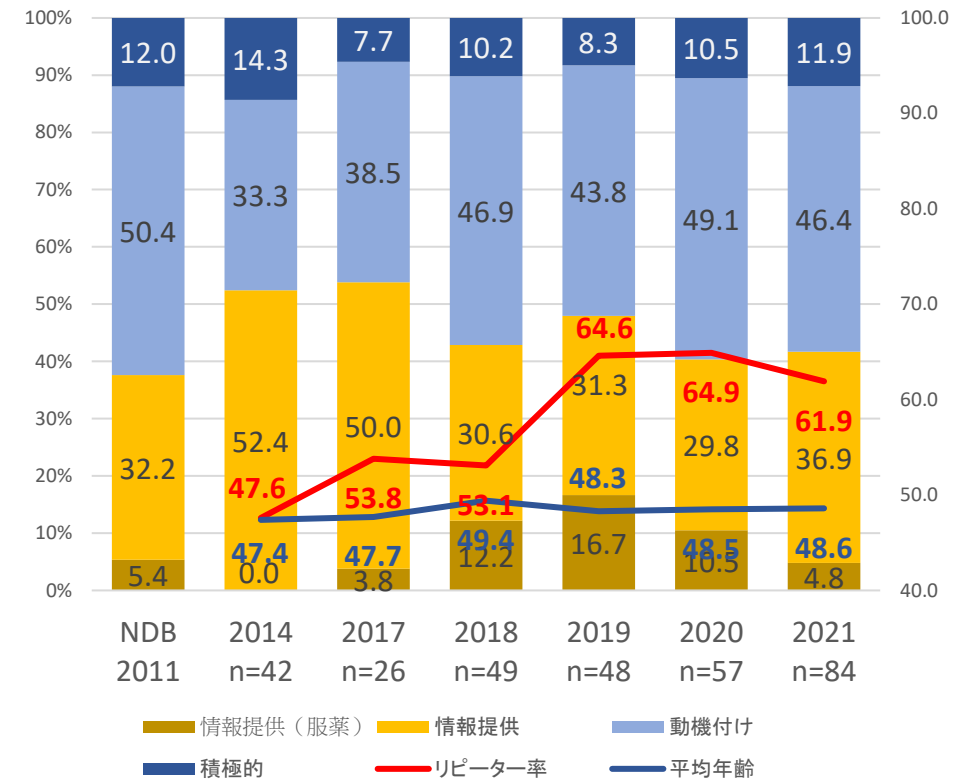
- リピーター率が90.6%に急増した積極的支援は改善割合は減少。一方、リピーター率が昨年と同程度の動機付け支援の改善割合は昨年度と同程度の改善がみられる。
- 女性は積極的支援で、特にリピーター率増加、高齢化が目立つ。（2014年度に比べ、積極的支援＋5.9歳、動機付け支援＋1.2歳。）

[参加後の階層化変化×平均年齢・リピーター率：女性評価対象者全員]

・積極的支援



・動機付け支援



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	・加入者は全体としては減少傾向だが40歳以上の割合は2020年度と比べ3.7pt増加をしている。 ・男性では55歳～65歳未満において、2020年度から増加傾向にあり、ボリュームゾーンは50歳～60歳未満 ・女性ではと50歳～65歳未満において2020年度から増加傾向にある事が分かる。ボリュームゾーンは35歳～45歳未満 ・平均年齢は2018年度と比較をし男性で+2.3歳、女性で+3.9歳上昇をした	➡	平均年齢の増加から性別、年齢層別の疾患疾患の特徴を把握し医療費、疾患発症の抑制につなげる。 ①生活習慣病抑制に向け特定保健指導、重症化予防 ②女性のライフステージ別対策 ③性別・年齢層別のがん対策	✓
2	イ, ウ, エ	・医療費総額としては昨年度と比較し9pt増加をしている事が確認できる。被保険者の医療費において、40歳以上が被保険者全体の83.7%を占めている。 ・被保険者の年齢層別一人当たり医療費では20歳以上で他組合平均と比べ高い事が確認できる。 ・疾病別の医療費では生活習慣病に関わる循環器、内分泌、また新生物は昨年度とくらべ20pt以上増加をしている ・55歳以上65歳以下の加入者数は増加傾向であり医療費も上昇傾向にある	➡	・生活習慣病、5大がんを優先的に取り組む必要性が考えられる。 ①生活習慣病抑制に向け特定保健指導、重症化予防 ②女性のライフステージ別対策 ③性別・年齢層別のがん対策 ・55歳以上の医療費抑制	✓
3	オ	・ジェネリック医薬品の使用率は81.6%。2020年度より80%を超えている。	➡	80%の使用率維持のため、ジェネリック利用促進事業を引き続き実施し利用促進に努める。	
4	ウ, エ, カ, キ	・生活習慣病医療費は医療費全体の中で15.7%を占めており、そのうち高血圧・糖尿病・脂質異常症が66.1%を占めている。患者数割合も増加傾向である。 ・血圧、脂質、糖代謝と正常の割合が2018年度と比べ減少傾向にある事が確認できる。	➡	・加入者のヘルスリテラシーの向上を図り、生活習慣の改善のための行動変容を促すことにより生活習慣病を未然に防ぐ	✓
5	キ	・高リスク者において、血圧、脂質代謝、腎機能、肝機能において、未治療、治療放棄（直近6か月レセプト無）が4割以上存在している。	➡	・健診結果からハイリスク者かつ未受診、治療放棄者となっている加入者に対して、生活習慣病の重症化によるリスクを説明して、医療機関を受診するよう勧奨する。	✓
6	キ, ク	・被保険者の男性で糖尿病、腎機能障害の加入者が他組合平均を上回る年齢層が多い事が確認できる。 - また、腎機能での高リスク者の3割以上が未治療、治療放棄（直近6か月レセプト無）となっている。	➡	・特に健康リスクが高い加入者に対して、疾病リスクを説明するとともに未受診者へ医療機関を受診するよう促す。	✓
7	ウ, エ, キ, ク	・入院レセプトのある加入者で脳血管疾患、虚血性心疾患の患者数が多い。	➡	・脳血管疾患、虚血性心疾患で入院をした加入者は日常業務へ支障をきたす恐れがあるので、再発リスクの考慮をし受診状況等を確認する。	✓
8	ウ, エ, ケ	・がん医療費は医療費全体の中で8.6%を占めており、そのうち5大がんは男性で9.1%、女性で68.2%を占めている。 ・乳がんの医療費、患者数は増加傾向にある。	➡	・がん検診の重要性を周知するとともに、がん検診を受診できる環境を整備し要精密検査や受診状況等を把握する。 ・市町村が実施するがん検診の受診を勧奨する	✓

9	コ, ス	・男性、女性ともに2018年度より経年でみると喫煙率が減少傾向であるが、他組合平均と比べると女性で上回っている。 ・各年齢層でみると女性は25歳以降で他組合平均を上回っている。	➡	・禁煙の環境整備を進める ・職場環境を改善する。（就業時間内禁煙、喫煙によるリスクの揭示、等） ・喫煙者に喫煙リスクを伝えて、禁煙すること行動変容を促す。	
10	コ, サ, ス	・直近3年間に於いて、睡眠障害・不安障害の患者割合が増加傾向にある。問診結果で睡眠が十分とれていないと回答した割合は男性で20代が女性で30歳～55歳未満で他組合を上回っている。	➡	・不安や悩みがあるときに専門職が個別に相談する体制/環境を構築する。	
11	シ	・歯科を3年間受診していない加入者が約31.2%いる。受診件数、医療費他組合平均と比較をすると増加傾向である事が確認できる。 歯科受診の意識が高い。	➡	・歯科検診の継続実施。歯周病、虫歯のリスク者、要治療、要観察へ受診勧奨を進めて歯科医療費や心血管イベントの抑制を図る。	
12	コ, ス	・朝食抜きの割合は男性で30歳～35歳未満で女性で20歳～45歳未満で55歳以上で他組合平均を上回っており、就寝前の食事は比較的男性で50代、女性で30代後半～50代でネガティブな回答が他組合平均を上回っている事が確認できる。	➡	・朝食抜きの割合は男性で30歳～35歳未満で女性で20歳～45歳未満で55歳以上で他組合平均を上回っており、就寝前の食事は比較的男性で50代、女性で30代後半～50代でネガティブな回答が他組合平均を上回っている事が確認できる。	
13	コ, ス	・男性では20歳～35歳未満、女性では20歳～45歳未満で他組合平均より運動習慣に関してネガティブな回答を多かった。	➡	・運動習慣に関わる情報提供の実施。身体を動かすきっかけとなるイベントを開催して、運動習慣を改善するように促す	
14	セ	・特定健診の実施率は90%を超えている	➡	・特定健診の実施率は90%を超えている	
15	ソ	・特定保健指導60%を超えている 2021年度より被扶養者の実施開始 ・2021年度の動機付け支援対象者の21%、積極的支援対象者の12%が翌年の健診結果にて悪化をしている	➡	・若年層（35歳～39歳）へのメタボに対する早期意識づけ ・被扶養者への受診にも力を入れていく	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	単一健保である	➡	母体企業の健康管理部門とさらなる連携の強化、各事業所の健康管理委員とのさらなる連携が必要
2	被保険者の平均年齢は47.1歳（男性：50.6歳、女性：44.0歳） 40歳以上の割合は2020年度と比べ3.7pt増加	➡	平均年齢が上がっていく中で、医療費、生活習慣病の患者数の増加が予測される。その中で予防施策進化は必要となる
3	母体企業が小売業、フィンテック事業であるため、保健事業の実施拠点となる職場数は全国101か所と広範囲	➡	事業主と連携し、健康管理委員、ウェルネスリーダーとともに、健康課題について共有するとともに、健康づくり活動を継続して推進
4	事業主との連携体制は整備されている	➡	健診、予防施策、事業所活動を事業主と継続して連携していくことが重要
5	適用拡大に伴いパート社員が増加。	➡	より女性特有の疾患、生活習慣病の予防施策が重要となる

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	生活習慣病対策・がん対策・女性特有の健康課題への予防施策が重要となる	➡	現状は、人間ドックが中心とした健診事業に医療職の労力を費やしているが、今後は予防事業にシフトをしていく

2	自前の医療職により顔の見えるトータルな対策の実施が可能	➡	今後ともリスクを分け、個別・集団での対応メニューの開発と対象者の基準づくりの見直しが重要である
3	健診結果、健康指導について「見える化」、「標準化」を推進し、加入者・事業主・健保の3者が共通の課題対策とそれに対応する諸施策について理解しやすい基盤整備を進めている	➡	若年層の早い段階からヘルスリテラシーの向上等、健康づくりのアプローチが必要

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 高齢化と増加するリスク者への対応を実施する ①高額医療に直結する高リスク者への対応 ②増加する高リスク予備軍への対応 ③女性の健康づくりを拡充 ④がん対策を一步すすめる ⑤喫煙率の減少	事業全体の目標 ①特定健康診査受診率93%（被保険者97%、被扶養者75%） ②特定保健指導実施率60%（被保険者65%、被扶養者15%） ③重症化予防（再検査受診率100%） ④乳がん・子宮頸がん検診受診率向上 ⑤就業時間内禁煙をすすめる（事業主） ⑥職場単位の健康づくり活動をすすめ、加入者のヘルスリテラシーの向上を強化
--	---

事業の一覧

職場環境の整備	
疾病予防	健康推進管理事業推進委員会
疾病予防	健診データ蓄積システムの維持
加入者への意識づけ	
特定保健指導事業	健診受診後の情報提供パンフレット
保健指導宣伝	広報誌
保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック利用促進
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者）～ヘルスアッププログラム～
特定保健指導事業	特定保健指導（被扶養者）～ヘルスアッププログラム～
疾病予防	人間ドック
疾病予防	定期健康診断
疾病予防	受診勧奨（健康診断後事後措置）
疾病予防	がん検診
疾病予防	歯科検診・ブラッシング指導
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	健康情報提供（in body）
疾病予防	重症化予防事業
疾病予防	女性のライフステージ別の健康対策
疾病予防	禁煙サポートの補助
疾病予防	健康通信簿
疾病予防	コラボミーティング
疾病予防	健康管理委員会議
疾病予防	ウェルネスリーダー会議
疾病予防	健康増進キャンペーン
疾病予防	退職者向けセミナー
疾病予防	64歳対象健康プログラム

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連		
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画									
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度				
アウトプット指標													アウトカム指標									
職場環境の整備																						
疾 病 予 防	1	既存 （法定）	健康推進管理 事業推進委員 会	全て	男女	18 ～ 65	被保険 者	3	イ,ウ,エ,オ ,キ,ク,ケ, コ,シ	年4回事業主・加入者代表 と健康管理事業推進にあ たって会議を実施	ア,イ,ケ,サ 合	事業主・加入者代表・人 事部・ウェルビーイング 推進部・丸井健康保険組 合	年4回実施	年4回実施	年4回実施	年4回実施	年4回実施	年4回実施	年4回実施	・事業主や事業所との健康課題や健保情報 の共有と理解 ・健康づくり事業の効果的運用、分担と連 携 ・健康経営のサポートと企業イメージの向 上 ・企業を巻き込んだ保健事業の効果的な実 施	・特定健診の実施率は90%を超え ている ・特定保健指導60%を超えている 2021年度より被扶養者の実施開 始 ・2021年度の動機付け支援対象者 の21%、積極的支援対象者の12% が翌年の健診結果にて悪化をして いる	
	事業主との会議開催数(【実績値】 4回 【目標値】 令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)会議開催数の維持													会社への影響度(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)健康優良法人、健康経営銘柄の選定企業								
	1	既存	健診データ蓄 積システムの 維持	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	イ,ウ,エ,オ ,キ,ク,ケ, コ,サ,シ	健診結果システムにて管 理・保存する。分かりや すく付加価値の高い健診 結果の検討・導入へ他健 保との連携をとり、退職 者等の活用を進めていく 。	ア,イ,ウ,カ ,ク,ケ	アイテック阪急阪神（TO HMAS）、UBS（CH25） IQVIA（CH25）・インテ ージ（EBA）・ウィーメ ックス	データ分析から各事業所 への活用・受診症化予防 ・受診勧奨に活用	データ分析から各事業所 への活用・受診症化予防 ・受診勧奨に活用	データ分析から各事業所 への活用・受診症化予防 ・受診勧奨に活用	データ分析から各事業所 への活用・受診症化予防 ・受診勧奨に活用	データ分析から各事業所 への活用・受診症化予防 ・受診勧奨に活用	データ分析から各事業所 への活用・受診症化予防 ・受診勧奨に活用	・健康課題の確認 ・効果的な保健事業の実施	・加入者は全体としては減少傾向 だが40歳以上の割合は2020年度と 比べ3.7pt増加をしている。 ・男性では55歳～65歳未満におい て、2020年度から増加傾向にあり 、ボリュームゾーンは50歳～60歳 未満 ・女性ではと50歳～65歳未満にお いて2020年度から増加傾向にある 事が分かる。ボリュームゾーンは3 5歳～45歳未満 ・平均年齢は2018年度と比較をし 男性で+2.3歳、女性で+3.9歳上昇 をした ・医療費総額としては昨年度と比較 し9pt増加をしている事が確認で きる。 被保険者の医療費において、40歳 以上が被保険者全体の83.7%を占 めている。 被保険者の年齢層別一人当たり医 療費では20歳以上で他組合平均と 比べ高い事が確認できる。 ・疾病別の医療費では生活習慣病 に関わる循環器、内分泌、また新 生物は昨年度とくらべ20pt以上増 加をしている ・55歳以上65歳以下の加入者数は 増加傾向であり医療費も上昇傾向 にある		
データ集約・解析の実施(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)データ集約・解													事業課題の確認数(【実績値】 2件 【目標値】 令和6年度：2件 令和7年度：2件 令和8年度：2件 令和9年度：2件 令和10年度：2件 令和11年度：2件)事業課題の確認数									
加入者への意識づけ																						
特 定 保 健 指 導 事 業	2	既存	健診受診後の 情報提供パン フレット	全て	男女	18 ～ 74	加入者 全員	1	イ,ウ,オ,キ ,コ,ス	健診結果送付時に配布	ア,イ,カ,ケ	-	配布率100%	配布率100%	配布率100%	配布率100%	配布率100%	配布率100%	配布率100%	・ヘルスリテラシー、健康意識の醸成と向 上 ・意識変容・行動変容のきっかけ作り	・生活習慣病医療費は医療費全体 の中で15.7%を占めており、その うち 高血圧・糖尿病・脂質異常症が66. 1%を占めている。患者数割合も増 加傾向である。 ・血圧、脂質、糖代謝と正常の割 合が2018年度と比べ減少傾向にあ る事が確認できる。	
	全員への情報提供数(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)対象者への確実な情報提供													健康状態の維持(【実績値】 20% 【目標値】 令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)健康数値の年次推移 ・メタボ該当率								
														1	1	1	1	1	1			

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連						
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度				
	アウトプット指標											アウトカム指標												
保健指導宣伝	2	既存	広報誌	全て	男女	0～74	加入者全員	1	イ,ウ,エ,ケ	社内SNS活用	ア,ケ,シ	保健事業担当、医療スタッフで作成	健保事業の報告・周知 健康情報の共有 (生活習慣病・女性疾患予防・禁煙)	健保事業の報告・周知 健康情報の共有 (生活習慣病・女性疾患予防・禁煙)	健保事業の報告・周知 健康情報の共有 (生活習慣病・女性疾患予防・禁煙)	健保事業の報告・周知 健康情報の共有 (生活習慣病・女性疾患予防・禁煙)	健保事業の報告・周知 健康情報の共有 (生活習慣病・女性疾患予防・禁煙)	健保事業の報告・周知 健康情報の共有 (生活習慣病・女性疾患予防・禁煙)	・ヘルスリテラシー、健康意識の醸成と向上 ・健保活動・保健事業の周知と参加者・利用者上昇	・加入者は全体としては減少傾向だが40歳以上の割合は2020年度と比べ3.7pt増加をしている。 ・男性では55歳～65歳未満において、2020年度から増加傾向にあり、ボリュームゾーンは50歳～60歳未満 ・女性ではと50歳～65歳未満において2020年度から増加傾向にある事が分かる。ボリュームゾーンは35歳～45歳未満 ・平均年齢は2018年度と比較をし男性で+2.3歳、女性で+3.9歳上昇をした ・医療費総額としては昨年度と比較し9pt増加をしている事が確認できる。 被保険者の医療費において、40歳以上が被保険者全体の83.7%を占めている。 被保険者の年齢層別一人当たり医療費では20歳以上で他組合平均と比べ高い事が確認できる。 ・疾病別の医療費では生活習慣病に関わる循環器、内分泌、また新生物は昨年度とくらべ20pt以上増加をしている ・55歳以上65歳以下の加入者数は増加傾向であり医療費も上昇傾向にある				
	発行回数(【実績値】6回 【目標値】令和6年度：6回 令和7年度：6回 令和8年度：6回 令和9年度：6回 令和10年度：6回 令和11年度：6回)発行回数											保健事業の利用者数(【実績値】65% 【目標値】令和6年度：65% 令和7年度：65% 令和8年度：65% 令和9年度：65% 令和10年度：65% 令和11年度：65%)保健事業の参加者数の年次推移の把握 人間ドック利用率												
	2	既存	ホームページ	全て	男女	0～74	加入者全員	1	コ,ス	全ての加入者が理解できるよう分かりやすい表現で掲示	ア,オ,カ,コ	法研のパッケージを利用	健保の事業運営の周知 健保の諸手続き 健康情報の発信	健保の事業運営の周知 健保の諸手続き 健康情報の発信	健保の事業運営の周知 健保の諸手続き 健康情報の発信	健保の事業運営の周知 健保の諸手続き 健康情報の発信	健保の事業運営の周知 健保の諸手続き 健康情報の発信	健保の事業運営の周知 健保の諸手続き 健康情報の発信	"・ヘルスリテラシー、健康意識の醸成と向上 ・健保活動・保健事業の周知と参加者・利用者上昇	・加入者は全体としては減少傾向だが40歳以上の割合は2020年度と比べ3.7pt増加をしている。 ・男性では55歳～65歳未満において、2020年度から増加傾向にあり、ボリュームゾーンは50歳～60歳未満 ・女性ではと50歳～65歳未満において2020年度から増加傾向にある事が分かる。ボリュームゾーンは35歳～45歳未満 ・平均年齢は2018年度と比較をし男性で+2.3歳、女性で+3.9歳上昇をした				
	発信回数(【実績値】10回 【目標値】令和6年度：10回 令和7年度：10回 令和8年度：10回 令和9年度：10回 令和10年度：10回 令和11年度：10回)発行回数											保健事業の利用者数(【実績値】65% 【目標値】令和6年度：65% 令和7年度：65% 令和8年度：65% 令和9年度：65% 令和10年度：65% 令和11年度：65%)保健事業の参加者数の年次推移の把握 ・人間ドック利用率												
	2	既存	医療費通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	イ,ウ,キ	年1回紙配布 随時ウェブ上で確認可能	シ	紙：大正オーディットウェブ：JAST	年1回(12月)ウェブ随時確認可能	年1回(12月)ウェブ随時確認可能	年1回(12月)ウェブ随時確認可能	年1回(12月)ウェブ随時確認可能	年1回(12月)ウェブ随時確認可能	年1回(12月)ウェブ随時確認可能	"・医療費あるいは薬剤費適正化 ・不正請求・請求ミスの是正 ・適正な受診行動の実現	・医療費総額としては昨年度と比較し9pt増加をしている事が確認できる。 被保険者の医療費において、40歳以上が被保険者全体の83.7%を占めている。 被保険者の年齢層別一人当たり医療費では20歳以上で他組合平均と比べ高い事が確認できる。 ・疾病別の医療費では生活習慣病に関わる循環器、内分泌、また新生物は昨年度とくらべ20pt以上増加をしている ・55歳以上65歳以下の加入者数は増加傾向であり医療費も上昇傾向にある ・ジェネリック医薬品の使用率は81.6%。2020年度より80%を超えている。				
配布頻度(【実績値】12回 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)適切な頻度で配布											医療費適正化(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：103% 令和7年度：103% 令和8年度：103% 令和9年度：103% 令和10年度：103% 令和11年度：103%)レセプトを用いた医療費の年次推移													
													500	500	500	500	500	500						

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
	7	既存	ジェネリック利用促進	全て	男女	0～74	加入者全員	1	キ,ク,ケ	・調剤費削減が可能なものに対して差額通知を作成、配布 ・保険証発行時に、ジェネリック切り替えシール配布	ク,シ	・大正オーディットによる対象者分析、差額通知作成→効果分析	生活習慣病・アレルギー疾患を中心とした、調剤費削減効果が大きいと想定される方を対象に11月の差額通知を送付毎月、利用率を把握	生活習慣病・アレルギー疾患を中心とした、調剤費削減効果が大きいと想定される方を対象に11月の差額通知を送付毎月、利用率を把握	生活習慣病・アレルギー疾患を中心とした、調剤費削減効果が大きいと想定される方を対象に11月の差額通知を送付毎月、利用率を把握	生活習慣病・アレルギー疾患を中心とした、調剤費削減効果が大きいと想定される方を対象に11月の差額通知を送付毎月、利用率を把握	生活習慣病・アレルギー疾患を中心とした、調剤費削減効果が大きいと想定される方を対象に11月の差額通知を送付毎月、利用率を把握	生活習慣病・アレルギー疾患を中心とした、調剤費削減効果が大きいと想定される方を対象に11月の差額通知を送付毎月、利用率を把握	・医療費あるいは薬剤費適正化 ・保険者財政の改善 ・ジェネリック薬普及のための啓発活動	・医療費総額としては昨年度と比較し9pt増加をしている事が確認できる。 被保険者の医療費において、40歳以上が被保険者全体の83.7%を占めている。 被保険者の年齢層別一人当たり医療費では20歳以上で他組合平均と比べ高い事が確認できる。 ・疾病別の医療費では生活習慣病に関わる循環器、内分泌、また新生物は昨年度とくらべ20pt以上増加をしている ・55歳以上65歳以下の加入者数は増加傾向であり医療費も上昇傾向にある					
ジェネリック通知の発送(【実績値】1回通知発送件数													ジェネリック利用率(【実績値】82%【目標値】令和6年度：82%令和7年度：82.5%令和8年度：83%令和9年度：83.5%令和10年度：84%令和11年度：84.5%)ジェネリック利用率												
個別の事業																									
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診(被保険者)	全て	男女	40～74	被保険者	1	イ,ウ,オ,カ,キ,ク,ケ,コ,サ	事業主より委託をされている定期健康診断と健保主催の人間ドックで実施	ア,イ,エ,カ,キ,ク,ケ	事業主との連携	19,390	19,390	19,390	19,390	19,390	19,390	・健康状態の把握 ・QOLの向上 ・生活習慣病医療費および傷病手当金の削減 ・早期発見・早期治療	・加入者は全体としては減少傾向だが40歳以上の割合は2020年度と比べ3.7pt増加をしている。 ・男性では55歳～65歳未満において、2020年度から増加傾向にあり、ボリュームゾーンは50歳～60歳未満 ・女性ではと50歳～65歳未満において2020年度から増加傾向にある事が分かる。ボリュームゾーンは35歳～45歳未満 ・平均年齢は2018年度と比較をし男性で+2.3歳、女性で+3.9歳上昇をした					
													事業主より委託されている定期健康診断と健保主催の人間ドックで実施	事業主より委託されている定期健康診断と健保主催の人間ドックで実施	事業主より委託されている定期健康診断と健保主催の人間ドックで実施	事業主より委託されている定期健康診断と健保主催の人間ドックで実施	事業主より委託されている定期健康診断と健保主催の人間ドックで実施	事業主より委託されている定期健康診断と健保主催の人間ドックで実施							
													特定健診実施率(【実績値】97%【目標値】令和6年度：97%令和7年度：97%令和8年度：97%令和9年度：97%令和10年度：97%令和11年度：97%) 健診受診率の維持向上												
													8,205	8,205	8,205	8,205	8,205	8,205							

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
	3	既存 (法定)	特定健診（被扶養者）	全て	男女	40～74	被扶養者	1	イ,ウ,オ,カ,キ,ク,ケ	健保主催の人間ドックおよびかかりつけ医での受診結果をデータ化。また他健保との協働で巡回型レディース健診も委託。	ウ,エ,カ,ク,ケ	専門医ヘルスケアネットワークで、受診勧奨を定期的に実施 巡回型レディース健診は、WEB予約で受診者の利便性の向上とともに、受診状況の把握を迅速の実施。	健保主催の人間ドックおよびかかりつけ医での受診結果をデータ化。また他健保との協働で巡回型レディース健診を採用	健保主催の人間ドックおよびかかりつけ医での受診結果をデータ化。また他健保との協働で巡回型レディース健診を採用	健保主催の人間ドックおよびかかりつけ医での受診結果をデータ化。また他健保との協働で巡回型レディース健診を採用	健保主催の人間ドックおよびかかりつけ医での受診結果をデータ化。また他健保との協働で巡回型レディース健診を採用	健保主催の人間ドックおよびかかりつけ医での受診結果をデータ化。また他健保との協働で巡回型レディース健診を採用	健保主催の人間ドックおよびかかりつけ医での受診結果をデータ化。また他健保との協働で巡回型レディース健診を採用	健保主催の人間ドックおよびかかりつけ医での受診結果をデータ化。また他健保との協働で巡回型レディース健診を採用	・健康状態の把握 ・QOLの向上 ・生活習慣病医療費および傷病手当金の削減 ・早期発見・早期治療	・加入者は全体としては減少傾向だが40歳以上の割合は2020年度と比べ3.7pt増加をしている。 ・男性では55歳～65歳未満において、2020年度から増加傾向にあり、ボリュームゾーンは50歳～60歳未満 ・女性ではと50歳～65歳未満において2020年度から増加傾向にある事が分かる。ボリュームゾーンは35歳～45歳未満 ・平均年齢は2018年度と比較をし男性で+2.3歳、女性で+3.9歳上昇をした ・医療費総額としては昨年度と比較し9pt増加をしている事が確認できる。 被保険者の医療費において、40歳以上が被保険者全体の83.7%を占めている。 被保険者の年齢層別一人当たり医療費では20歳以上で他組合平均と比べ高い事が確認できる。 ・疾病別の医療費では生活習慣病に関わる循環器、内分泌、また新生物は昨年度とくらべ20pt以上増加をしている ・55歳以上65歳以下の加入者数は増加傾向であり医療費も上昇傾向にある ・生活習慣病医療費は医療費全体の中で15.7%を占めており、そのうち高血圧・糖尿病・脂質異常症が66.1%を占めている。患者数割合も増加傾向である。 ・血圧、脂質、糖代謝と正常の割合が2018年度と比べ減少傾向にある事が確認できる。 ・特定健診の実施率は90%を超えている				
特定健診実施率(【実績値】74%) %健診受診率の維持向上				74%	【目標値】令和6年度：74%				令和7年度：74%	令和8年度：74.5%	令和9年度：74.5%	令和10年度：75%	令和11年度：75%	メタボ該当率(【実績値】10%) %メタボ該当率の維持・削減、該当者数を経年的に把握	10%	【目標値】令和6年度：10%				令和7年度：10%	令和8年度：10%	令和9年度：10%	令和10年度：10%	令和11年度：10%)メタボ該当率の維持・削減、該当者数を経年的に把握	
													21,750	21,750	21,750	21,750	21,750	21,750							

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連															
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画																						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度																	
	アウトプット指標												アウトカム指標																						
特定保健指導事業	4	既存 (法定)	特定保健指導 (被保険者) ～ヘルスアッププログラム～	全て	男女	35 ～ 74	被保険者	1	イ,ウ,エ,オ ,カ,キ,ケ, コ,サ	健保事前の保健師・管理栄養士・看護師による、人間ドック当日面談を実施。 事業主との連携により、勤務中にWEB面談を実施。	ア,イ,エ,オ ,ケ,サ	事業主との連携	事業主との連携により、勤務中に実施。健保事前の保健師・管理栄養士・看護師によりグループ面談を実施	事業主との連携により、勤務中に実施。健保事前の保健師・管理栄養士・看護師によりグループ面談を実施	事業主との連携により、勤務中に実施。健保事前の保健師・管理栄養士・看護師によりグループ面談を実施	事業主との連携により、勤務中に実施。健保事前の保健師・管理栄養士・看護師によりグループ面談を実施	事業主との連携により、勤務中に実施。健保事前の保健師・管理栄養士・看護師によりグループ面談を実施	事業主との連携により、勤務中に実施。健保事前の保健師・管理栄養士・看護師によりグループ面談を実施	事業主との連携により、勤務中に実施。健保事前の保健師・管理栄養士・看護師によりグループ面談を実施	・加入者は全体としては減少傾向だが40歳以上の割合は2020年度と比べ3.7pt増加をしている。 ・男性では55歳～65歳未満において、2020年度から増加傾向にあり、ボリュームゾーンは50歳～60歳未満 ・女性ではと50歳～65歳未満において2020年度から増加傾向にある事が分かる。ボリュームゾーンは35歳～45歳未満 ・平均年齢は2018年度と比較をし男性で+2.3歳、女性で+3.9歳上昇をした															
特定保健指導実施(完了)率【実績値】65% 【目標値】令和6年度：65% 令和7年度：65% 令和8年度：65% 令和9年度：65% 令和10年度：65% 令和11年度：65%指導実施率の年次推移の把握による参加率の維持向上を目指す												特定保健指導対象者割合【実績値】15% 【目標値】令和6年度：15% 令和7年度：15% 令和8年度：15% 令和9年度：15% 令和10年度：15% 令和11年度：15%指導対象者割合の年次推移を把握し、該当率の維持・向上を目指す																							
													100	100	100	100	100	100																	

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
	4	既存 （法定）	特定保健指導 （被扶養者） ～ヘルスアップ プログラム～	全て	男女	40 ～ 74	被扶養 者,任意 継続者	1	イ,ウ,エ,オ ,カ,キ,ク, ケ,コ	健保事前の保健師・管理 栄養士・看護師により、 人間ドック当日面談を実 施。 特定健診実施の外部保健 指導機関によるWEB面談 も対応。	エ,オ,カ,ク ,ケ	外部保健指導機関と連携 をとり実施。面談実施が 困難な場合は遠隔で対応	外部保健指導機関と連携 をとり実施。面談実施が 困難な場合は遠隔で対応	外部保健指導機関と連携 をとり実施。面談実施が 困難な場合は遠隔で対応	外部保健指導機関と連携 をとり実施。面談実施が 困難な場合は遠隔で対応	外部保健指導機関と連携 をとり実施。面談実施が 困難な場合は遠隔で対応	外部保健指導機関と連携 をとり実施。面談実施が 困難な場合は遠隔で対応	外部保健指導機関と連携 をとり実施。面談実施が 困難な場合は遠隔で対応	外部保健指導機関と連携 をとり実施。面談実施が 困難な場合は遠隔で対応	・ 健康的な生活習慣への改善、定着と行動 変容 ・ 本人による健康状態の把握と健康課題の 問題解決 ・ 健康指標の良好なコントロール ・ 生活習慣病などの重症化予防	・ 加入者は全体としては減少傾向 だが40歳以上の割合は2020年度と 比べ3.7pt増加をしている。 ・ 男性では55歳～65歳未満におい て、2020年度から増加傾向にあり 、ボリュームゾーンは50歳～60歳 未満 ・ 女性ではと50歳～65歳未満にお いて2020年度から増加傾向にある 事が分かる。ボリュームゾーンは3 5歳～45歳未満 ・ 平均年齢は2018年度と比較をし 男性で+2.3歳、女性で+3.9歳上昇 をした ・ 医療費総額としては昨年度と比 較し9pt増加をしている事が確認で きる。 被保険者の医療費において、40歳 以上が被保険者全体の83.7%を占 めている。 被保険者の年齢層別一人当たり医 療費では20歳以上で他組合平均と 比べ高い事が確認できる。 ・ 疾病別の医療費では生活習慣病 に関わる循環器、内分泌、また新 生物は昨年度とくらべ20pt以上増 加をしている ・ 55歳以上65歳以下の加入者数は 増加傾向であり医療費も上昇傾向 にある ・ 生活習慣病医療費は医療費全体 の中で15.7%を占めており、その うち 高血圧・糖尿病・脂質異常症が66. 1%を占めている。患者数割合も増 加傾向である。 ・ 血圧、脂質、糖代謝と正常の割 合が2018年度と比べ減少傾向にあ る事が確認できる。 ・ 特定保健指導60%を超えている 2021年度より被扶養者の実施開 始 ・ 2021年度の動機付け支援対象者 の21%、積極的支援対象者の12% が翌年の健診結果にて悪化をして いる				
特定保健指導実施(完了) 率(【実績値】 14% 【目標値】 令和6年度：15% 令和7年度：15% 令和8年度：15% 令和9年度：15% 令和10年度：15% 令和11年度：15%)指導実施率の年次推移の把握による参加率の維持向上を目指す													特定保健指導対象者割合(【実績値】 8% 【目標値】 令和6年度：9% 令和7年度：9% 令和8年度：9% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)指導対象者割合の年次推移を把握し、該当率の維持・向上を目指す												

疾 病 予 防	3	既存	人間ドック	全て	男女	40 ～ 74	加入者 全員	1	イ,ウ,オ,キ ,ク,ケ,コ	40歳以上の受診希望者に 対して、特定健診・定期 健診を兼ねて実施	ア,イ,カ,ケ ,コ,サ	自前の会館・医療スタッ フで運営。遠隔地に就業 するものは、連携医療機 関にて受診も可能（個人 負担額 1万円）	133,800	133,800	133,800	133,800	133,800	133,800	・ 健康状態の把握 ・ QOLの向上 ・ 生活習慣病医療費および傷病手当金の削減 ・ 早期発見・早期治療	・ 医療費総額としては昨年度と比 較し9pt増加をしている事が確認で きる。 被保険者の医療費において、40歳 以上が被保険者全体の83.7%を占 めている。 被保険者の年齢層別一人当たり医 療費では20歳以上で他組合平均と 比べ高い事が確認できる。 ・ 疾病別の医療費では生活習慣病 に関わる循環器、内分泌、また新 生物は昨年度とくらべ20pt以上増 加をしている ・ 55歳以上65歳以下の加入者数は 増加傾向であり医療費も上昇傾向 にある ・ 生活習慣病医療費は医療費全体 の中で15.7%を占めており、その うち 高血圧・糖尿病・脂質異常症が66. 1%を占めている。患者数割合も増 加傾向である。 ・ 血圧、脂質、糖代謝と正常の割 合が2018年度と比べ減少傾向にあ る事が確認できる。					
													年間3500名を想定 自前の医療スタッフ・施設 にて実施し、経年の結果 管理・結果説明を丁寧に する事で、受診者の健康 づくりをサポート	年間3500名を想定 自前の医療スタッフ・施設 にて実施し、経年の結果 管理・結果説明を丁寧に する事で、受診者の健康 づくりをサポート	年間3500名を想定 自前の医療スタッフ・施設 にて実施し、経年の結果 管理・結果説明を丁寧に する事で、受診者の健康 づくりをサポート	年間3500名を想定 自前の医療スタッフ・施設 にて実施し、経年の結果 管理・結果説明を丁寧に する事で、受診者の健康 づくりをサポート	年間3500名を想定 自前の医療スタッフ・施設 にて実施し、経年の結果 管理・結果説明を丁寧に する事で、受診者の健康 づくりをサポート	年間3500名を想定 自前の医療スタッフ・施設 にて実施し、経年の結果 管理・結果説明を丁寧に する事で、受診者の健康 づくりをサポート							
人間ドック選択率(【実績値】 65% 【目標値】 令和6年度：65% 令和7年度：65% 令和8年度：65% 令和9年度：65% 令和10年度：65% 令和11年度：65%)人間ドック選択率の維持・向上													精密検査受診率(【実績値】 80% 【目標値】 令和6年度：81% 令和7年度：82% 令和8年度：83% 令和9年度：84% 令和10年度：85% 令和11年度：86%)精密検査の年次把握による適切な検診受診率の把握と維持・向上												
													21,600	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600							

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢						実施計画											
												令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度						
アウトプット指標												アウトカム指標											
	3	既存（法定）	定期健康診断	母体企業	男女	18～67	被保険者	3	イ,キ,ク,ケ,サ	事業主から委託され、主に巡回健診にて実施。40歳以上は特定健診を兼ねる。生活習慣病の予防対策として、全年代に血液検査を実施。35歳以上にHbA1c、クレアチニン・尿酸・便潜血を実施	ア,イ,ウ,カ,ケ,コ	就業時間内での受診が可能			巡回形式をメインに5～8月に実施。小規模事業は提携クリニックで実施。定期的に未受診者リストを事業主へ送付し12月までに100%受診を目指す。	巡回形式をメインに5～8月に実施。小規模事業は提携クリニックで実施。定期的に未受診者リストを事業主へ送付し12月までに100%受診を目指す。	巡回形式をメインに5～8月に実施。小規模事業は提携クリニックで実施。定期的に未受診者リストを事業主へ送付し12月までに100%受診を目指す。	巡回形式をメインに5～8月に実施。小規模事業は提携クリニックで実施。定期的に未受診者リストを事業主へ送付し12月までに100%受診を目指す。	巡回形式をメインに5～8月に実施。小規模事業は提携クリニックで実施。定期的に未受診者リストを事業主へ送付し12月までに100%受診を目指す。	巡回形式をメインに5～8月に実施。小規模事業は提携クリニックで実施。定期的に未受診者リストを事業主へ送付し12月までに100%受診を目指す。	・加入者は全体としては減少傾向だが40歳以上の割合は2020年度と比べ3.7pt増加をしている。 ・男性では55歳～65歳未満において、2020年度から増加傾向にあり、ボリュームゾーンは50歳～60歳未満 ・女性ではと50歳～65歳未満において2020年度から増加傾向にある事が分かる。ボリュームゾーンは35歳～45歳未満 ・平均年齢は2018年度と比較をし男性で+2.3歳、女性で+3.9歳上昇をした ・医療費総額としては昨年度と比較し9pt増加をしている事が確認できる。 被保険者の医療費において、40歳以上が被保険者全体の83.7%を占めている。 被保険者の年齢層別一人当たり医療費では20歳以上で他組合平均と比べ高い事が確認できる。 ・疾病別の医療費では生活習慣病に関わる循環器、内分泌、また新生物は昨年度とくらべ20pt以上増加をしている ・55歳以上65歳以下の加入者数は増加傾向であり医療費も上昇傾向にある ・生活習慣病医療費は医療費全体の中で15.7%を占めており、そのうち高血圧・糖尿病・脂質異常症が66.1%を占めている。患者数割合も増加傾向である。 ・血圧、脂質、糖代謝と正常の割合が2018年度と比べ減少傾向にある事が確認できる。		
健診受診率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)健診受診率の維持・向上												メタボ該当率(【実績値】20% 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)メタボ該当率の維持・削減、該当者数を経年的に把握											
	4	既存	受診勧奨（健康診断後事後措置）	全て	男女	18～74	加入者全員	1	イ,ウ,オ,キ,ク,ケ,コ,サ	リスクレベル（A～E）を設定し、リスクに応じた受診勧奨を実施、緊急度が高いD・E判定の未受診者に対しては、事業主経由で受診促進をする	ア,イ,カ,ケ,サ	健診結果に報告書を同封。期間内に提出の無い方へは、所属長を通じて督促	0	0	0	0	0	0	0	・高リスク者において、血圧、脂質代謝、腎機能、肝機能において、未治療、治療放棄（直近6か月レセプト無）が4割以上存在している。 ・被保険者の男性で糖尿病、腎機能障害の加入者が他組合平均を上回る年齢層が多い事が確認できる。 また、腎機能での高リスク者の3割以上が未治療、治療放棄（直近6か月レセプト無）となっている。			
受診勧奨実施数(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)対象者の選別と受診勧奨通知の発送数												受診勧奨対象者精検受診率(【実績値】80% 【目標値】令和6年度：81% 令和7年度：82% 令和8年度：83% 令和9年度：84% 令和10年度：85% 令和11年度：86%)対象者のうち受療した人を経年的に把握											
													7,600	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600					

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
													実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
	3,4	既存	がん検診	全て	男女	20 ～ 74	基準該 当者	1	イ,ウ,オ,キ ,ク,ケ,サ, シ,ス	【大腸がん】 便潜血検査（2回法）を実 施 【乳がん・子宮頸がん】 各健診費用の上限5,000円 まで補助 連携クリニックの拡充・ 巡回健診での導入に務め 受診率向上に努める ※乳がん検診：30歳以上 子宮頸がん検診：20歳 以上	ア,イ,カ,ケ ,シ	【大腸がん】 定期健康診断（35歳以上 ）人間ドック（40歳以上 ）実施時に検査 【乳がん・子宮頸がん】 ①人間ドック ②連携クリニック（10か 所） ③費用補助 ④事業所巡回（乳がんエ コー検査のみ）	【大腸がん】 定期健康診断（35歳以上 ）人間ドック（40歳以上 ）実施時に便潜血検査（2 回法）を実施 【乳がん・子宮頸がん】 各健診費用の上限5,000円 まで補助 連携クリニックの拡充・ 巡回健診での導入に務め 受診率向上に努める ※乳がん検診：30歳以上 子宮頸がん検診：20歳 以上	【大腸がん】 定期健康診断（35歳以上 ）人間ドック（40歳以上 ）実施時に便潜血検査（2 回法）を実施 【乳がん・子宮頸がん】 各健診費用の上限5,000円 まで補助 連携クリニックの拡充・ 巡回健診での導入に務め 受診率向上に努める ※乳がん検診：30歳以上 子宮頸がん検診：20歳 以上	【大腸がん】 定期健康診断（35歳以上 ）人間ドック（40歳以上 ）実施時に便潜血検査（2 回法）を実施 【乳がん・子宮頸がん】 各健診費用の上限5,000円 まで補助 連携クリニックの拡充・ 巡回健診での導入に務め 受診率向上に努める ※乳がん検診：30歳以上 子宮頸がん検診：20歳 以上	【大腸がん】 定期健康診断（35歳以上 ）人間ドック（40歳以上 ）実施時に便潜血検査（2 回法）を実施 【乳がん・子宮頸がん】 各健診費用の上限5,000円 まで補助 連携クリニックの拡充・ 巡回健診での導入に務め 受診率向上に努める ※乳がん検診：30歳以上 子宮頸がん検診：20歳 以上	【大腸がん】 定期健康診断（35歳以上 ）人間ドック（40歳以上 ）実施時に便潜血検査（2 回法）を実施 【乳がん・子宮頸がん】 各健診費用の上限5,000円 まで補助 連携クリニックの拡充・ 巡回健診での導入に務め 受診率向上に努める ※乳がん検診：30歳以上 子宮頸がん検診：20歳 以上	【大腸がん】 定期健康診断（35歳以上 ）人間ドック（40歳以上 ）実施時に便潜血検査（2 回法）を実施 【乳がん・子宮頸がん】 各健診費用の上限5,000円 まで補助 連携クリニックの拡充・ 巡回健診での導入に務め 受診率向上に努める ※乳がん検診：30歳以上 子宮頸がん検診：20歳 以上	・早期発見・早期治療	・加入者は全体としては減少傾向 だが40歳以上の割合は2020年度と 比べ3.7pt増加をしている。 ・男性では55歳～65歳未満におい て、2020年度から増加傾向にあり 、ボリュームゾーンは50歳～60歳 未満 ・女性ではと50歳～65歳未満にお いて2020年度から増加傾向にある 事が分かる。ボリュームゾーンは3 5歳～45歳未満 ・平均年齢は2018年度と比較をし 男性で+2.3歳、女性で+3.9歳上昇 をした ・医療費総額としては昨年度と比 較し9pt増加をしている事が確認で きる。 被保険者の医療費において、40歳 以上が被保険者全体の83.7%を占 めている。 被保険者の年齢層別一人当たり医 療費では20歳以上で他組合平均と 比べ高い事が確認できる。 ・疾病別の医療費では生活習慣病 に関わる循環器、内分泌、また新 生物は昨年度とくらべ20pt以上増 加をしている ・55歳以上65歳以下の加入者数は 増加傾向であり医療費も上昇傾向 にある ・がん医療費は医療費全体の中で 8.6%を占めており、そのうち5大 がんは 男性で9.1%、女性で68.2%を占め ている。 ・乳がんの医療費、患者数は増加 傾向にある。					
大腸がん検診受診率(【実績値】90% 【目標値】令和6年度：90% 令和7年度：90% 令和8年度：90% 令和9年度：90% 令和10年度：90% 令和11年度：90%)検診対象者と受診者の年次推移を把握													精密検査受診率（大腸がん）(【実績値】50% 【目標値】令和6年度：55% 令和7年度：60% 令和8年度：65% 令和9年度：70% 令和10年度：75% 令和11年度：80%)精検受診率の把握と向上												
乳がん検診受診率(【実績値】70% 【目標値】令和6年度：70% 令和7年度：70% 令和8年度：70% 令和9年度：70% 令和10年度：70% 令和11年度：70%)検診対象者と受診者の年次推移を把握													精密検査受診率（乳がん）(【実績値】70% 【目標値】令和6年度：70% 令和7年度：75% 令和8年度：80% 令和9年度：85% 令和10年度：85% 令和11年度：85%)精検受診率の把握と向上												
子宮頸がん検診受診率(【実績値】60% 【目標値】令和6年度：62% 令和7年度：64% 令和8年度：66% 令和9年度：68% 令和10年度：70% 令和11年度：70%)検診対象者と受診者の年次推移を把握													精密検査受診率（子宮頸がん）(【実績値】55% 【目標値】令和6年度：60% 令和7年度：65% 令和8年度：70% 令和9年度：75% 令和10年度：80% 令和11年度：85%)精検受診率の把握と向上												
	3,4	既存	歯科検診・ブラッシング指導	全て	男女	18 ～ 74	基準該 当者	1	イ,ウ,オ,キ ,ケ,サ	定期健診および人間ドック時に合わせて実施	ア,ウ,カ,ケ	ハミエルに委託	1,870	1,870	1,870	1,870	1,870	1,870	・適切な口腔内環境管理の実現 ・早期発見・早期治療	・医療費総額としては昨年度と比較し9pt増加をしている事が確認できる。 被保険者の医療費において、40歳以上が被保険者全体の83.7%を占めている。 被保険者の年齢層別一人当たり医療費では20歳以上で他組合平均と比べ高い事が確認できる。 ・疾病別の医療費では生活習慣病に関わる循環器、内分泌、また新生物は昨年度とくらべ20pt以上増加をしている ・55歳以上65歳以下の加入者数は増加傾向であり医療費も上昇傾向にある ・歯科を3年間受診していない加入者が約31.2%いる。受診件数、医療費他組合平均と比較をすると増加傾向である事が確認できる。 歯科受診の意識が高い。					
歯科検診受診率(【実績値】90% 【目標値】令和6年度：90% 令和7年度：90% 令和8年度：90% 令和9年度：90% 令和10年度：90% 令和11年度：90%) 歯科健診受診率の把握と増加													定期的な歯科受診(【実績値】30% 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：30% 令和8年度：29% 令和9年度：29% 令和10年度：28% 令和11年度：28%)レセプトを用いて複数年にわたり歯科受診のない人を把握 ・3年間歯科に未受診者削減												
													100	100	100	100	100	100							

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象 事業所	性別	年齢	対象者						実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
	8	既存	インフルエンザ予防接種	母体企業	男女	18～67	被保険者	1	キ,ケ,サ,ス	10～11月を目安に実施	ア,カ	事業所を巡回して実施	10～11月を目安に実施	10～11月を目安に実施	10～11月を目安に実施	10～11月を目安に実施	10～11月を目安に実施	10～11月を目安に実施	10～11月を目安に実施	・重症化予防	・医療費総額としては昨年度と比較し9pt増加をしている事が確認できる。 被保険者の医療費において、40歳以上が被保険者全体の83.7%を占めている。 被保険者の年齢層別一人当たり医療費では20歳以上で他組合平均と比べ高い事が確認できる。 ・疾病別の医療費では生活習慣病に関わる循環器、内分泌、また新生物は昨年度とくらべ20pt以上増加をしている ・55歳以上65歳以下の加入者数は増加傾向であり医療費も上昇傾向にある				
接種率(【実績値】50% 【目標値】令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)接種者数の把握													インフルエンザ医療費の推移(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)レセプトを用いた一人あたりのインフルエンザ医療費の把握												
	5	既存	健康情報提供 (in body)	全て	男女	40～74	加入者全員	1	イ,コ,スイ,ク,サ	人間ドックの検査項目を導入。 結果内容を問診時にフィードバックし行動変容を促す	ケ,コ,サ	人間ドックの検査項目。 mbody動画活用およびアプリ登録による推移確認	0	0	0	0	0	0	0	・ヘルスリテラシー、健康意識の醸成と向上 ・意識変容・行動変容のきっかけ作り	・生活習慣病医療費は医療費全体の中で15.7%を占めており、そのうち 高血圧・糖尿病・脂質異常症が66.1%を占めている。患者数割合も増加傾向である。 ・血圧、脂質、糖代謝と正常の割合が2018年度と比べ減少傾向にある事が確認できる。				
実施者数(【実績値】3,000人 【目標値】令和6年度：3,000人 令和7年度：3,000人 令和8年度：3,000人 令和9年度：3,000人 令和10年度：3,000人 令和11年度：3,000人)必要な情報提供機会の確保 ・人間ドック時に実施													健康状態の維持(【実績値】20% 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)健診数値の年次推移 ・メタボ該当率												
													0	0	0	0	0	0	0						

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
	4	既存	重症化予防事業	全て	男女	18～74	被保険者,基準該当者	1	イ,ウ,オ,キ,ク,ケ,コ,サ	【糖尿病】 HbA1c8,4以上の加入者への受診勧奨 【高血圧】 収縮期血圧160拡張期血圧110以上の加入者へ受診勧奨 【動脈硬化】 加入者へ久山式リスクの提供、人間ドック受診者対象に保健指導を実施	ア,イ,カ,ケ,サ	自前の医師・保健師・看護師により実施	事業主と連携した受診勧奨	事業主と連携した受診勧奨	事業主と連携した受診勧奨	事業主と連携した受診勧奨	事業主と連携した受診勧奨	事業主と連携した受診勧奨	事業主と連携した受診勧奨	・ QOLの向上 ・ 健康的な生活習慣の定着と行動変容 ・ 生活習慣病治療中の人への啓発 ・ 生活習慣病による死亡数の削減 ・ 生活習慣病医療費および傷病手当金の削減	・ 加入者は全体としては減少傾向だが40歳以上の割合は2020年度と比べ3.7pt増加をしている。 ・ 男性では55歳～65歳未満において、2020年度から増加傾向にあり、ボリュームゾーンは50歳～60歳未満 ・ 女性ではと50歳～65歳未満において2020年度から増加傾向にある事が分かる。ボリュームゾーンは35歳～45歳未満 ・ 平均年齢は2018年度と比較をし男性で+2.3歳、女性で+3.9歳上昇をした ・ 医療費総額としては昨年度と比較し9pt増加をしている事が確認できる。 被保険者の医療費において、40歳以上が被保険者全体の83.7%を占めている。 被保険者の年齢層別一人当たり医療費では20歳以上で他組合平均と比べ高い事が確認できる。 ・ 疾病別の医療費では生活習慣病に関わる循環器、内分泌、また新生物は昨年度とくらべ20pt以上増加をしている ・ 55歳以上65歳以下の加入者数は増加傾向であり医療費も上昇傾向にある ・ 生活習慣病医療費は医療費全体の中で15.7%を占めており、そのうち高血圧・糖尿病・脂質異常症が66.1%を占めている。患者数割合も増加傾向である。 ・ 血圧、脂質、糖代謝と正常の割合が2018年度と比べ減少傾向にある事が確認できる。 ・ 被保険者の男性で糖尿病、腎機能障害の加入者が他組合平均を上回る年齢層が多い事が確認できる。 また、腎機能での高リスク者の3割以上が未治療、治療放棄（直近6か月レセプト無）となっている。 ・ 入院レセプトのある加入者で脳血管疾患、虚血性心疾患の患者数が多い。				
重症化予防対象者への通知(【実績値】100%【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)重症化予防対象者の把握													重症化予防対象者の医療機関受診率(【実績値】80%【目標値】令和6年度：81% 令和7年度：82% 令和8年度：83% 令和9年度：84% 令和10年度：85% 令和11年度：86%)重症化予防参加者の医療機関受診頻度をレセプトを用いて把握												
3,4,5	既存	女性のライフステージ別の健康対策	全て	男女	18～74	加入者全員	3	イ,ウ,キ,ク,ケ,サ,シ	ウェルネスリーダー会議や広報誌・会社の通達を通して、婦人科健診の重要性を理解してもらい受診促進につなげる。 ウェルネスリーダー、ウェルネスリーダーサポーターと連携して、女性のライフステージ別の健康課題の共有・啓発を進める。	ア,イ,カ,ケ,サ	各事業所にウェルネスリーダー、ウェルネスリーダーサポーターを任命。人間ドック、会社での定期健康診断に付帯（一部）、提携クリニックでの受診機会等を整備	300	300	300	300	300	300	・ 健康的な生活習慣への改善、定着と行動変容 ・ ヘルスリテラシー、健康意識の醸成と向上 ・ がんの早期発見・早期治療	・ 医療費総額としては昨年度と比較し9pt増加をしている事が確認できる。 被保険者の医療費において、40歳以上が被保険者全体の83.7%を占めている。 被保険者の年齢層別一人当たり医療費では20歳以上で他組合平均と比べ高い事が確認できる。 ・ 疾病別の医療費では生活習慣病に関わる循環器、内分泌、また新生物は昨年度とくらべ20pt以上増加をしている ・ 55歳以上65歳以下の加入者数は増加傾向であり医療費も上昇傾向にある ・ がん医療費は医療費全体の中で8.6%を占めており、そのうち5大がんは男性で9.1%、女性で68.2%を占めている。 ・ 乳がんの医療費、患者数は増加傾向にある。						

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連													
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画																		
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度											
アウトプット指標												アウトカム指標																			
乳がん検診受診率(【実績値】70% 【目標値】令和6年度：70% 令和7年度：70% 令和8年度：70% 令和9年度：70% 令和10年度：70% 令和11年度：70%)検診対象者と受診者の年次推移を把握												精密検査受診率（乳がん）(【実績値】70% 【目標値】令和6年度：70% 令和7年度：75% 令和8年度：80% 令和9年度：85% 令和10年度：85% 令和11年度：85%)精検受診率の把握と向上																			
子宮頸がん検診受診率(【実績値】60% 【目標値】令和6年度：60% 令和7年度：60% 令和8年度：60% 令和9年度：60% 令和10年度：60% 令和11年度：60%)検診対象者と受診者の年次推移を把握												精密検査受診率（子宮頸がん）(【実績値】55% 【目標値】令和6年度：60% 令和7年度：65% 令和8年度：70% 令和9年度：75% 令和10年度：80% 令和11年度：85%)精検受診率の把握と向上																			
5	既存	禁煙サポートの補助	全て	男女	18～74	被保険者	1	工,オ,カ,キ,ク,ケ,コ	禁煙支援・啓発および環境整備を進める。禁煙費用補助・禁煙治療の費用を上限2万円にて補助。	ア,イ,ウ,エ,ケ,コ	事業主と連携	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	・健康的な生活習慣の定着と行動変容 ・ヘルスリテラシー、健康意識の醸成と向上	・加入者は全体としては減少傾向だが40歳以上の割合は2020年度と比べ3.7pt増加をしている。 ・男性では55歳～65歳未満において、2020年度から増加傾向にあり、ボリュームゾーンは50歳～60歳未満 ・女性ではと50歳～65歳未満において2020年度から増加傾向にある事が分かる。ボリュームゾーンは35歳～45歳未満 ・平均年齢は2018年度と比較をし男性で+2.3歳、女性で+3.9歳上昇をした ・医療費総額としては昨年度と比較し9pt増加をしている事が確認できる。 被保険者の医療費において、40歳以上が被保険者全体の83.7%を占めている。 被保険者の年齢層別一人当たり医療費では20歳以上で他組合平均と比べ高い事が確認できる。 ・疾病別の医療費では生活習慣病に関わる循環器、内分泌、また新生物は昨年度とくらべ20pt以上増加をしている ・55歳以上65歳以下の加入者数は増加傾向であり医療費も上昇傾向にある ・男性、女性ともに2018年度より経年でみると喫煙率が減少傾向であるが、他組合平均と比べると女性で上回っている。 ・各年齢層でみると女性は25歳以降で他組合平均を上回っている。												
禁煙プログラム参加者数(【実績値】2人 【目標値】令和6年度：10人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)禁煙プログラム参加者数の年次推移の把握												喫煙率減少(【実績値】20% 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：19.5% 令和8年度：19% 令和9年度：18.5% 令和10年度：18% 令和11年度：18%)問診票を用いた喫煙率の年次推移と削減																			
2	既存	健康通信簿	母体企業	男女	18～64	被保険者	1	イ,ウ,キ,ク,ケ	各事業所別の健康状況を見える化し、改善・向上を目指す	ア,イ,ケ,シ	健保で作成	0	0	0	0	0	0	・ヘルスリテラシー、健康意識の醸成と向上 ・意識変容・行動変容のきっかけ作り	・生活習慣病医療費は医療費全体の中で15.7%を占めており、そのうち高血圧・糖尿病・脂質異常症が66.1%を占めている。患者数割合も増加傾向である。 ・血圧、脂質、糖代謝と正常の割合が2018年度と比べ減少傾向にある事が確認できる。 ・直近3年間ににおいて、睡眠障害・不安障害の患者割合が増加傾向にある。 問診結果で睡眠が十分とれていないと回答した割合は男性で20代が女性で30歳～55歳未満で他組合を上回っている。 ・朝食抜きの割合は男性で30歳～35歳未満で女性で20歳～45歳未満で55歳以上で他組合平均を上回っており、就寝前の食事は比較的男性で50代、女性で30代後半～50代でネガティブな回答が他組合平均を上回っている事が確認できる。 ・男性では20歳～35歳未満、女性では20歳～45歳未満で他組合平均より運動習慣に関してネガティブな回答が多かった。												
健康通信発行(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)必要な情報提供機会の確保												健康状態の維持(【実績値】20% 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)健診数値の年次推移 ・メタボ該当率																			
												0	0	0	0	0	0														

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
	1	既存	コラボミート ィング	母体企 業	男女	18 ～ 64	被保険 者	3	イ,ウ,エ,キ ,ク,ケ,サ	定期的に事業の共有・意見交換の場を設け、会社と一緒に健康づくりを推進する	ア,イ	健康保険組合・会社・ユニオンとの共同実施	定期的に事業の共有・意見交換の場を設け、会社と一緒に健康づくりを推進する	定期的に事業の共有・意見交換の場を設け、会社と一緒に健康づくりを推進する	定期的に事業の共有・意見交換の場を設け、会社と一緒に健康づくりを推進する	定期的に事業の共有・意見交換の場を設け、会社と一緒に健康づくりを推進する	定期的に事業の共有・意見交換の場を設け、会社と一緒に健康づくりを推進する	定期的に事業の共有・意見交換の場を設け、会社と一緒に健康づくりを推進する	・事業主や事業所との健康課題や健保情報の共有と理解 ・健康づくり事業の効果的運用、分担と連携 ・健康経営のサポートと企業イメージの向上 ・企業を巻き込んだ保健事業の効果的な実施	・高リスク者において、血圧、脂質代謝、腎機能、肝機能において、未治療、治療放棄（直近6か月レセプト無）が4割以上存在している。					
事業主との会議開催数(【実績値】12回 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)会議開催数の維持													コラボ事業数(【実績値】5回 【目標値】令和6年度：5回 令和7年度：5回 令和8年度：5回 令和9年度：5回 令和10年度：5回 令和11年度：5回)健康づくりの共同実施												
	1	既存	健康管理委員 会議	母体企 業	男女	18 ～ 64	被保険 者	3	イ,ウ,エ,キ ,ク,ケ,サ	職場の健康管理推進担当を「健康管理委員」に任命し健康管理推進にあたっての情報を共有	ア,イ,ケ	年に2回事業主と共同で会議を開催	300	300	300	300	300	300	・事業主や事業所との健康課題や健保情報の共有と理解 ・健康づくり事業の効果的運用、分担と連携 ・健康経営のサポートと企業イメージの向上 ・企業を巻き込んだ保健事業の効果的な実施	・高リスク者において、血圧、脂質代謝、腎機能、肝機能において、未治療、治療放棄（直近6か月レセプト無）が4割以上存在している。					
健康管理委員会会議開催数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)会議開催数の維持													健診・検診・指導の効果的運用(【実績値】100％ 【目標値】令和6年度：100％ 令和7年度：100％ 令和8年度：100％ 令和9年度：100％ 令和10年度：100％ 令和11年度：100％)健診受診率												
3,5	既存	ウェルネスリー ダー会議	母体企 業	男女	18 ～ 64	加入者 全員	3	イ,ウ,カ,キ ,ク,ケ,サ, シ	手上げによるウェルネスリーダーを募集。女性特有の健康課題について情報を共有する会議を年4回開催	ア,イ,ウ,エ ,ク,ケ	事業主と共同で会議等を通し、情報提供をウェルネスリーダーを橋渡し役とし、事業の浸透をはかる	300	300	300	300	300	300	・事業主や事業所との健康課題や健保情報の共有と理解 ・健康づくり事業の効果的運用、分担と連携 ・健康経営のサポートと企業イメージの向上 ・企業を巻き込んだ保健事業の効果的な実施	・加入者は全体としては減少傾向だが40歳以上の割合は2020年度と比べ3.7pt増加をしている。 ・男性では55歳～65歳未満において、2020年度から増加傾向にあり、ボリュームゾーンは50歳～60歳未満 ・女性ではと50歳～65歳未満において2020年度から増加傾向にある事が分かる。ボリュームゾーンは35歳～45歳未満 ・平均年齢は2018年度と比較をし男性で+2.3歳、女性で+3.9歳上昇をした						
												・医療費総額としては昨年度と比較し9pt増加をしている事が確認できる。 被保険者の医療費において、40歳以上が被保険者全体の83.7%を占めている。 被保険者の年齢層別一人当たり医療費では20歳以上で他組合平均と比べ高い事が確認できる。 ・疾病別の医療費では生活習慣病に関わる循環器、内分泌、また新生物は昨年度とくらべ20pt以上増加をしている ・55歳以上65歳以下の加入者数は増加傾向であり医療費も上昇傾向にある													
ウェルネスリーダー会議開催回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)会議開催数の維持													精密検査受診率（乳がん）(【実績値】70％ 【目標値】令和6年度：70％ 令和7年度：70％ 令和8年度：70％ 令和9年度：70％ 令和10年度：70％ 令和11年度：70％)精検受診率の把握と向上												
-													精密検査受診率（子宮頸がん）(【実績値】55％ 【目標値】令和6年度：55％ 令和7年度：55％ 令和8年度：55％ 令和9年度：55％ 令和10年度：55％ 令和11年度：55％)精検受診率の把握と向上												
													-	-	-	-	-	-							

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
1	既 存	健康増進キャン ペーン	母体企 業	男女	18 ～ 64	被保険 者	3	ア,エ,キ,ク ,ケ,サ	年1回、事業所ごとに生活 習慣の課題を考え、仲間 と一緒に行動変容につな がる目標を設定・実施優 秀取り組み事業所は表彰 およびインセンティブを 実施 事業所での出前セミナー を実施（食事・女性の健 康）	ア,イ,ケ,サ	事業所と連携し、「健康 イキイキ月間」の一環で 実施	年1回、事業所ごとに生活 習慣の課題を考え、仲間 と一緒に行動変容につな がる目標設定・実施	年1回、事業所ごとに生活 習慣の課題を考え、仲間 と一緒に行動変容につな がる目標設定・実施	年1回、事業所ごとに生活 習慣の課題を考え、仲間 と一緒に行動変容につな がる目標設定・実施	年1回、事業所ごとに生活 習慣の課題を考え、仲間 と一緒に行動変容につな がる目標設定・実施	年1回、事業所ごとに生活 習慣の課題を考え、仲間 と一緒に行動変容につな がる目標設定・実施	年1回、事業所ごとに生活 習慣の課題を考え、仲間 と一緒に行動変容につな がる目標設定・実施	・ヘルスリテラシー、健康医師の醸成と向 上 ・健康づくりのきっかけづくり、環境や意 識の醸成、定着と継続 ・健康的な生活習慣の定着と行動変容	・男性、女性ともに2018年度より 経年でみると喫煙率が減少傾向で あるが、他組合平均と比べると女 性で上回っている。 ・各年齢層で見ると女性は25歳以 降で他組合平均を上回っている。 ・直近3年間において、睡眠障害・ 不安障害の患者割合が増加傾向に ある。 問診結果で睡眠が十分とれていな いと回答した割合は男性で20代が 女性で30歳～55歳未満で他組合を 上回っている。 ・朝食抜きの割合は男性で30歳～3 5歳未満で女性で20歳～45歳未 満で55歳以上で他組合平均を上回っ ており、就寝前の食事は比較的男 性で50代、女性で30代後半～50代 でネガティブな回答が他組合平均 を上回っている事が確認できる。 ・男性では20歳～35歳未満、女性 では20歳～45歳未満で 他組合平均より運動習慣に関して ネガティブな回答を多かった。						
参加事業所数(【実績値】 50件 【目標値】 令和6年度：50件 令和7年度：50件 令和8年度：50件 令和9年度：50件 令和10年度：50件 令和11年度：50件)参加者数の把握													メタバ該当率(【実績値】 20% 【目標値】 令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)健診数値の年次推移 ・メタバ該当率												
5	既 存	退職者向けセ ミナー	母体企 業	男女	59 ～ 59	被保険 者,定年 退職予 定者	3	ク,ケ,サ,ス	退職者向けセミナーで任 意継続等健保での手続き の話や、今後も病気で早 期発見・早期治療の為 には健診受診が重要であ ることなど、今後のライ フステージに向けてさら に健康の重要性を理解し てもらう	ア,オ,シ	退職前の社員を対象に会 社と合同で実施	退職者向けセミナーで任 意継続等健保での手続き の話や、今後も病気で早 期発見・早期治療の為 には健診受診が重要であ ることなど、今後のライ フステージに向けてさら に健康の重要性を理解し てもらう	退職者向けセミナーで任 意継続等健保での手続き の話や、今後も病気で早 期発見・早期治療の為 には健診受診が重要であ ることなど、今後のライ フステージに向けてさら に健康の重要性を理解し てもらう	退職者向けセミナーで任 意継続等健保での手続き の話や、今後も病気で早 期発見・早期治療の為 には健診受診が重要であ ることなど、今後のライ フステージに向けてさら に健康の重要性を理解し てもらう	退職者向けセミナーで任 意継続等健保での手続き の話や、今後も病気で早 期発見・早期治療の為 には健診受診が重要であ ることなど、今後のライ フステージに向けてさら に健康の重要性を理解し てもらう	退職者向けセミナーで任 意継続等健保での手続き の話や、今後も病気で早 期発見・早期治療の為 には健診受診が重要であ ることなど、今後のライ フステージに向けてさら に健康の重要性を理解し てもらう	退職者向けセミナーで任 意継続等健保での手続き の話や、今後も病気で早 期発見・早期治療の為 には健診受診が重要であ ることなど、今後のライ フステージに向けてさら に健康の重要性を理解し てもらう	・健康的な生活習慣への改善、定着と行動 変容 ・本人による健康状態の把握と健康課題の 問題解決 ・生活習慣病などの重症化予防 ・健康指標の良好なコントロール	・加入者は全体としては減少傾向 だが40歳以上の割合は2020年度と 比べ3.7pt増加をしている。 ・男性では55歳～65歳未満におい て、2020年度から増加傾向にあり 、ボリュームゾーンは50歳～60歳 未満 ・女性ではと50歳～65歳未満にお いて2020年度から増加傾向にある 事が分かる。ボリュームゾーンは3 5歳～45歳未満 ・平均年齢は2018年度と比較をし 男性で+2.3歳、女性で+3.9歳上昇 をした ・医療費総額としては昨年度と比較し 9pt増加をしている事が確認で きる。 被保険者の医療費において、40歳 以上が被保険者全体の83.7%を占 めている。 被保険者の年齢層別一人当たり医 療費では20歳以上で他組合平均と 比べ高い事が確認できる。 ・疾病別の医療費では生活習慣病 に関わる循環器、内分泌、また新 生物は昨年度とくらべ20pt以上増 加をしている ・55歳以上65歳以下の加入者数は 増加傾向であり医療費も上昇傾向 にある ・高リスク者において、血圧、脂 質代謝、腎機能、肝機能において 、未治療、治療放棄（直近6か月 レセプト無）が4割以上存在している 。						
参加者数(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)参加者数の把握													特定健診受診率(【実績値】 80% 【目標値】 令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)特定健診受診率の 年次推移、 未受診者への受診勧奨												
													-	-	-	-	-	-							

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連					
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画										
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標											
	5	新規	64歳対象健康プログラム	全て	男女	64～64	基準該当者,定年退職予定者,任意継続者	1	キ,ク,ケ,サ,ス	64歳対象に健康プログラムを実施し医療費適正化を目指す	ア,オ,シ	自前の医師・保健師・看護師・管理栄養士により実施	64歳到達月に実施。	64歳到達月に実施。	64歳到達月に実施。	64歳到達月に実施。	64歳到達月に実施。	64歳到達月に実施。	64歳到達月に実施。	・ 加入者は全体としては減少傾向だが40歳以上の割合は2020年度と比べ3.7pt増加をしている。 ・ 男性では55歳～65歳未満において、2020年度から増加傾向にあり、ボリュームゾーンは50歳～60歳未満 ・ 女性ではと50歳～65歳未満において2020年度から増加傾向にある事が分かる。ボリュームゾーンは35歳～45歳未満 ・ 平均年齢は2018年度と比較をし男性で+2.3歳、女性で+3.9歳上昇をした ・ 医療費総額としては昨年度と比較し9pt増加をしている事が確認できる。 被保険者の医療費において、40歳以上が被保険者全体の83.7%を占めている。 被保険者の年齢層別一人当たり医療費では20歳以上で他組合平均と比べ高い事が確認できる。 ・ 疾病別の医療費では生活習慣病に関わる循環器、内分泌、また新生物は昨年度とくらべ20pt以上増加をしている ・ 55歳以上65歳以下の加入者数は増加傾向であり医療費も上昇傾向にある ・ 生活習慣病医療費は医療費全体の中で15.7%を占めており、そのうち 高血圧・糖尿病・脂質異常症が66.1%を占めている。患者数割合も増加傾向である。 ・ 血圧、脂質、糖代謝と正常の割合が2018年度と比べ減少傾向にある事が確認できる。			
参加率(【実績値】80% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)参加者数の把握												特定健診受診率(【実績値】80% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)特定健診受診率の年次推移、未受診者への受診勧奨											

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. I C Tの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ. その他